

供
究

参戦諸國の陸軍に就て (第五版)

九	一	十
函	架	冊

陸軍省



内閣書記



国立公文書館	
分類	
排架番号	2 A
	34-6
	① 2146

大正八年十二月二十日陸軍省印刷

2147

配賦標準票

○ 大正八年十二月

一 參戰諸國ノ陸軍ノ就テ(第五版)

○ 総額(本表ノ) 陸軍ノ就テ(第五版)

(本表ノ此處ニ分額シ本表ヨリ直接送付ヲ受ケタル處ニ保管シ置ケト)

二三	表備考	二二〇	二一九	二一九	三	増給の	増給は
三	本総額	二	九	九	三	困難	困難
	本給額	金額	金額	金額	金額	金額	金額

二部

序

大正六年一月以來四版に亙り世界戦争に於ける交戦諸國の陸軍に就き調査し得たる要點を抄録して一般の状況を紹介したり。今や各國は戦後の經營に苦心慘憺を極めつつあるの秋に方り更に増補改訂を加へ爰に第五版を發刊して同志の諸彦に頒ち軍事研究上の参考に資せむとす

大正八年十二月

臨時軍事調査委員

参戦諸國の陸軍に就て(第五版)

目次

- 第一 交戦國兵員統計
- 第二 交戦國兵器統計
- 第三 列強國の航空に關する統計
- 第四 各國自動車統計
- 第五 歐洲戰場に於ける自動車及「タンク」統計
- 第六 交戦國軍用自動車揮發油消費日量統計
- 第七 交戦國普通鐵道統計
- 第八 歐洲戰に於ける列國船舶統計
- 第九 交戦各國内總馬數及戰場使用馬數統計
- 第十 各國戰費統計 其一

目次

第十一	各國戰費統計 其二	頁
第十二	國家總復員の概況	一
其一	總說	一
其二	國民復員	七
	緒言——國民復員の方針並一般の要領——國軍復員の方針並其の實施の概要——失業防止、過剩勞力の消化——失業救済——國民復員と職業仲介機關——結言	
其三	産業復員	一九
	緒言——戰爭に依る歐洲交戰國産業組織の變化及其の將來に及ぼす影響——軍需品製造の爲新設せられたる特種工場平和後の業務——結言	
其四	結言	三四
第十三	國防上より見たる産業	三七
	緒言——戰爭力の要素たる物質力と産業特に工業力との關係——戰爭力の要素たる精神力と物質的文明との關係——結言	
第十四	兵器の趨勢	四九

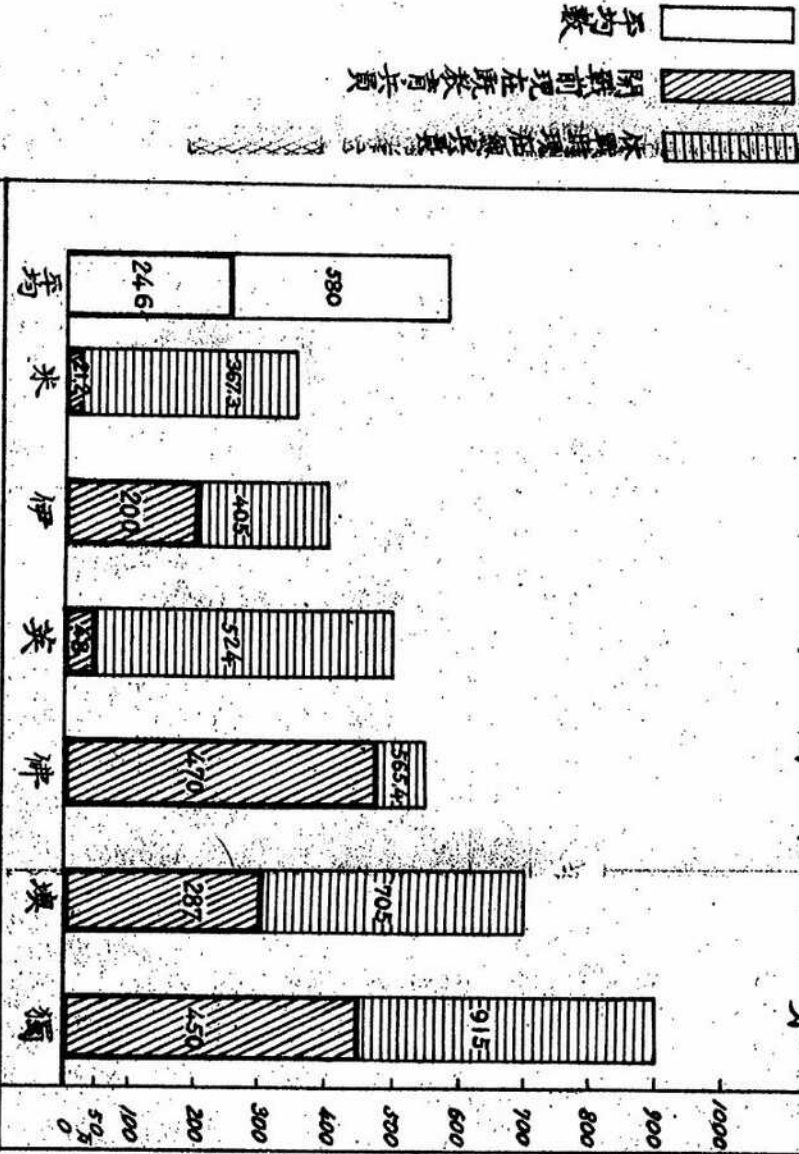
第十五	航空界の趨勢	六一
第十六	航空機に對する空中防禦	七三
第十七	通信の概況	七九
第十八	歐洲戰と要塞	八七
第十九	英、米、佛及獨國の馬政	九三
第二十	軍用動物の概況	一〇三
第二十一	歐洲戰役が陸軍衛生に及ぼしたる影響	一一一
第二十二	給與及救護	一二七
其一	俸給	一二七
其二	恩給、救恤	一二三
其三	復員歸郷者に對する給與並特典	一二九
第二十三	結論	一三七

交戦各國軍兵員統計一覽

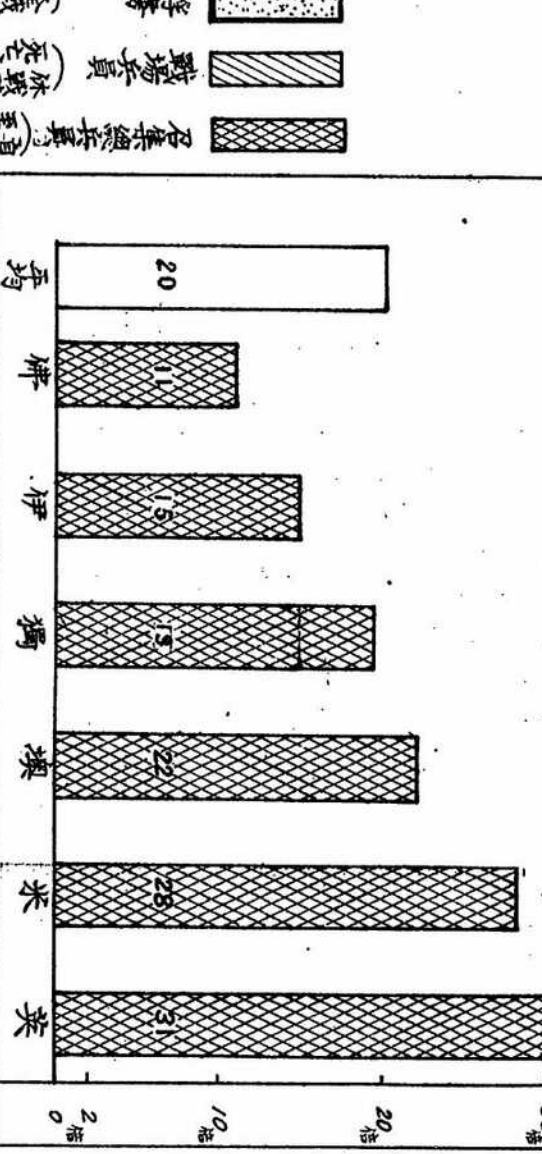
觀察

- 一 本大戰開各國軍が銳意其國軍を培養補充に努めたる結果として將來の戦手に使用し得べき既教育兵數は各國共に著しく多敷なり(陸參廳)
- 二 開戦以後各國軍が其兵員補充増加の爲未教育者之募集教育したる努力は偉大なり(陸參廳)
- 三 平時陸軍軍備の整各は戦時に於ける戰場兵員之召集總員との比率に大なる等差を生ず(陸參廳)

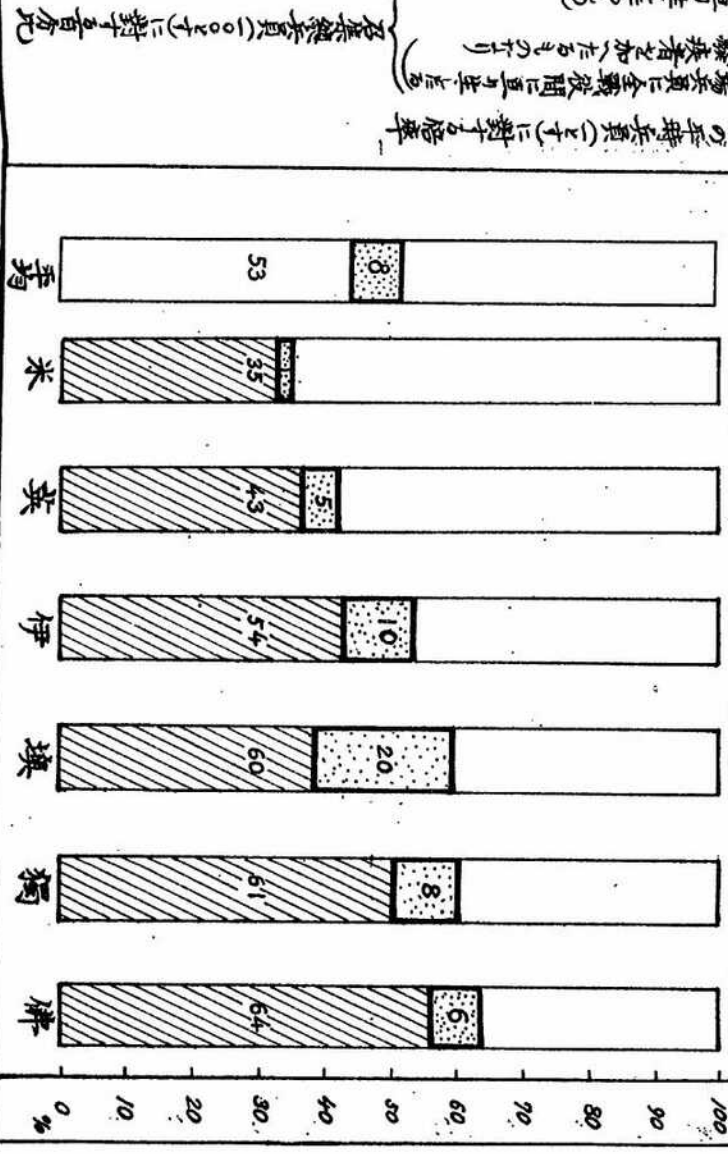
第一各國軍總兵數



第二各國軍召集兵員平時之比



第三戰場兵員廢棄率對其召集總員(100%)之比



備考

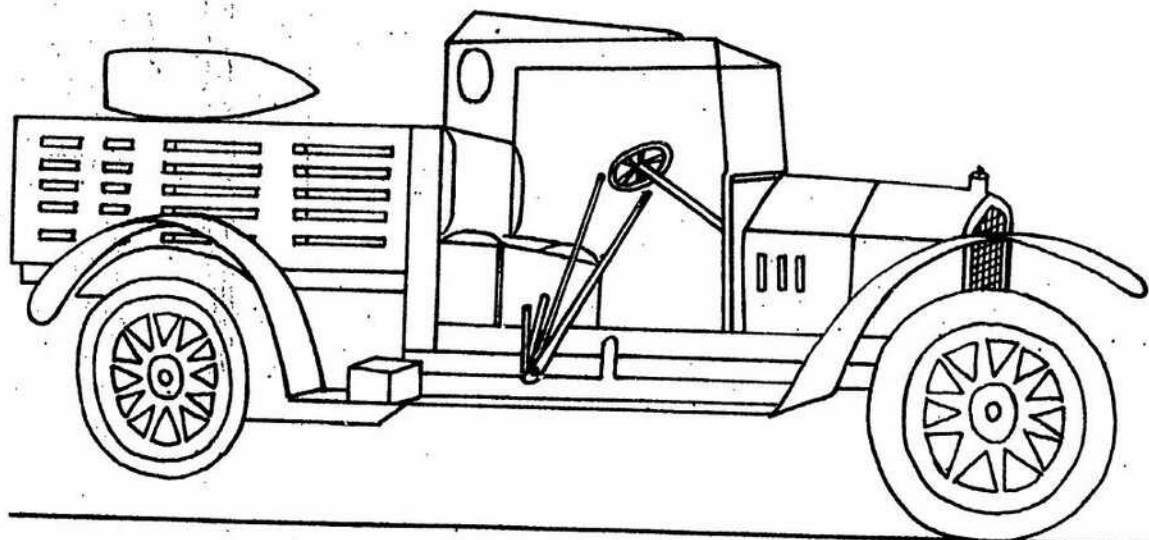
休戰前現在既教育兵員
 開戦前現在既教育兵員
 平均數

召集總兵員(自開戦)の平時兵員(二十)に對する倍率
 戰場兵員(死亡不具癱瘓者之加たるものなり)
 俘虜(全戰役間に生じたもの)
 召集總兵員(100%)に對する百分比

歐州戰場に於ける軍用自動車及ダンプトラック

戦役末期に於ける

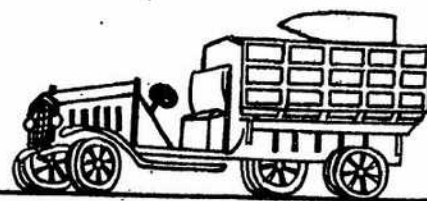
英米佛
267,000輛



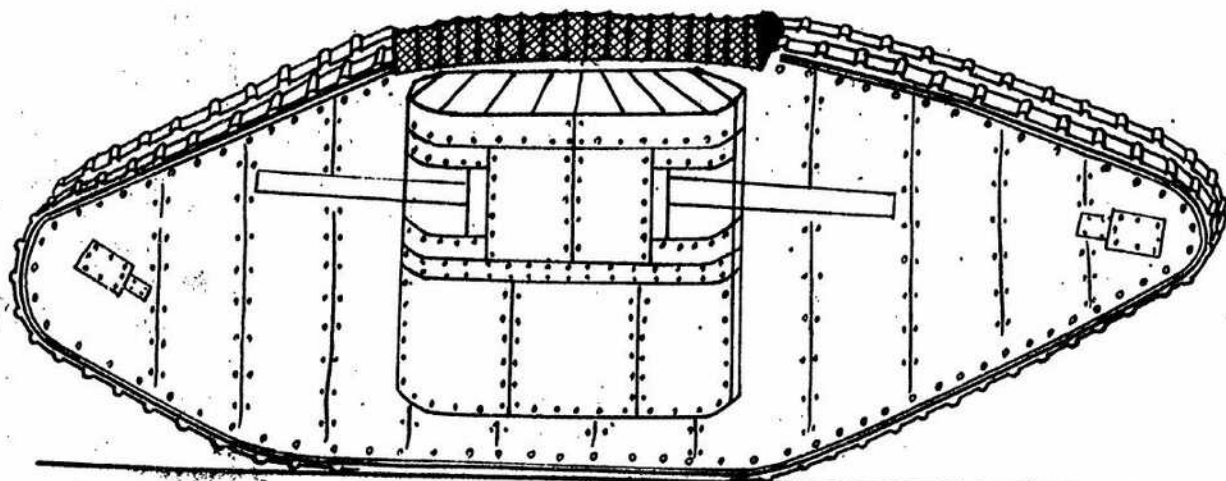
露
15,000輛



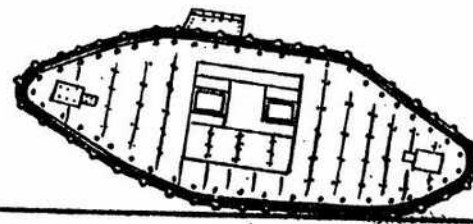
獨
80,000輛



英米佛
3,300輛



獨
1,000輛

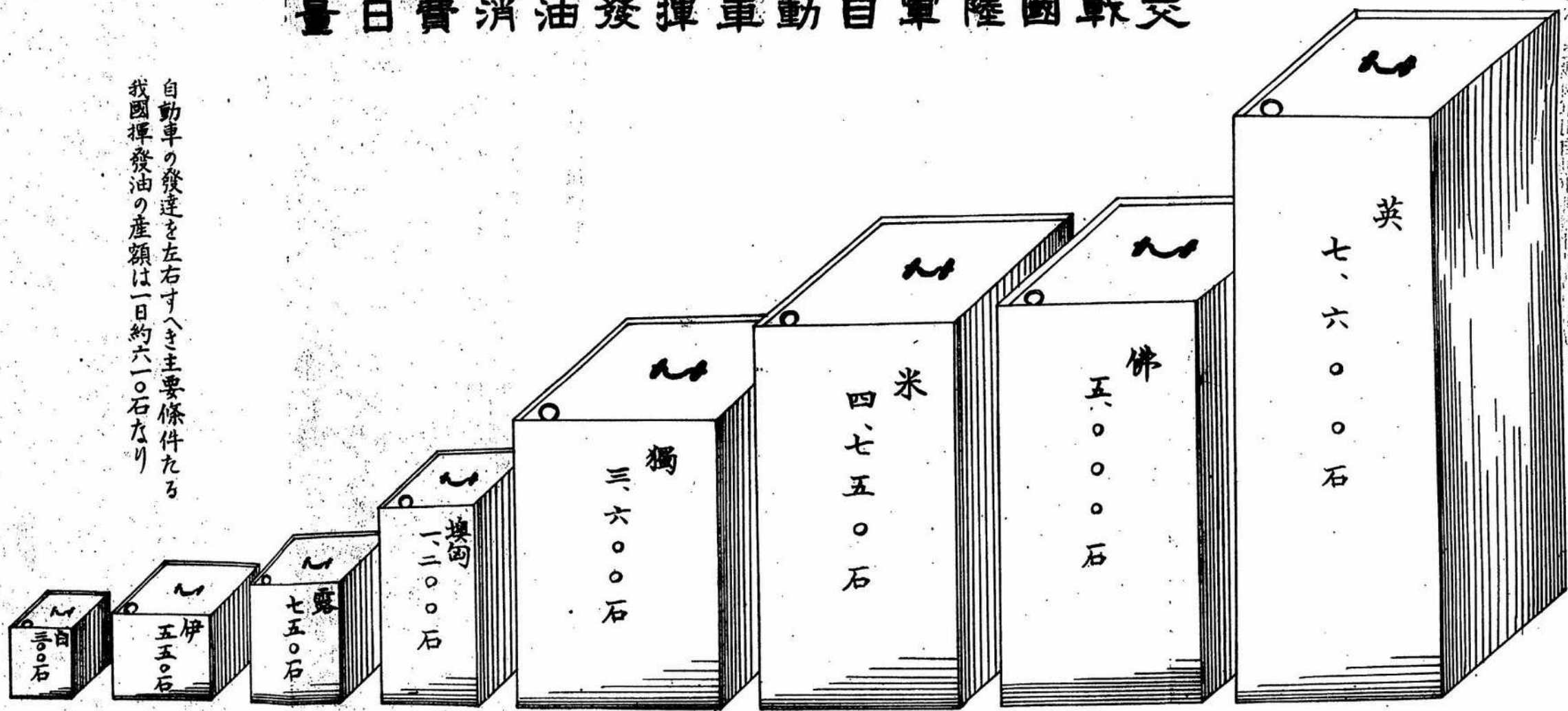


第 五 期 歐 州 戦 場 に 於 け る 軍 用 自 動 車 及 ダンプトラックの 概 況

原 則

交戦國陸軍自動車揮發油消費日量

自動車の發達を左右すへき主要條件たる
我國揮發油の産額は一日約六一〇石なり



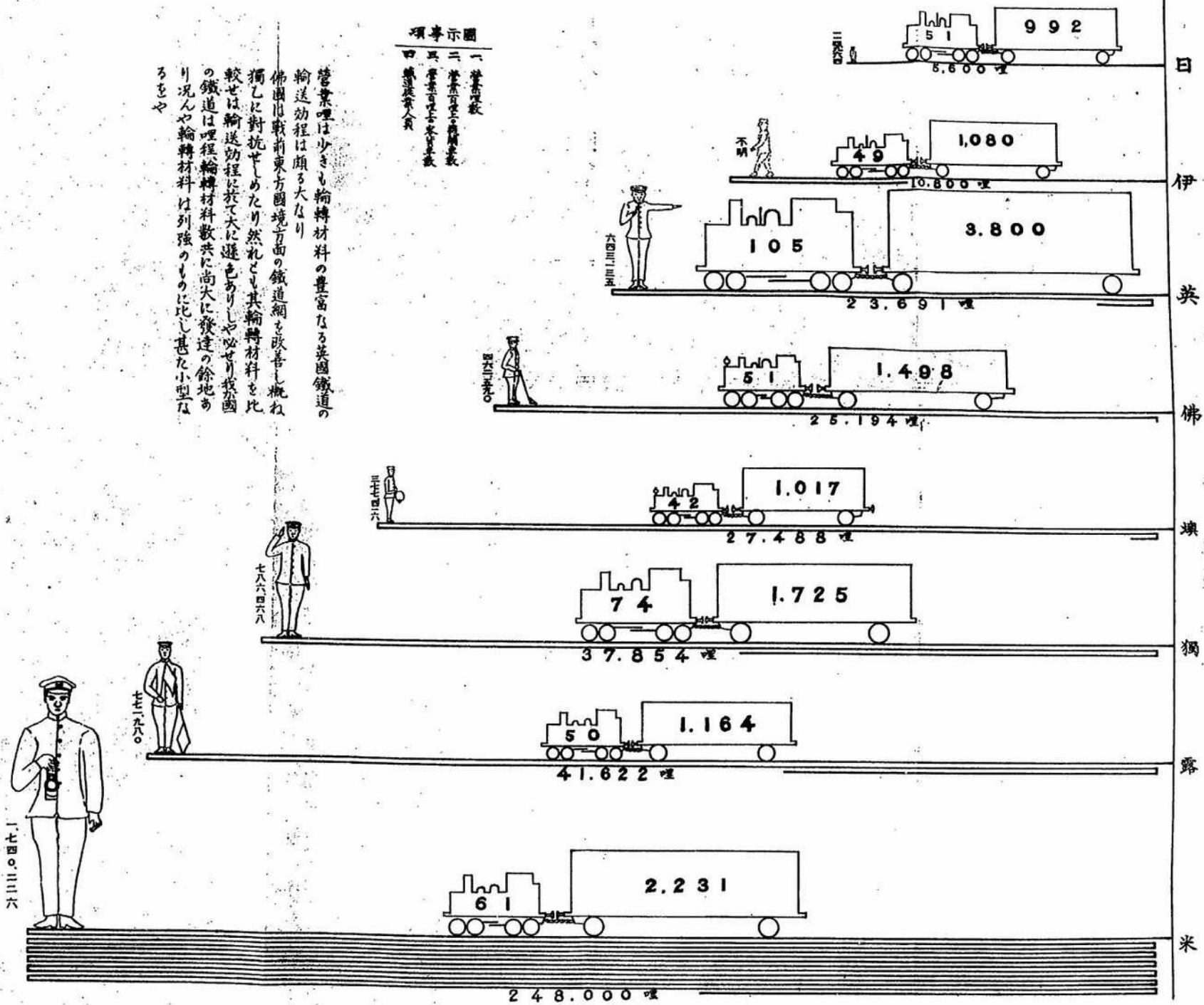
約三百石

交戰國普通鐵道一覽

圖示事項

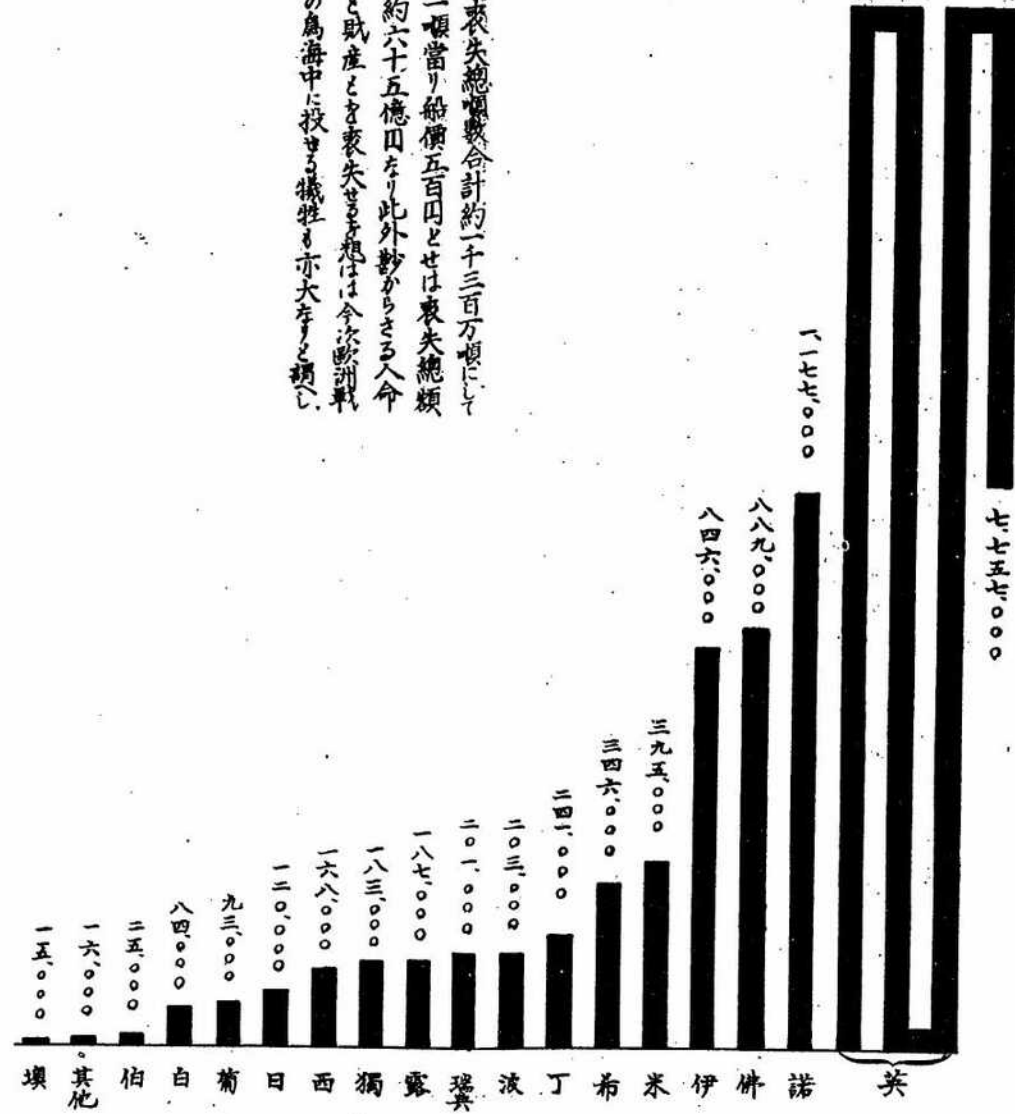
- 一 營業噸數
- 二 營業百哩平均噸數
- 三 營業百哩平均人員數
- 四 鐵道營業人員

營業噸數は少くも輸轉材料の豊富なる英國鐵道の輸送効率は頗る大なり
 佛國は戰前東方國境方面の鐵道網を改善し概ね獨しに對抗せしめたり然れども其輸轉材料を比較せば輸送効程に於て大に遜色ありしや必せり我が國の鐵道は哩程輸轉材料數共に尙大に發達の餘地あり況んや輸轉材料は列強のものに比し甚だ小型なるをや

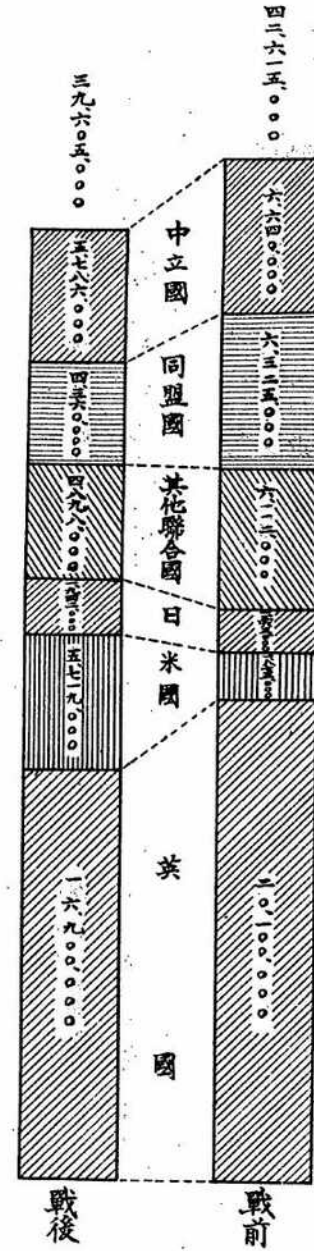


歐州戰に於ける列國船舶噸數一覽

喪失總噸數合計約一千三百萬噸にして
 一噸當り船價五百圓とせば喪失總額
 約六十五億圓なり此外數からさる人命
 と財産とを喪失せざる想はは今次歐洲戰
 の爲海中に投ぐる犠牲も亦大なりと頌じ



戰役間に於ける列國船舶喪失噸數一覽



歐洲戰前に於ける列國船舶噸數一覽

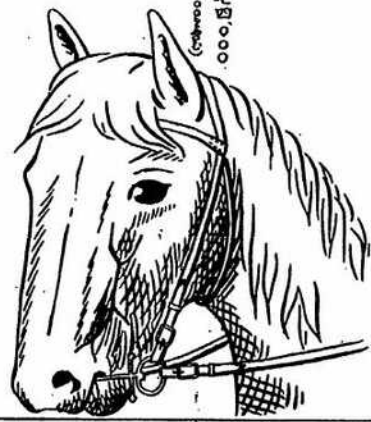
交戰各國內總馬數及戰場使用馬數

國內總馬數

露 三五八四六〇〇



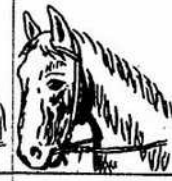
米 二五七四〇〇〇
(馬頭七〇〇〇〇)



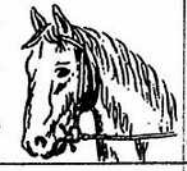
佛 三六四四〇〇〇
(馬頭七〇〇〇〇)



伊 二二三五〇〇〇
(馬頭七〇〇〇〇)



英 二二六六〇〇〇
(馬頭七〇〇〇〇)



羅 八二五〇〇〇



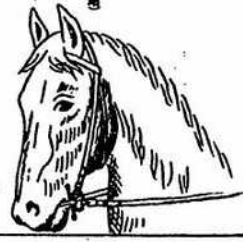
白 二六七〇〇〇



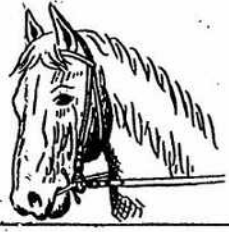
塞 五三〇〇〇



獨 四五九〇〇〇
(馬頭七〇〇〇〇)



奧 三八〇四〇〇〇



土 一一〇〇〇〇〇



勃 四八〇〇〇〇



戰場使用馬數

露 一五〇〇〇〇〇



米 二七〇〇〇〇



佛 九〇〇〇〇〇



伊 三六六〇〇〇



英 七六八〇〇〇



羅 一九三〇〇〇



白 五七〇〇〇



塞 三〇〇〇〇



獨 一一五五〇〇〇



奧 六九〇〇〇



土 三二五〇〇〇



勃 八二〇〇〇

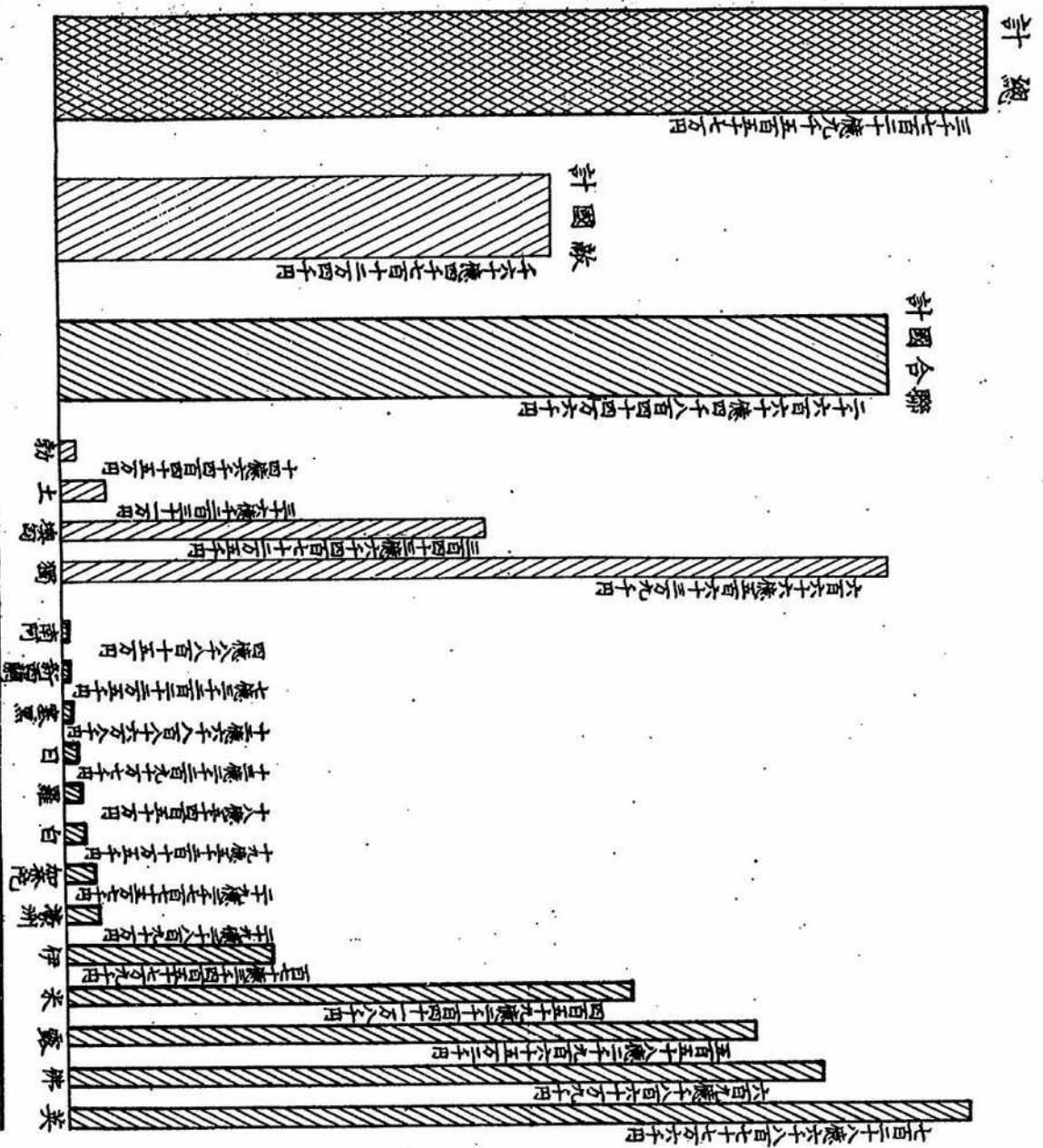


馬

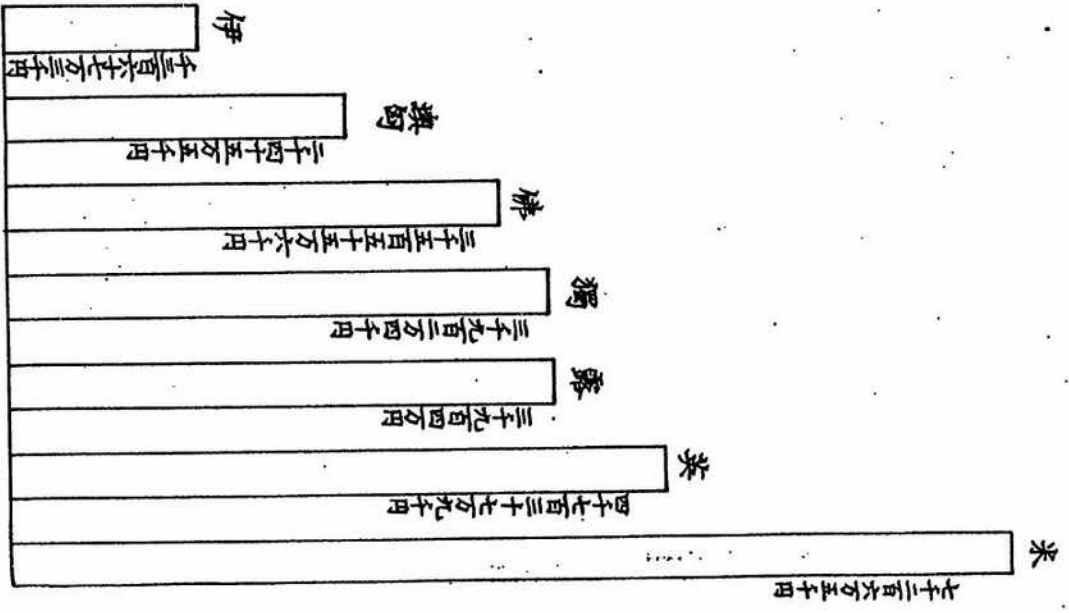


各國戰費一覽 (其二)

參戰各國戰費總額比較



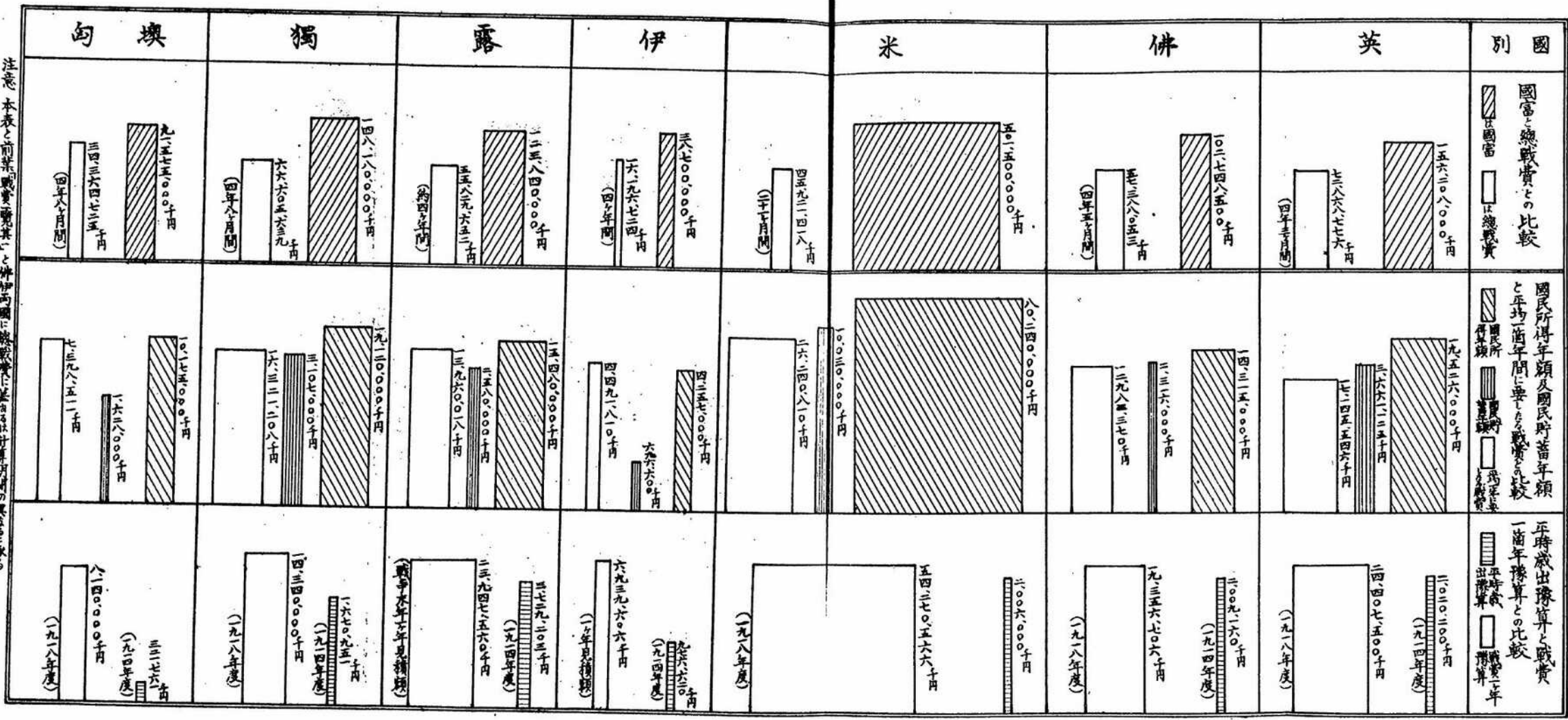
主要參戰國戰費一日平均支出額



備考
本表は開戦又は参戦當初より休戦迄の期間に於ける戦費の一日平均支出額にして各國共休戦後時日の経過するに依り漸増せり唯英國は十九百十七年二月下旬より五月初旬に至る期間の一日平均支出額七千二百餘圓に達し尔後最高額より稍減少せしを例外とし

各國戰費一覽 (其二)

主要參戰國戰費と國富、國民所得年額、國民貯蓄年額
及平時歳出豫算との比較表
(注段は第三段の十分の縮尺とす)



注意 本表と前葉戰費表其の併伊兩國に總戰費に並ぶるは計算期間の異なるに依る

日本国憲法 第二章 国政の執行 第一節 内閣 第二十二條

第十二 國家總復員の概況

第十二 國家總復員の概況

交戦四閏年列國は戦争直接の要求と國民自活の必需とに應せむが爲全國家の包容する有形無形の總因子を統制按配して之を戦争遂行の大目的に集中指向して餘すなく所謂國家總動員を敢行せること前版所述の如し之が爲交戦諸國の産業、交通、財政其他百般の施設組織は齊しく平時と其の趣を一變し國民の配賦亦全く特異の状態に置かるるに至れり而して斯の如き舉國の状態は固より戦時の危急に應ずるものにして平和來と共に其の態勢を解き之を戦前平和時の状態に回復するの必要なるは言を俟たざる所茲に國家總復員と稱するは即ち此の復舊事業の謂に外ならざるなり

第十二 國家總復員の概況

其一 總説

交戦四閏年列國は戦争直接の要求と國民自活の必需とに應せむが爲全國家の包容する有形無形の總因子を統制按配して之を戦争遂行の大目的に集中指向して餘すなく所謂國家總動員を敢行せること前版所述の如し之が爲交戦諸國の産業、交通、財政其他百般の施設組織は齊しく平時と其の趣を一變し國民の配賦亦全く特異の状態に置かるるに至れり而して斯の如き舉國の状態は固より戦時の危急に應ずるものにして平和來と共に其の態勢を解き之を戦前平和時の状態に回復するの必要なるは言を俟たざる所茲に國家總復員と稱するは即ち此の復舊事業の謂に外ならざるなり

國家總復員の難事業たるは何人も容易に想察し得べき所ならむ就中歴大なる國軍の復員と戦時的事業の廢棄とより生ずる過剩勢力の消化、戦時的産業の平和轉移と一般經濟との調節の如きは難事中的難事も稱すべく況んや各國は總復員の機會を利用して單に戦前の状態を復興するのみに止まらず國家社會萬般の事物に互り革新改造の大望を抱くに於ておや然り而して戦争終熄より生ずる民心自然の弛廢裡に此の難事業を遂行するに方り動もすれば複雑困難なる社會問題を惹起するの虞尠からざるは逆睹するに難

からす現に交戦諸國に於ては交通能力復舊事業の頓挫、險悪なる労働問題等種々の難關に逢著しつつあり然れども此の間に處して上下戮力當局の措置社會有識階級の指導概ね宜しきに適ひ大なる破綻を見ずして以て今日に至れるは吾人の賞讃を吝まざる所なりとす

抑國家總動員に對し殆んど何等の準備なくして大戰に臨み錯愕周章の已むなきものありし苦き過去の經驗を有する交戦列強は戦争尙酣にして戦務劇忙なるの秋に於て夙く既に思を戦後の計に馳せ目前交戦の事に全智能を傾けて復た餘蘊なかりし大正五、六年の交より著々國家總復員の研究準備に力め之が實施の圓滑十全ならむことを期せり是れ即ち總復員が素と一大難事業にして實際各種の難關に遭逢しつつあるに拘らず昨秋休戦以來未だ破綻を見るに至らずして今日に至れる所以なりと謂ふべく亂に處して慮を治に致したるの著意は探て以て鑑戒となすに足らむ

國家總復員の爲交戦諸國が特に創設又は改造せる諸機關は概ね左に列記せるが如く其の創設の年月並其の任務の概要を通觀するのみを以てするも交戦列強の總復員に對する願念が如何に大にして其の著意が如何に周匝なりしかの一端を知るを得べし

英國

帝國委員會 内閣諸大臣及殖民地首相より成り戦後母國と殖民地間の經濟的連絡の爲精密なる調査討論を爲す
經濟調査委員會 「ブルフォア」氏を長として組織せられ戦後に於ける一般經濟發展策に就き調査す

商 事 委 員 會

内 閣 會 議

戰 後 經 營 省

軍 需 省 内 復 員 及 改 造 委 員 會

同 復 員 局

勞 務 省 内 復 員 及 就 職 局

佛 國

經 濟 國 民 協 會

產 業 回 復 局

工 業 復 興 省

陸 軍 省 内 復 員 局

米 國

戰 後 經 營 調 査 委 員 會

第 十 一 國 家 總 復 員 員 概 況

大正七年五月上掲委員設置に關する法案議會に提出せられたり本委員の任務は戦時又は戦後自國及諸外國に於て發する諸般の狀態を研究調査し其の結果を隨時議會に報告し必要の建議又は法案の起草を爲すに在り上下兩院議員各十名を以て之を組織せむとするものなり

伊國

戰後經濟調査會

大正六年六月設置せられ無任所大臣「シャロイア」を長とし工部、軍需、商工、運輸各大臣を委員とし工業復員、經濟獨立、商品販路の回復、開拓、交通改善、復員時に於ける失業豫防等に關する研究を爲すを任す

國家總復員調査會

大正七年七月首相を總裁とし上下兩院議員を主とする六十名の委員を以て組織し之を二局に別ち第一局は陸軍、行政及社會問題を管し十二分課を有し第二局は十五分課を有し經濟問題を主管す

復員次官局

大正七年十二月軍需總監部及航空總監部を廢止し國庫省及商工働省内に復員次官局を設置し總復員に關する件を掌理せしむ

白國

經濟事務省

大正六年十月創立せられ在外、在本國人民の給養を統一し戰後白國の工業を再建し通商、航海を發達せしむるの方策を研究實行するを任とし大臣官房及五局より成り各局長には經濟、財政家中の最手腕ある者を舉用し尙幾多の隸屬機關を之に附屬す

獨國

過渡期經濟委員會

大正五年中創設せられ平和克復後に於ける經濟變遷期に處し經濟界の復興を豫め準備研究するを目的とす

經濟省

大正六年十月創設せられ從來帝國内務省の所管に屬せる貿易、經濟及社會問題を管掌す

勞働省

大正七年十月創設せられ經濟省所管中より勞働問題に關する事項を分離し戰後に於ける勞働問題の處理に專任す

經濟復員省

大正七年十一月新内閣成立と共に創設せられ經濟界の復員に關する最高機關なり但し其の內容は委員組織にして行政機關にあらず勞働省、大藏省、統計局等の復員業務を統一指導す

總復員に方り單に戰前情態の復興のみに拘泥することなく進んで所謂改造を敢行せむとする交戰各國の意圖は甚だ壯とすべく亦寔に至當の著眼と謂ひ得べし即ち戰爭に依り從來の勞働組織打破せられたるの情勢に應じ當に回復にのみ拘泥することなく此の際産業革命を實施し勞働制度の刷新改善を圖らむとす

るものあるが如き又戰前極端なる國際分業經濟に依り富の増進のみに汲々たりし國家が戰時經濟獨立に關する準備の怠るべからざる所以を悟りして國內自給就中食料の生産増加に著目するに至り復員の機會を捉へて過度に商工立國主義に偏せる政策を變更して農業の改善振興を策するもの到る處に之を看るが如き將た又急にして大なる戰時の需要に應じて採られたる産業組織、工場設備等を適宜存續して産業能率の増進を圖らむとするが如き其の一例なり若し夫れ徒らに戰爭に由る交戰諸國經濟的創痕の深甚なるを云爲し若くは人員資源の少からざる喪失に基く産業總能力の低下を過信し私に自ら安むせんとするが如きことあらむか噬臍の悔を他日に殘すの虞少からざるなり

各國總復員事業の計畫と實施とに觀て尙吾人の刮目に價するものあり曰く復員に際し各國が其の向後の國防に顧念し將來の國家總動員を容易ならしむる點の著意を怠らざること即ち是れなり彼の英國首相は大正七年末戰後の經濟政策に關し言明せる一齣に於て「英國は戰時の經濟に依り單に商業上のみならず國防上及治安上必要缺くべからざる産業の存することを發見したるが此等産業は將來如何なる代價を以てするも之を衰微せしむることを得ず他く迄之を確保し極力之を發展せしめざるべからず」と述べたるが後大正八年八月下院に於ける演說中更に之を敷衍して「軍事上必要なるか又は戰時中國家の存立に必要なること明白となれる工業、戰前輕視しありたる爲戰時軍需品の生産力十分なるを得ざりし工業、戰時中政府が保護獎勵の要あるを發見せる産業及戰爭に依り國民生活に必須不可缺なること明白となり而

も特に之に保護を加ふるにあらざれば其の生産を持続する能はざる産業等は基礎尙鞏固ならざる主要産業として十分之を保護すること必要なり」と絶叫せるが如き又同國に於て「鑛物資源を英帝國の國防又は産業上有效ならしめむが爲帝國又は其の一地方に於ける鑛源の發達に關し建築すること」を一任務とする英帝國鑛物資源局なるものの創設を傳へられたるが如き乃至は又別掲伊國に於ける戰後經濟調査會の任務中に經濟獨立に關する研究なる一項の存するが如き亦以て全豹を推知するに足り又夫の約十五億圓の國庫支出に依り一年半の間に於て二萬餘の飛行機を製出せる米國に於て其の偉大なる航空工業力を力めて保護維持せむとして官民協力軍事以外に於ける飛行機の利用に關し極力研究施設を進めつつあるが如き同じく世界第一の航空軍と航空工業とを有するに至りし英國が其の世界的優勝の地位を保持せむが爲廣大なる地域に分布せる領土の地理的關係を利用し彼の海軍と共に世界第一の航空軍を維持するの大企圖を包藏すると共に尙其の航空工業を維持し世界の空權を握り有事に備へむとして頻りに商用飛行の發展に腐心せるが如き其の用意の凡ならざるを觀る顧みて大に戒むべきなり

各國國家總復員の全般に亙りて調査研究するは國家將來の爲喫緊の要事なりと雖も方面の異なるに従ひ夫々分掌機關の存するあり陸軍關係の事項に關しても其の詳細を悉すは短時日小冊子の能くすべき所にあらず茲には單に軍と最も緊切の關係を有する國民復員及産業復員に關する事項中今日迄に調査し得たる

所の一端を略叙するに止む

其二 國民復員

一 緒言

交戰各國が其の全國民の力を戰爭遂行の大目的に向つて集注指向せむが爲所謂國民動員を實施し爲めに休戰當時に於ける民力分布の状態が全く戰前と其の趣を異にするに至れることは前版に於て既に述べたる所の如く戰爭終局と共に之を平時的狀態に回復する所謂國民復員の難事業たるは何人も首肯するに躊躇せざる所ならむ

而して國民復員に於ける難事とも稱すべきは龐大なる國軍の復員及軍需産業の中止より生ずる過剩勞力の消化、各地方各種職業に於ける勞力需要の緩急要否並國策の示す所を顧慮して勞力の分配を適正圓滑ならしむること及失業救済を十分に於て不平愁訴なからしむること等に於て此の間一步を誤れば産業復興、社會改造の大策に支障を來たし忌むべき社會問題を惹起するの虞甚だ多し交戰各國の支配階級が此の復員事業を重大視して大戰終局前夙く既に之に處するの方策を考慮策畫せる寔に故ありと謂ふべし

以下各國に於ける國民復員に關し調査し得たる事項の一斑を叙説し一は以て吾人將來の研究に備へ一は

以て各國戦後經營の一端を窺知するの資に供せむとす

二 國民復員の方針並一般の要領

交戦各國に於ける國民復員の方針並其の要領は各其の國情並國民動員實施の情況に應じて自ら趣を異にするものありと雖大體を通觀するに概ね左の如し

イ 國民の配賦は大體に於て戦前の状態に復するを主眼とし各個人は力めて之を戦前の職業的地位に歸らしむるも戦争創痍の回復並戦争の教訓に基く社會改造上の要求に稽へ所要の方面に所要の勞力を配當せむことを期す

ロ 歴大なる軍の復員より生ずる一時的勞力夥多、失業危機の情勢を防止せむが爲軍の復員は單に軍事上の要求利便のみに依り之を律することなく廣く産業經濟上の需要、一般社會の状態等をも考量して之を規正すること

ハ 軍需品工業の中止、轉業等より生ずる勞働市場の急激なる變調又は一時的勞力供給過多の弊を避くる爲適當の方法を講ずること

ニ 戦時中内國強壯男子に代りて有利なる勞働上の地位を獲得せる外人、婦人、老幼等をして力めて圓滑に其の地位を棄てしめ國軍及産業の復員より生ずる過剩勞力の消化を容易ならしむること

ホ 職業仲介機關を一層整備増廣し復員歸郷者、解備軍需職工等の就職に便し頻繁を極むる勞力移動を圓滑容易ならしむること

ヘ 特に運輸交通其の他土木等に關する大規模の事業を計畫し勞力の消化轉向に資す

ト 食料自給の大策と社會政策上の利便とに資する爲農業方面に勞力の轉向を圖り且人口の都市集注を避くるに必要なる措置を講ず

チ 復員歸郷者及解備軍需勞働者に對する給與其の他の特典を厚くし且前記積極的勞力消化の諸方針に依るも尙且避くべからざる失業者に對する救済を十分に奉公に酬ゆると共に他面忌むべき社會問題の發生を未然に防止することを力む

之を要するに各國國民復員の大方針は迅速圓滿に民力の分布を戦時的特異の状態より平和的發展の爲正規の状態に復するに在るも尙此の機會に於て戦争の教訓を參酌し成し得る限り民力分布の状態に改造を加へ産業及國防上の利便を圖らむとするの著意あるを觀る而して此の間失業危機の出現に由る産業復興上の支障、忌むべき社會問題等の起生を防止する爲には積極に消極に凡百の方策を講じて遺算なからむことを期しつつあるなり

三 國軍復員の方針並其の實施の概要

國軍復員の方針亦國情の異なるに従ひ夫々差異あり特に工業を離れて國家なしと稱せらるる英國が産業本位の複雑なる個人復員方針を採り佛國が平等の理想と特異なる人口問題とに立脚せる年級式復員方針を立てたるが如き其の差の大なるものなりと謂ふべし然れども何れの國に於ても軍の復員を單に軍事上の要求と利便とのみ依りて律したるものなく深淺の別こそあれ齊しく産業事情、社會狀態等を考量して之を規正せり蓋し過去の諸戰役と異り著しく多數の男子を麾下に召集せる這次の大戦に於て從來の如き單なる復員法を採る能はざるは理の當然なればなり

以下國民復員の見地より觀察せる主要交戰諸國軍復員の一般を略叙し將來の參考に資せむとす

英國 軍事上の必要、産業上の需要並廣く社會の狀態を考慮して復員の順序を定む之が爲産業復興の見地に基き輕重要否に依る産業の順位表を定め其の順序に従ひ同一順位に在るものは既婚者を先にして復員するの方針を採り先づ就職の目途定まれる者より逐次之を除隊し其の他は力めて永く軍隊に止まらしむることとせり然るに商工復興を主眼とする復員は不公平なりとの批難起り爲に當局は除隊順序の決定上服役年及年齢の多少をも大に考慮することとし又復員の迅速を欲せせる一部軍隊の示威運動に依り就職口未決者の軍隊引止に關する當初の計畫をも一部變更し復員速度を迅速ならしむるに至り一時失業者増加の趨勢を誘起せり抑、休戰當時英國の有したる總兵力は陸海軍を通じて概ね六百五十萬なりしが休戰後大正八年十一月中旬迄に三百七十萬の除隊を了し此の間失業問題

題、就職競争の激甚、勞働組合の跳梁等に因り若干の騷擾を免れざりしは同國の爲に惜むべき所なりとす

米國 當初に在りては速に産業狀態を回復し重要産業の復興を助長するを以て軍復員の方針とし各兵卒の除隊申請書を基礎として除隊順序を定め重要産業に就くべき者を優先的に除隊せしめ出征先にて就職せむとする者は其の地にて復員することとせり然るに此の個人復員法は手續煩瑣にして速度甚だ遅々たるを免れざりしを以て十一月末以降方針を變更し軍事上不必要と認めたる部隊に對し包括的に大單位を以て急速復員を實行することとせり之が爲復員速度著しく増加し陸軍卿をして議會に於て復員の成功を誇稱せしむるに至れるが之に伴ひ勞働需給の變調を來たし就職難の聲漸く高きを加ふるに至れり是に於て當局は大正八年一月中旬以降再び方針を改め復員部隊に屬する兵員と雖就職口定まらざる者は依然軍隊に止まり得ることとし勞働調節の手段を加味せる方針を採るに至れり

佛國 最古年級の者より逐次に除隊する所謂年級式復員を大體方針とせるも子女數、家族中の陣歿者數其の他家庭の關係等に依り年級加算を行ひ其の除隊を速ならしめ又農業者、海外居住者にも同様加算の制を採れり即ち佛國軍復員の方針は建軍の要義に鑑み同國民宿年の信條たる平等の理想を經とし特異なる人口問題を緯とせるものにして産業上の著意に就ては英米と頗る其の程度を異にし

唯當面の問題たる農業勞力の供給、海外發展の助長に相當の注意を拂へるのみ而して此の崇高なる兵役義務の觀念に據り平等の理想に基ける復員方針に對し餘りに理想に囚はれ實際に適せずとの批難あり産業幹部の優先歸郷等を主張せる者尠からざりしも當局は産業の種類に應じ順序を決することの甚だ困難なるを理由とし之に耳を傾くることなかりき但し勞働過剰の弊を避くるの考慮は之を棄つることなく休戦後特別なる再服役制を起し就職不能者の軍隊殘留を可能ならしめたり斯くの如くして佛國の復員は比較的平靜裡に行はれつつあるが如し

獨 國 他國に先ち大正五年頃より既に國民復員の見地よりする軍復員法の研究を進め夙に其の方針を決定せり其の内容は獨立の生計ある者及就業先の決定せる者より順次復員を行ひ然らざる者は之を解放することなく最後に軍隊に殘留する者は之を地方自治機關等の公益事業に就かしめ一般に復員歸郷者は之を開戦當時の職業的位置に復せしむることに力め四箇月以内に全部の復員を完了するに在り此の方針に基き著々綿密なる復員計畫立案せられありしも敗戦と革命と交、至り革命擾亂に次ぐに勞兵會の跳梁を以てし加ふるに「スバルタカス」一派の起撥するあり而も嚴烈なる休戦條件の下に復員を行はざるべからざることとなれる爲以上の方針計畫が果して如何なる程度迄支持せられしやは尙不明なり然れども大體に於ては大なる變更を見ざりしもの如く其の成績は情況の困難なりしに比し比較的良好なるもの如く獨逸一流の整々たる脈絡は尙未だ亡びざるを明證せ

以上復員の爲各國の採れる方針要領に關し詳細に利害を斷ずるは今尙其の時機にあらず蓋し其の實績に就て尙十分調査研究を要するものあればなり然れども龐大なる軍の復員に方りては單に軍事上の要求と利便とのみに依り之を律するの不可にして必ずや廣く産業、經濟、社會上の事情並兵員個人の境遇等をも考量し深く國情民性に投合する方法を採ることに力むるの適當なることは殆んど論議の餘地なかるべく就中困難なる大戰の後に於ける復員に際し忌むべき社會問題の發生を防止することに深甚の注意を拂ふの必要なるは吾人の教訓として捉ふべき點なりと信ず但し茲に注意を要すべきは過度に産業、經濟等一方の要求のみに囚はれて却て公平を失し又は餘りに巧妙複雑なる方法を探り若くは屢々方針を變更して復員の圓滑を害するが如き弊に陥らざるべきことにして殊に必任義務兵制の國家に在りては兵制の根本義に鑑み至公至正の方法に則るを切要なりとす吾人は産業に主眼を置ける英國の個人復員と義務衛平の主義に立脚せる佛國の年級式復員とを比較して特に此の感を深くす

四 失業防止、過剩勞力の消化

國民復員に伴ひ各國當路者の最も苦心考慮せる問題は即ち軍隊の復員及軍需工業の中止、轉業等より當然生すべき過剩勞力を如何にして消化し如何にして失業危機の勢を防止すべきやに存せり而して之が

爲探りたる手段方法に至つては國に依り差異なきにあらざるも其の周到にして遺算なからむことを期せる點は於ては多く等差あるを見ず左に之に關する各國施設の大要を横斷的に觀察せる結果を紹介せむ

一四

- 一 速に一般産業を復興し勞力需要を喚起せしむる爲燃料原料の十分なる供給と交通機關の復舊改善に全力を注ぎ其の他必要の保護を與ふ
- 二 軍需工場をして俄に生産を中止することなく逐次に線業を短縮せしめ勞働者の一般的急激なる解備を誓ひ
- 三 巨費を投じて新に鐵道、道路、橋梁の築設其の他の土木事業を興し又は被占領地の復舊作業を企て勞力の吸収を圖る特に伊國の如き貧弱なる財政を以てして尙且鐵道に十八億「リラ」、築港、道路に十億「リラ」、其の他の工事に五億「リラ」、地方の公共工事に五億「リラ」の大豫算を定めたり
- 四 失業防止と共に併せて農業を振興し人口の都會集中を防止せむが爲歸農を奨励し且之を容易ならしむべき種々の方法を講せり英國に於ける土地分配法案、米國に於ける荒蕪地開墾案の提起、獨逸に於ける農業法の制定、伊國に於ける歸農助成を目的とする軍人救護會の設立等比々皆然らざるはなし
- 五 戰時中男子に代りて勞働に就ける婦人をして力めて家庭に歸り其の天職に就かしめ又は戰前の舊

位置に復歸せしめ男子の爲に勞働位置を解放せしむると共に國民道德の基礎鞏固に寄與す

- 六 軍隊復員の順序方法及其の速度を適當に規正し復員部隊に於ても希望者には引續き在隊を許し勞力の過剩を防ぐと共に一面軍能力の向上維持に資す
- 七 復員歸郷者の就職を容易ならしむる爲或は法を設けて其の舊職業的地位復歸を保障し或は政府自ら若くは公の機關をして職業仲介をなさしめ其の他軍隊に於て職業準備教育を與ふ
- 八 復員歸郷者に事業資金を官給し又は有利の條件を以て之を融通し企業を容易ならしむ
- 九 勞働者の移動を容易ならしむる爲諸般の措置を講ず
- 十 官公設職業仲介機關をして最善の活動をなさしむ
- 十一 海外移住を奨励する爲出征軍人の出征地に於ける除隊又は海外移住者の優先除隊等其の他種々の方法を講ず

如上各種の施設措置中各國が國民復員の時機を利用して農業の振興を圖り交通の改善を期し婦人をして力めて其の天職に就かしめ又海外移住を奨励せるが如きは特に吾人の參考となすに足らむ
叙上の如く各國は失業防止に對し最善を盡せるも尙失業者増加の情勢を沮む能はず軍隊復員の進捗に伴ひ少からざる不就職者を出せり各國中最も多く失業者を出せるは商工業國たる英國にして兵員約二百四十萬を復員せる大正八年四月中旬に於て失業者百十萬に達し内除隊軍人三十五萬を算し農業國たる佛國

に於ては兵員の八〇%は農民階級に屬し且女性労働者八十萬中應召兵卒と同一家庭又は縁邊に屬する者六十萬を算し又被占領地の回復に多大の人員を要せる等の爲復員者整理比較的容易なりしもの如く失業者頗る少く兵員約二百五十萬を復員せる大正八年二月末に於て巴里に於ける不就職者は四萬に達せず休戦前の一萬に比し増加せるも戦前の平均五萬六千に比し尙著しく少かりき

一六

五 失業救済

國民復員に由る失業者に對しては各國何れも最善の考慮を拂へり除隊軍人中の失業者救済に關しては後節述ぶる所あるを以て茲には爾餘の失業者就中解備軍需職工に對する各國救済施設の一端を叙し以て一般を窺ふの資に供せむとす即ち英國に在りては軍需職工の繰業漸減に基く職工の苦痛を軽減せむが爲最低賃銀を規定して傭主に對し必要の補償を行ふこととし失業者に對しては一定期間年齢性別及子女數に應じ額を異にせる失業手当を支給せるが失業者約百萬に垂んとせる大正八年三月初旬に於ける其の給與額は一週千三百萬圓の多きに及べり又佛國に於ては地方自治體をして失業救済會を設立せしめ所要の基金を備へ工場復員より生ずる失職者に其の新職に就く迄の期間一定日額の金錢を給與し衣食に窮するることなからしめ獨國に於ては失業者救済令を發布し町村又は町村組合をして戦役の結果職を失ひ更に職を求めつつある十四歳以上の一般労働能力者に對し其の年齢性別等に應じ一定期間相當の金錢給與を行は

しむることとせり爾他の諸國亦大同小異の方法に依り失業救済に遺算なからむことを期せり

六 國民復員と職業仲介機關

整然たる組織を有する稠密なる職業仲介機關網の存在並其の活動が國家總動員就中國民動員上甚だ切要なるに鑑み交戦列強が開戦後特に本機關の増設整備に腐心し之が統轄の系統を整然たらしむることに努力し巨費を投ずるを吝まざりし事實は既に前版に於て紹介せる所の如し而して各國は戦時中に於ける本機關の效用に鑑み復員時に於ては一層其の活動に期待する所大なるを思ひ復員に先ち何れも之が整備増設を企て一に其の及ばざらむことを恐るるの状ありたり即ち英國の如き其の労働省は全國に互る職業仲介所網を大に擴張し之が普及を圖り別に全國各地に地方官民、企業家及労働者の代表より成る補助委員會を設け之をして職業仲介所に所要の助言献策をなさしむることとし尙復員に當り職業仲介業務に就くべき幹部千餘人を優先に除隊し佛國に於ては開戦後市町村立職業仲介所の増設に腐心すると共に各縣にも亦縣立仲介所を普く設置し労働省内に中央調節機關を設置せるが復員に際し労働省は更に多數の仲介所支部を創設し別に陸軍省復員次官局内に復員者職業仲介の中央調節に任ずる一機關を創設せり又夙に職業仲介機關の最も善く發達しありし獨逸に於ては開戦後中央統轄機關を整備し一層仲介所の増加を策し大正四年には公立仲介所數三千以上に達し尙著々増加せるが大正七年五月労働大臣は復員を願慮して

一層本機關の整備を企て其の統制要領を改むると共に全聯邦内に二十五の中間統轄機關を設置することとせり

戦時に於て職業仲介機關の如何に重要なかは叙上列國の事例に徴し明にして特に贅言するを要せず而して本機關は決して其の效用を戦時に於てのみ發見するものにあらずして平時經濟上の見地よりするも無用にあらず特に社會政策上の立脚より觀て之が設置整備は甚だ重要な事なりと信するが故に我邦に於ても速に統制整然たる公設職業仲介機關網の出現を望まざるを得ず

七 結 言

長期に亘れる大戦の後に於ける國民復員事業の單純容易ならざるの事實は以上各節の記述に依り之を知ることを得べく向後經濟狀態愈々複雑となり社會事情益々錯綜するに於て將來戦に於ける戦後の整理事業は一層困難を加ふるを疑はず之を軍の復員に就て觀るも吾人が過去日清、日露の兩役後に於て實施せるが如き單簡輕易なる方法は將來の大戦に於ては再び之を望む能はず此の間に處し交戦列強の採りたる方針措置は十分之を研究調査して後日の參考に資するの覺悟なかるべからず然り吾人は列強の爲せる所に就て教訓を他日の爲に求めざるべからずと雖も獨り後日の爲と云はず國家の現況に顧みて直に採て彼の精神を參酌すべき點亦少からずと信す

其三 産業復員

一 緒 言

茲に産業復員と稱するは戦争遂行に傾注集中せられありたる國內産業組織を休戦と共に戦後の經濟戰に應ずる如く復舊改造するを謂ふ而して這次平和の襲來は稍突然の觀ありて爲に交戦各國の産業復員實施は稍泥繩式たるを免るる能はざりしと雖も早きは千九百十六年頃より特種機關を設定し産業復員法に關する調査研究に従事しありたると平和來と共に官民和衷協調以て努力せる結果とは著しき失態故障なく産業復員を實施しつゝあり然れども産業復員の經過及其の將來は未だ之を具體的に紹介し得るの域に達せざるもの多きを以て以下主として戦争に依り歐洲交戦國の産業組織の受けたる變化が將來に及ぼす影響並軍需品製造の爲新設せられたる特種工場が戦後如何なる業務に従事すべきかに就き産業復員の一端を記述し以て帝國の將來に資する所あらむとす

二 戦争に依る歐洲交戦國産業組織の變化及其の將來に及ぼす影響

戦争は社會凡百の事物に對し一大革命を促し國家世界進化の轉期を劃するものなること古來歴史の證

明する所にして茲に多く論ずるの必要なかるべし而して茲に古來未曾有の這次大戰が歐洲交戰國産業組織に及ぼしたる變化及其の將來に及ぼす影響の一端を紹介するは蓋し國防が帝國産業の將來に對し囑望する所極めて大なるものあるを以てなり

(一) 戦争は從來個別的組織の上に成立せる産業を國家的見地の下に結合し聯絡し和衷協同の美風を養成し此の美風は戦後の經濟戦に好影響を與へたり之に關する一例證として佛國軍需局長が某所に於て試みたる演説の一節を紹介せば次の如し

戦争の我が佛國民に及ぼしたる影響は服従と克己の精神にして他の言を以てせば協同義務に對する自覺心なり個別的利益の普遍的利益に對する協讓なり將又社會的訓練と組織とに對する贊意なり此の精神は吾人に宿り或は勞働制度、産業制度に於て或は私人と國家との折衝に於て不可思議なる效驗を顯はせり即ち平時に在りては事業家は常に各、個別的行動を採り國家的見地よりして些の結合聯絡なかりしなり然るに戦争なる大警鐘は産業家の迷夢を破り茲に國家的に訓練せられ工業制度は根本的に改革せられたり即ち工業の組織は理想的に國家的見地よりせられ政府は民間工業を誘導して倦まず民間工業家亦政府の劃策施設の意に副ふに努むるに至る蓋し此の如きは實に戦前如何なる卓見家と雖も夢想だにせざりし所なり

吾人は繰り返して謂はむとす過去に於ける佛國工業界には毫も和衷協力の現象を見る能はざりき

鑛山業、冶金業並機械製造業等は當然聯合あるべくして而かも其の實は全然皆無なりしなり結合なきのみならず極端なるものに至りては互に鬭争しつつありしなり此の如くして何ぞ他國との競争に堪ふるを得むや然るに戦争は吾人を教へたり現在の佛國産業界には嫉視もなく鬭争もなく一致協同相倚り相援くる美風は勃然として起れり此の如き美風は戦後と雖も存續すべく否存續せしめざるべからず斯くして戦後に於ける佛國産業界は甚だ多忙且多幸なるを得べく國家は戦後に於ても戦時中に於けるが如き組織的施設努力を以てし産業家たるもの亦之に應ずる準備努力なかるべからず此の協同和衷は戦後の發展に處する途にして之を措きて他に良法あることなし云々

更に休戦に伴ふ産業復員實施に關する各交戰國の施設に之を徵するも國家的見地に基く和衷協同の跡歴然たるものあり即ち戦後の經營、産業の復興に専念從事すべき一省を設け或は既設各省内に特種機關を新設編合し更に官民合同の各種調査機關を編成せる恰も開戦後平時産業を戦争目的に改編集中するに方り上下舉げて一般協同したると異ならざるが如き是なり

(二) 戦争は産業特に工業の獨立發達に對し特に大なる要求を課するに至り戦後の各國は何れも産業特に工業の發展保護に意を用うるに至れり即ち佛國が客年十一月二十六日の閣議に於て戦後の經營方針は専ら工業の復興を圖り外國貿易の振興に努力するにありと決定し之に伴ふ施政方針を發表せる或は彼の戦前自由貿易を採り來りたる英國に於て本年八月十八日下院に於ける首相の演説に工業保

護政策に關する言明ありたるが如きはなり

- (三) 戦争は特に個人經營に屬する小企業を破壊し合資組織に依る新企業を増加し既設企業の多くは各増資に依り小營業は中營業に中營業は大營業に變化し更に系統的合資合同を著しく促進助長し爲に各種營業は漸次專賣的勢力を保有するに至り茲に戦後の經濟戰に對する各國は縱横兩方向より各堅固に且國家的に結合せられたる産業組織を以てするに至らむとす之が例證を獨逸に求むれば戰爭の必要よりする政府の強制に依り石炭「セメント」、製靴、石鹼及人造「バター」生産業等の縦斷的合資合同團が完全に組織せられたるが如き或は獨逸銀行雜誌に依り千九百十四年以降千九百十七年末に至る獨逸各種株式會社及有限責任會社の新設、増資の一端を紹介すれば附表第一に示すが如く各種新設會社六千七百五十、其の資本金額十四億千九百三十八萬五千麻克、右の中工鑛業に屬するもの三千六十八會社、其の資本金額六億九千四百四十萬四千麻克又増資したる各種會社二千四百四十三、其の増資額十九億二千三百九十五萬八千麻克、右の中工鑛業に屬するもの千七百七十二會社、其の増資額實に十三億三百六十三萬六千麻克に達するの狀況にあるが如き（尙參考の爲工業會社に就き新設、増資の内容を示せば附表第二の如し）或は又英國等に於て石炭、鐵道國有論の唱道を見るに至りしが如きはなり

(四) 戦争は技術的革新を齎らし自給自足の必要は戦時産業の需要に適合し而も戦後に於ける産業の需要にも利用し得べき新發明及新企業を見るに至れるは世人の普く知る所にして敢て贅するの要なく

戦後に於ける交戦各國の産業が戦前に比し著しく其の面目を一新し來るは明瞭なり主なる二、三を擧ぐれば空中窒素固定法、護謨人造集成法、織物に木材の利用、薬の溶解に依る麵粉製造及砂糖より爆薬原料の製造等の發明改良の如き或は自動車、潜航艇及航空機の偉大なる改良發達の如き是にして特に航空機製造技術の將來は光明に輝き空界は多忙多幸ならむとし空中交通は遠からず陸上、海上交通と併用せられ雌雄を争はむとするに至れり

- (五) 戦争は一方に於て生産力の増加を必要とせるに反し他方に於ては壯丁を産業より奪取し老幼婦女及不具癈疾者を以て代用せる等諸種の原因より工藝技術の利用を助長し特に工業は益機械化し且分業化するに至れり之を彼の共に其の勞務者よりすれば戦前に比し戦時に於て約三割内外を減少し或は火薬製造の爲窒素肥料の空乏を告げつつありたる等諸種の原因は戦争の進展に伴ひ益、不利なる影響を蒙るべきに拘らず英國の戦時農産額が戦前と大差なく否却て若干增收を示し或は佛國の戦時農産額が千九百十六年以降克く千九百十五年の狀態を維持し得たる耕作法及農具改良の結果に歸すべき點多く或は又佛國が平和來と共に國內産業特に諸工場の舊式設備機械類を戦争經驗の賜たる新式に改備しつつあるが如き一例證とす

(六) 戦争は假設工場の一部に對し休業を餘儀なくせしめ且其の設備特に機械の一部を他に搬去利用し爲に此等休業工場中には大修理を加へたる後にあらざれば復使用し得べからざるものありと雖も一

方多數工場を新設し既設工場の大部は却て戦時中擴張し結局平和來と共に活動し得る状態にある工場數及其の力は戦前に比し増加の状態にあり

(七) 戦争は國內産業より多數壯丁を驅りて戦線に立たしめたりと雖も爾後其の空位は概ね餘人を以て代用補填し結局戦時農業以外の國內産業界には戦前と略同一人員を保有せり之が一例證として英國各種職業に就き開戦前被僱役勞務者に對する休戦前の増減景況を示せば附表第三の如し故に各交戦國は平和來と共に軍隊復員を開始せば多數失業者を生じ一時は幾多困難なる勞働問題を誘起すべきは明瞭なりと雖も(此等の關係に就ては章を改めて記述すべし)一面に於て戦前勞力不足を訴へつつありたる歐洲産業界が却て豊富過剰なる勞力供給を受くるの結果を生じ戦後の經濟戦に對し極めて有利なる地歩を占むるに至るは注意すべき事象とす

(八) 戦争は軍需以外の國內諸需要品に對しては生活必需品に至る迄之を制限したるは人の能く記憶する所なるのみならず國內諸設備、諸機關に對しても加修休止の餘裕すら與ふることなく全能力を發揮消磨せしめたり従て此等諸設備、諸機關中には平和來と共に修理休息を與ふるを要するもの多く又交戦國の産業が海外供給に任じ得るに先ち取敢へず國內の需要に對する供給に任せざるべからざるもの極めて多く茲に交戦諸國の産業は原料、材料、動力等に關しては戦時産業に充當せるものを直に戦後の産業に充當し得べく勞力に關しては前陳の如き状態にあるに係らず真に海外市場に其の

革新したる産業力を應用し得るは尙多少の時日を存すべし此等に關し英佛當局者の言説を引證し尙具體的に紹介せば次の如し

客年十一月八日地方工場管理部委員に對する英國軍需大臣演説中の一説に曰く「戦争の爲其の生産量を制限せられ居りたる工業にして平和の來るを待ち生産材料の豊富なる供給を受け其の全速力を以て活動せむと欲しつゝある工業の種類は現在甚だ多數にして建築工事、造船工業、鐵道工事、工場に於ける設備の改正、織物工業用機械の製造等是なり而して右の外戦争終局に伴ひ各種商品の大要求來るべきは必然にして千八百七十年戦役は其の規模素より今回の戦争と比較するに足らずと雖も其の戦役後に於ては戦争の爲荒廢に歸したる各種商品の大需要を來したるの實例あり今歐洲の實状を見るに大部分の地方は戦争の爲其の生産力を失ひ平時の状態に復歸するには甚だ長時日を要す是れ英國工業家の乘すべき好機會にあらずや」と又客年十一月二十六日佛國政府が發表したる戦後經營方針中「戦時工業に従事したる工場の多數は其の作業能力に應じ遞信省用機械を初め船舶又は諸器具其他現今佛國に於て欲せざる各種器具機械の製造に従事すべし」との一節を包含せしめたる以て其の一端を窺ふに足らむ

次に交戦諸國が産業復員に方り最困難しつゝあるものは輸送力の恢復整備にあることを述ぶる所あらむとす彼の開戦當初其の海洋商船九千二百四十隻約一千九百三十萬噸を算したる英國も新造、購

入及敵船の鹵獲、押收利用等に依り其の喪失噸數の補填に最善の努力を爲したるに係らず休戰當時には戰爭中運轉を強行繼續せるより生ぜる欲損噸數を考慮外に置き尙三百五十萬噸の喪失となり休戰後の努力を以て本年末迄に約三百萬噸を建造し得るとするも尙未だ戰前の状態に復歸し得るに至らざるの状态にあり更に英國の鐵道状態に關し本年八月同國首相の下院に於ける演說中の一節を引用せば「茲に産業復興を阻害する一原因は鐵道及埠頭に於ける滯貨にしてこは頗る重大なる原因とす鐵道が完全なる修理をなさざりしこと其の一理由なり機關車及貨車に十分なる修繕を行はず起重機には全く修繕を加へず國民は身命を賭して戰に従事し此等事物を顧みるの違なかりき吾人は貨車の數を増加せざるべからず數千の機關車、數萬の貨車は佛國に送られ彼の地に於て破壊せられたるもの尠ならず而して今尙其の地方の整理と占領軍用に從事するもの多數なり其の結果は鐵道及埠頭に於ける滯貨となれり」云々更に又佛國鐵道状態を附言せむに佛國工業復興大臣は鐵道状態の復舊に著意し休戰と共に直に貨車修繕效程を毎月千五百、更に本年六月以降は之を二千五百に高上するの計畫を立て著々其の實施に移りたるに拘らず本年八月十九日發在馬耳塞帝國領事の報告に依れば歐洲大陸内地は石鹼の缺乏を告げ需要噸に増加せるを以て該地石鹼業者は輸送力にして十分なるを得ば益々繁盛を見るべき時機なるに拘らず鐵道會社は普通運賃は勿論急行運賃を仕拂ふも貨物の引受を肯せざる状態にて販路杜絶し製産過剩に苦しみつありと又戰前、戰時、戰後に於ける該地

より内地への石鹼鐵道輸送量千九百十三年の十二萬噸が千九百十七年末は八萬八千噸に降下し千九百十九年上半年期には更に一萬千噸に急減せるを報せり以て其の一般を窺ふを得んか

(九) 戰爭は資本金、企業家をして益々強大ならしめたるもの極めて多きに反し労働者に對しては殆んど萬事を隱忍せしめ多大の犠牲を要求したるに拘はらず之に報ゆること極めて尠なりし結果は思想上の變化其の他各種の原因と相俟て平和來と共に幾多労働争議の種子を培養せり加ふるに各種労働組合は組合員の出征、轉業、失職等よりして戰爭中組合員は甚しく減少し組合員の減少は組合機關の縮小を餘儀なくせしむるに至れりと雖も此等は平和來に伴ふ軍隊復員と共に恢復すべく加ふるに其の組合資金は著しき戰爭影響を受けあらざるを以て蓋し平和後に於ける労働争議の益々滋きを致す必然と謂ふを得べし今組合員の減少、組合機關の縮小並組合資金の戰時状態に關し獨國職工組合に一例を求むれば次の如し

(イ) 組合員の減少 千九百十三年に對する千九百十六年末迄の組合員減少は男子百五十五萬四千百十二人、女子二萬六千三百三十五人に達せり之を千九百十三年現在員に對する百分比を以てせば男子は六割七六、女子は一割一五の減となる而して右男子組合員の減少には失業、轉業等に依るものありと雖も其の大部は軍務召集に依るものとす

(ロ) 組合機關の縮小 千九百十三年に對する千九百十七年の組合支部の減少は二千八百三十四即

ち二割三に達せり而して右は組合員の減少より支持困難となりし結果とす

二八

(ハ) 組合資金の戦時状態 金屬職工組合を除きたる他の全職工組合の資金は千九百十三年の七千五百萬麻克に對し千九百十七年末は七千七十萬麻克にして僅に四百三十萬麻克即ち〇・六割弱の減少に過ぎず更に組合員一人當資金とせば千九百十三年の三十七麻克八六より千九百十七年末には九十二麻克七に増加しあり勿論此の一人當資金を比較するには物價の變動並平和來と共に軍務より歸還すべき組合員等を考慮するを要すも組合資金の戦争影響は組合員の減少等に比し甚だしく尠少なるを知るを得べし

之を要するに以上論述せる所のは極めて抽象的の感ありと雖も亦歐洲交戦國の産業組織が戦争に依り如何なる變化を受け戦役の經濟戰に如何なる結果を齎すべきかに就き大體觀念を得るには十分なるを信じて疑はざる所なり

三 軍需品製造の爲新設せられたる特種工場平和後の業務

軍需品製造の爲戦時新設せられたる特種工場とは砲彈及其の部品、砲兵材料、小銃、機關銃並飛行機工場等とす而して此等新設工場が平和と共に各交戦國に對し如何なる工業力を發生したるかに關し今日迄に調査し得たるものを紹介すれば概ね次の如し

- (一) 砲彈鑄造所は各種機械、農具、不酸化鍋、雨樋、鐵管等の製造所に變化せるもの多し
- (二) 砲彈仕上工場は鐵道輪轉材料、自動車工具並製粉用、道路掘固用、印刷用、農業用、屠獸用及製靴用等の諸機械、器具の製造所に變化せるもの多し
- (三) 信管製造所は電氣用器具機械、時計、發動機用部品、錠及金屬細工物の製造所に變化せるもの多し
- (四) 爆管製造所中には金屬鋸被覆作業に變化せるものあり
- (五) 藥莢製造所は家具製造所に變化せるもの多し
- (六) 飛行機用發動機製造所は自動車及小銃盤製造に、飛行機用張線工場は時計部品の製造に又飛行機組立工場の多くは家具類製造に變化せり

四 結 言

之を要するに戦争に依り更に革新せられたる歐米先進國産業力の復員に伴ふ今後の發展は蓋し恐るべきものあるは一點の疑なき所にして帝國産業界たるもの今や徒に一時の好景氣に麻痺心醉しあるべきにあらざるべし國防は切に産業の將來に期待する所極めて大なるものあり敢て一言を費す所以なり

附表 第一

自千九百十四年 獨國各種株式及有限責任會社新設増資景況概見表 (單位千麻克)

至千九百十七年

昭和十七年四月一日現在

區分	農及牧畜業		探鑛及採石業		各種工業		建築、銀行及交通業	
	新設	増資	新設	増資	新設	増資	新設	増資
小計	一一五	三八	一五三	三六八	二〇二	五七〇	三、六七〇	八〇五
合計	二一、七〇五	九、三四一	三一、〇四六	一一八、七七二	一四五、四八三	二六四、二五五	一、七二九、七八五	二九二、七二〇
小計	一八九	二四六	二〇三	三二五	七〇二	四六四	五〇八	三六四
合計	一、八七九	一、八七九	一、八七九	一、八七九	一、八七九	一、八七九	一、八七九	一、八七九

三〇

區分	其他		小計		合計	
	新設	増資	新設	増資	新設	増資
小計	二、七六二	六九五	三、四五七	六、七五〇	二、一四三	八、八九三
合計	四一四、五五六	一六九、三七七	五八三、九三三	一、四一九、三八五	一九二、九五八	三、三四三、三四三
小計	一五〇	二四四	一六九	二二二	八九八	三七六

附表第二

自千九百十四年獨國工業株式及有限責任會社新設増資景況概見表 (單位千麻克)

區分	新設		増資		合計	
	會社數	資本金額	會社數	資本金額	會社數	資本金額
金屬及機械業	九七九	二〇〇、七九〇	四六七	五〇三、二二五	一、四四六	七〇三、九一五
電氣工業	一〇二	一六、四六七	一六	一七、二二一	一一八	三三、五八八
電氣及瓦斯業	四八	一八、七二六	七八	一六七、六四九	一二六	一八六、三七五

第十二 國家總復員の概況

三一

職業別	開戦前に對する休戦前の増減(千人)	開戦前に對する休戦前の増減(千人)	開戦前に對する休戦前の増減(千人)	開戦前に對する休戦前の増減(千人)	開戦前に對する休戦前の増減(千人)	開戦前に對する休戦前の増減(千人)	開戦前に對する休戦前の増減(千人)	開戦前に對する休戦前の増減(千人)	開戦前に對する休戦前の増減(千人)
職業別	男	女	計	男	女	計	男	女	計
獸脂、石油業其他	七四	四八、八九五	二八	一一、一〇六	一〇二	六〇、〇〇一			
化學工業	二六一	五三、五一三	一二七	三〇〇、七七一	三九四	三五四、二八四			
紡織業	一六三	四五、六七一	五三	二一、六九六	二一六	六七、三六七			
製紙業	七六	一一、三五八	二八	一五、一九一	一〇四	二六、五四九			
皮革業	一三一	三八、五九八	三〇	一七、二五二	一六一	五五、八五〇			
木材及彫刻材料業	二〇五	一九、五〇三	三二	七、八五三	二三七	二七、三五六			
食糧品業	五八七	一一〇、九九二	一九五	八一、〇三〇	七八二	一九二、〇二二			
被服及洗濯業	七四	七、一九九	九	一五、三五九	八三	二二、四七九			
計	二、七〇〇	五七、一六三二	九七三	一、一五八、一五三	三、六七〇	一、七二九、七八五			

附表第三

英國工業及其他の職業に付開戦前勞務者に對する休戦前の増減一覽表 (單位千人)

職業別	開戦前に對する休戦前の増減(千人)	
	男	女
金屬工業	一四八	四二四
化學工業	四	六四
紡織工業	(二二八)	(三六)
被服品製造及製靴業	(二〇八)	(四四)
食料、飲料及烟草業	(一一六)	三九
製紙印刷業	(二〇八)	(六)
木材工業	(九〇)	三五
皮革工業	一九	三八
建築業	(五二〇)	(三)
其他	(二八二)	四五
小計	(一、一七七)	五六六
諸官營工業	一七九	二二三
計	(九九八)	七八九

職業別	開戦前に對する休戦前の増減(千人)	
	男	女
金屬工業	一四八	四二四
化學工業	四	六四
紡織工業	(二二八)	(三六)
被服品製造及製靴業	(二〇八)	(四四)
食料、飲料及烟草業	(一一六)	三九
製紙印刷業	(二〇八)	(六)
木材工業	(九〇)	三五
皮革工業	一九	三八
建築業	(五二〇)	(三)
其他	(二八二)	四五
小計	(一、一七七)	五六六
諸官營工業	一七九	二二三
計	(九九八)	七八九

第十二 國家總復員の概況

官公吏	勞務農	自由業	金融、銀行及商業並旅館、劇場	運輸交通業	瓦斯、水力電氣供給業
(二七三)	(一八五)	(六〇)	(六一二)	一	(一三)
一五八八	一八七	五七	四四二	九六	四
(六八四)	二	三	(七〇)	九七	(九)
(二二)	(二九)	(四七)	(三九)	〇	(二二)
四九	六〇	一一三	六四	五二七	六六七
(五)	〇	(〇)	(三)	一一	(一五)

其四 結言

交戦各國の總復員は刻下尙其の中道に在り未だ固より功罪を論結すべきの時期にあらず而も其の實驗教訓たる多くは吾人異日の參考に資すべきものにして今直に移して採擇利用し得べきものに至りては甚だ多からず然りと雖其の直に參酌採用し得ざるの故を以て之が研究調査を懈るが如きは悔を他日に殘す所以にして吾人の採らざる所なり

他日有事の秋國の全能を擧げて所謂國民的戰爭を敢行するに方り其の終局後の整理經營に臨み這次歐米交戦諸國の總復員に際し施設措置せる所に學ぶ所多きは茲に喋々を要せず國民復員に於て産業復員に於て將た爾他の復員に於て彼等の計畫し實行せる所一として活ける教訓にあらざるはなく其の詳細に至りては之を前諸節の記述に譲り茲には之を再言せず吾人は唯次の一事に關し有識者の注意を喚起するに止めむとす曰く曩に國家總動員の研究に方りても極言せるが如く方今の戰爭は單に軍隊のみの闘にあらず産業、交通、金融等悉く其の全機能を擧げて戰鬪力の構成に與かるものなるが故に軍事と産業、經濟、社會との關係は復た往時の如く菲薄なるを許さず否此の間水も漏らさぬ密接不可離の連繫協調を保ちて始めて國防を云爲するを得べく這次各國の行へる國家總復員を觀て更に此の感を深くするものなくむばわらず是に於てか將來の軍人は單に純軍事に堪能なるのみを以て満足すべからず相當法政、經濟上の智識を具有し産業狀態、社會事情に關し所要の理解を有せざるべからざると共に軍人以外の者亦軍事を以て獨り武人の關する所なりとして之を等閑視し淺薄なる軍事智識を以て甘んずべきにあらざるなり若し夫れ軍人の軍事以外に關する智識並軍人以外の者の軍事に關する理解依然舊態に止まるものとせむか將來の國力戰爭に於て支吾滯滞の交、生起すべきは逆睹するに難からず否な測るべからざる將來と云はず刻下著々進展せしむるを要する國民的國防即ち國家總動員準備の爲にも支障少しとせざること即ち是れなり輓近軍部に於て將校候補者並將校の教育上此等の點に關する考慮を倍從せるが如き這個の理由に基く所大なるものとす

終りに臨み一言す國家總復員に依り交戦各國が平和的態勢に復せむか爾後經濟角逐産業戰爭場裡に邁進すべきは疑の餘地なく又各國の支配階級は頻りに永久平和を唱道し世界の輿論亦戰爭回避に眷々たるの状を示し吾人亦平和の恒久ならむことを衷心冀望するものなりと雖も斯の如き理想が果して實現すべきや否やは何人も之を確斷する能はず宜なる哉各國は總復員を行ふに方りても將來の國防、國家總動員上の利便を念として施設改造を行へるの跡歴々たることや而して此の際特に邦人の注意を要するは列強が總復員に依り平時状態に復せる後に於ても其の保有する所の既教育兵員は別表掲記の如く偉大にして此等は何れも一切の軍服を支給せられて野に在り必要あらば立ち起つて戰陣の精銳たるを得べく其の四年有餘に互り經驗を積み基礎を固めたる軍需工業は有事の際往年に幾倍する能力を短時に發揮し得べく萬千の飛行機其の他の軍器は經濟的利用の途を求めて在郷し過剩となれる巨額の兵器材料は如何に豊富なる戰用準備の需要にも應じ得べき情勢に在ること是れなり徒らに列國戦後の外形的軍備を觀て直に之を帝國のものに對比し彼此の交戦能力を比較判斷せむとするが如きは輕舉是より甚しきはなきなり

第十三 國防上より見たる産業

日本經濟叢書 第一冊 國防上より見たる産業

第十三 國防上より見たる産業

一 緒言

從來少くも這次戰爭前に於ては軍備が國力概言せば産業力を保護發展するの要具たりしこと人の普く知る所なるも之と同じく産業力が軍備に缺くべからざる直接要具たるの觀念は未だ十分徹底せざる所ありたるは事實なり然るに近世戰爭の趨勢特に這次戰爭は此の觀念思想上一大革命を齎し軍備が産業力を維持擴張し發展せしむるに緊要缺くべからざるものなりと共に産業力も亦軍備特に戰爭力を維持培養増大する直接要具にして産業力は軍備の極めて有力なる一大要素たるを理解自覺せしむるに至れり、實に此の兩者は唇齒相離すべからざる最も緊密なる關係を有し今や國軍の優劣強弱は單に其の兵數、艦數及裝備のみを以て論ずるを得ず必ずや此等と共に其の産業力の如何を併せ評價するを要するに至れり以下國防と産業との相互關係に就き這次戰爭に教訓を求め以て帝國將來の施設に資する所あらむとす

一 一 戰爭力の要素たる物質力と産業特に工業力との關係

這次戰爭前に於ける主要交戰國産業力を農漁業勞務者と工礦業勞務者との全生産年齢者に對する百分比

第十三 國防上より見たる産業

を以て比較し該産業力の這次戦争に及ぼせる物質力とを對照する爲陸軍召集總員及休戦前在隊兵員の全生産年齢者に對する割合並軍需品自給概況とを示せば附表第一の如く兵員召集可能數及編制し得べき國軍兵數は産業の組織及方に殆んど無關係にして概ね單に人口に比例するものなりと雖軍需品自給可能力は大に前者と趣を異にし露、埃甸及伊國の如き農業國に在りては兵員召集能力及編制し得べき國軍兵數に比し食糧資源は餘力あるも工鑛業力は著しく不足し英國の如きものに在りては工鑛業力は概ね適當なるも食糧生産力著しく不足し獨國の如きものに在りては食糧生産力は稍不足するも工鑛業力は著しく過剰に、佛國に在りては食糧生産力概ね可なるも工鑛業力は未だ十分と認むるを得ず是に於てか近世戦争に最も好適する産業力は蓋し獨佛兩者の中間に位すべきもの更に具體的に謂へば其の工鑛業力は概ね獨國のものに近似し而かも其の食糧生産力は獨國のもの以上たるを要すと謂ふに歸著すべし

農漁業勞務者數と工鑛業勞務者數との割合に依る概括的比較より更に一步を進め這次戦争前に於ける主要交戦國工業力を金屬化學及紡織工業力に分類比較せば附表第二及第三の如く又這次戦争間英佛及獨國主要軍需品製造状態を概説せば左記の如く近世戦争の要求する工業力に關し概ね其の基準を求むるを得む

左記

製鋼力 其の戦時要求に對し製鋼餘力最大なりしは獨國とし英國は開戦初期大なる餘力を保有せるも其の後國軍漸次増大し戦場に於ける使用數量の激増で獨國潛航艇の活躍等諸原因は戦争間多少

其の製鋼力を増加せるに係らず終期頃には殆んど餘力を存せざるに至れり、又佛國は英獨二國に比し尠少なる製鋼力を以て戦争を開始し加ふるに開戦と共に製鋼力の大部を獨軍に占領せられたる結果其の製鋼力の殆んど全部を陸軍に提供せるも到底其の需要を充たすを得ず軍用鋼材の大部を海外補給に待つ状態に陥れり今其の一端を示せば約四百六十萬噸の戦前製鋼力は千九百十五年には約百萬噸に降下し次で千九百十七年には約二百二十萬噸迄回復せるも同年の輸入鋼材は約二百七十萬噸に達し結局陸軍以外の需要に對する供給を極度迄制限したる佛國戦時鋼材需要額は約五百萬噸に上り戦前製鋼力を超過せり

鋼製品 鋼製軍需品特に兵器彈藥類製造工業力に關する英獨二國は製鋼力に就き前述せる所と大同小異なり又佛國は製鋼力の夫の如く大不足を訴ふることなく概ね國軍の要求する製造工業力を發揮し得たるも各種工作機械、自動車、飛行機用發動機及鐵道運轉材料等にして與國の供給に仰ぎたるもの尠少ならざりしは注意するを要す

化學工業品 化學工業品に關しては戦前獨國が世界の覇權を掌握し特に染料、各種工業藥品類等にして獨國の獨占的なりしもの多く從て此等に關し英佛二國が開戦と共に困難の状態に陥りしは事實とす然れども戦時要求が漸進的なりしと此等國民の技術的能力とは戦役の経過と共に自國內製造を開始するに至り特に獨國に在りては原料輸入杜絶に對し盛に代用原料の發見利用を見るに至れり

棉毛工業品 何れも其の戦時要求に應ずる工業力を有せり

各主要交戦國に於ては兵器彈藥器材の需要豫想外の額に達したるに係らず能く之に應じ驚嘆すべき戦時工業力を發揮せり然れども此等戦時工業力の多くは戦時要求に應じ新に發芽し建設せられたるものにあらずして其の大部は平時工業力の轉用即ち變態に過ぎず又絶對的な戦時要求及努力を以てするも平時工業力以上別に新に大なる戦時工業力を發生し得ず戦時其の國軍に供給し得る物質力は該國家が開戦前保有せる産業力を多く超過せしむるを得ざるものにして這次戦争に現はれたる多くの事實は之を證明す今其の二、三を述べれば次の如し

(一) 工場、艦船、鐵道等有らゆる國內機關は戦時著しく繁忙を極め此等機關の消費する石炭も亦平時に比し著しく多大の増加を見るに至るべしとは人の想像する所なり然るに事實は之に反す一例として英國開戦以來の石炭消費額を擧ぐれば次表の如し

年次	一九一三	一九一四	一九一五	一九一六	一九一七	一九一八
石炭消費額	二一〇	二〇四	二〇七	二二五	二〇九	一九二

(二) 英國開戦前の工業勞務者男子五百萬人、女子二百萬人、鑛業勞務者男子百十萬人、女子七千人、運輸交通業勞務者男子百十萬人、女子二萬人並瓦斯電氣及水力供給業勞務者男子六萬人、女子六百

人は開戦と共に劇甚なる變動を受けたるも結局休戦前勞務者の開戦前に對する割合は次表の如く僅に一割内外の増減に過ぎず即ち前號石炭消費額と共に局部的事象は別として大局上より觀察せば英國戦時工業力は概ね開戦前の平時工業力と同一なることを知るを得む

職業別	開戦前に對する休戦前勞務者の増(減)百分比	
	男	女
工業	(一九)	三八
鑛業	(一四)	五八
交通運輸業	〇	五二七
瓦斯電氣及水力供給業	(二二)	六六七
計	(四)	一一

(三) 主要交戦國製鋼力戦時状態を示せば附表第四の如く戦時需要激増せるに係はらず各國共其の製鋼力を戦前に比し五割以上を増加し得たるものなく此の間獨り佛國は其の月製額が示す如く特異の状況を呈し千九百十七年末迄には千九百十四年末に比し約四倍に回復増加したるは注意すべき事象とす蓋し佛國は獨軍の侵入に依り製鋼地の大部を喪失せるも元來佛國には製鋼設備以外別に約四、五百萬噸を製鋼し得る潜勢力培養されありたる結果に外ならざるべし

四二
(四) 佛國開戦前國內智利硝石の需要額約三十萬噸に對し戦時の軍需工業需要額が亦同じく約三十萬噸を出でざりしは奇異なる現象にして此の事は前掲主文に好適する例にあらざるも亦或る一種の暗示を與ふる所のものとす

虚心坦懐前述せる所を概味し且産業特に工業力に就き帝國のものと主要交戦國のものとを比較せる附表第一乃至第三を對照するときは帝國産業力特に工業力の國防上に於ける價值を直に了解するを得べく這次戦争に於ては其の戦場に勤務すると内地補充隊に在るとを問はず總兵員に對し一人當所要鋼鐵年額約一噸を必要とし更に之を歴史的事實に徴し理論に訴ふるも將來戦に於ては右需要額の増加すべきは疑なき所なり、故に這次戦争間帝國の製鋼力其他金屬工業力は長足の進歩を爲したりとするも尙目下帝國工業力が養ひ得る戦時兵力は蓋し思半に過ぐるものあらむ戦時の工業力を組成する諸因子は即ち平時工業力を組成せる因子にして平時工業力の如何は其の戦時工業力を評價し得べく國際聯盟が第八條中に聯盟國に對し軍事上の目的に供用し得べき工業の状態に關し十分にして隔意なき報道の交換を規定せるは實に此の意味に外ならず某範圍の工業力就中金屬及化學工業力は嚴然たる軍備の一大要素にして此等工業力の嚴存は有力なる陸海軍兵員の保持と共に平時國際力を後援増加し有事の日必要なる戦争力を發揮し得せしむるものなると共に此等工業力の缺乏は從來の觀念を以て謂へば恰も其の國に軍隊なきか或は軍服を着用せる軍隊あるも携帯せしむべき銃器なきと何等選ぶ所なきものと謂ふべきものとす、人或は

謂はむ工業力増進の必要敢て異論なき所なりと雖帝國の如き工業原料に乏しき國に在りては到底得て望むべきにあらざると然れども之に對しては次の數言を以て足れりとせむ曰はく世界の四大工業國中米國以外英、獨、佛國の千九百十三年に於ける工業原料消費額及該消費額に對する輸入品割合に關し一米國人の調査せるものは附表第五の如く此等諸國と雖僅に鐵若くは石炭に就き自給しありたるに過ぎずして其の他は概して海外補給に仰ぎたるものなること及帝國石炭の將來は或は悲觀すべきものあるべしと雖帝國には工業用動力として利用すべき水力の多大なるものあるのみならず石炭、鐵及其他の原料に就ても國外とは謂へ比較的近距离に且便宜なる地方に之を求むるを得且勞力に十分大なる餘力あること並原料棉花尠なる帝國に於て棉工業が獨り列國と比肩し得べき程度に發達しあること是なり即ち帝國工業力發達の能否は原料關係を離れ工業技術の進歩、發達及之に伴ふ販路の擴張並工業原料を容易確實に入手し得る手段を講ずるに存するを知るを得べし

純然たる平時經濟的要求に基き構成せられ自然に發達せる工業力を以て國防が満足し得るや否やは其の工業組織内容に依り異なるものありと雖彼の英國の工業力を以てして尙首相「ロイド、デューチ」は本年八月十八日下院に於ける工業政策に關する演說中(一)軍事上必要なるか又は戦時中國家の存立に必要なこと明白となりたる工業(二)或る工業を輕視し居たる爲軍需品の生産が十分に行はれざりしこと戦時中發見せらるるに至りたる工業(三)戦時中政府が保護獎勵を行ふべき必要を發見したる工業(四)戦争に依り或る

貨物の生産が國民生活上必要缺くべからざること明白となり而も特に政府の保護を受くるにあらざれば僅に其の生産を繼續し得るに過ぎざる工業等にして基礎の固まらざるものに對し保護獎勵の必要なることを切論せるが如く某範圍に於ては經濟上成立困難なる工業にして國防上極めて緊要とするものあるは必然とす、加之國防上の要求と經濟上の要求と合致せる工業に在りても亦國防は某程度の要求を課するの必要を生ずるものとす是れ敵に先ち攻勢を採り成し得る限り短少日月内に戦争を終了せしむる爲神速なる軍隊の動員集中が戦争の絶對要求なると同じく平時産業の戦時産業への轉位も亦迅速に完了するを要するを以てなり、若し夫れ平時産業より戦時産業への轉位にして軍隊の動員集中に伴はざらむか茲に國防は平時より此の兩者の不均衡を醫するに足る軍需品を製造準備貯蔵するからざれば競争力は緩慢なる遞次増加の方法に依るを要し前者は平時莫大なる財力死藏となり後者は戦争原則に反し特に帝國四圍の状況上全然容認すべからざる事に屬す、這次戦争中主要交戦國に於ける二、三重要兵器製造力増加の景況を示せば附表第六の如く米國以外の諸國に於ては開戦前準備の缺乏、戦争要求が漸進的なりし關係等諸種の事情ありたりと雖此等諸國の工業力を以て尙且平時工業より戦時工業への轉位に斯の如き長日月を要したる及之に反し米國が此等諸國に比し著しく迅速に戦時工業を發揮し得たるは特に注意すべきことにして國防上よりせば單に利用すべき工業力の存在を以ては満足するを得ず平時より必要なる施設準備を整へ平時工業力を迅速容易確實に戦時状態に轉移せしむることに萬遺算なきを期せざるべからず

四四

三 競争力の要素たる精神力と物質的文明との關係

物質的文明の發達と競争力要素たる精神力とは相反馳し相容れざるものにして又戦争に於ける物質力の利用増加は精神力に對する要求を輕減し得るものなりとは從來往々世人の口にする所なり然るに這次戦争の經過は其の大に然らざるものあるを立證し世人に反省を促す所あるが如し勿論國民の這次戦争に對する理解、自覺程度等諸種の原因存在すべきも各交戦國中物質的文明國即ち工業國民たる獨國民は物質的文明程度の劣れる農業國民たる露、埃、匈、伊國民等に比し戰場に於て遙に勇者にして強弱の差甚だしく大なるに反し同じく工業國民にして物質的文明程度に於て獨國と甲乙なき英、佛との間には殆ど差異なく優劣必ずしも速断し難きものあり、更に之を戰場精神力培養の根原たる國內精神力に就き比較するも亦全然同一なるは人の普く了解せる所にして即ち知る産業土の一等國民は同時に戰場に於ける最強國軍たり戦時に於ける最強國民たるを得産業上の劣等非物質的文明國民は戰場に於ても將又國內に於ても劣等國軍たり劣等國民たりと稱するを得べし

勿論諸種の事情之に伴ふものなりと雖戰場に於て百人中五十人の損害を受くるも尙頑強に交戦を持續せる國軍は百人中二十五人の損害を蒙り既に競争力を失ひ敗退せる者に比し遙に勇者たりと謂ふを得べく特に攻者が勝利の月桂冠を得る迄に耐え得たる損害程度は最も克く此の間の消息を語るものとす既往主

要會戰に於ける攻者及敗者の受けたる損害及這次主要會戰中英佛兩軍が攻者の位置に立ちたる場合の損害を會戰參加兵員に對する百分比を以て示せば附表第七の如く這次戰爭に於ける英佛軍の攻撃中耐え得たる損害程度は過去其の比を見ざる所にして今日の歐洲人は其の祖先に比し決して怯懦ならざることを知るを得べし、又千八百六十六年「トラウテナウ」の戰鬪に於て奧國某師團は攻撃前進中約二割五の損害にて攻撃力頓挫し却て獨軍の爲撃退せられ或は普佛戰役當時獨軍の一部隊は攻撃前進中約五割の損害を受くるや潰走に陥り其の他右に類する幾多戰史的事實より這次戰爭前に於ける歐洲兵學界は軍隊は約二割五の損害を受くる迄は尙攻撃を續行し得るものなりと雖此の以上の損害を受くるに於ては特別の場合を除くの外攻撃力の維持困難なるものにして其の損害五割に達せば既に其の位置の保持すら困難なるに至るものなりとせり、然るに之を這次西方戰場に徴するに攻撃中の第一線師團が攻撃續行困難に陥り後方師團と交代するに至る迄の平均損害は佛軍四割、獨軍三割、英軍二割五分にして英軍のものは過去戰爭より歸納せる前陳標準學說値に一致しあるも佛獨兩軍に在りては之を超過しありて獨英佛國民は彼等の祖先が曾て戰場に於て現はしたる勇氣を維持し否却て増大しありと謂ふを得べし要するに過去に於ける戰爭と這次戰爭とは之を同日に論するべからざる諸種事情存在すべしと雖特に物質的文明の進歩が必ずしも精神力に悪影響を與ふるものにあらざるは容認せざるべからず

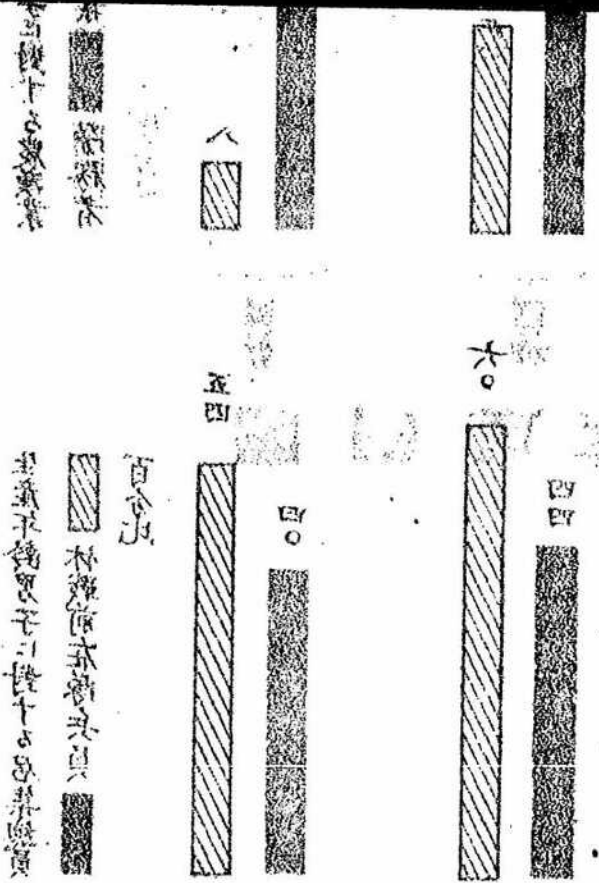
住昔刀槍格闘時代に在りては武士は專業にして身には甲冑を帯び而かも彼我互に接近する迄は何等危害

の身心を脅すものなく個人對個人の格闘なりしと雖火器の發達、徵兵制度を採用せらるるに至りては更に趣を異にし、特に今日工藝技術の進歩は益、攻撃防禦兵器の威力を著しく増大し戰場は益、悲惨化し敵を去る既に數里の遠きより空中地下前後左右上下至る所より危害は身邊を圍繞し、戰爭規模の擴大は眞の國民皆兵主義となり強弱を取捨採擇するの餘裕もなく男子と謂ふ男子は擧げて戰場に立たしめ、彈丸の飛來密度、精度、威力は増大し、毒瓦斯あり「タンク」あり地上に「ベトン」に掩護せられたる火器あれば空中には装甲飛行機あり、而して之を更に火器發達後の過去に比較するも曾ては敵に接近し火器威力を發揚せば防者は容易に動搖し攻者は此の機會に乗じ所謂群衆心理を利用せる密集銃劍突擊一回の成功を以て勝敗の數を決するを得たるに在りては戰場内は何れの場所何れの時とを問はず密集隊形の保持を許さず突擊するにも亦疎開離散せる各人各個の勇氣奮闘に待つを要し加ふるに敵陣地は縦長を有するを以て一陣地線の奪取は未だ勝敗の數を決せず突擊は幾度となく新なる陣地に向ひて反覆せられ茲に硝煙彈雨毒瓦斯幕裡に火器と白兵を混用し彼我入亂れたる紛戦を演出するを要し實に這次戰場に現はれたる現象は過去に於て見るを得たる最も困難なる火器發達以來の戰爭と及刀槍時代の戰爭との合成にして而かも一層困難なるものと稱するを至當とすべく以て物質力の増加は却て精神力に對する要求を高上せるものなること及今日の歐洲人は克く之に應じ彼等の祖先が未だ經驗せざりし困難を制御し得たるものなるを知るを得べし

以上這次戦争の経過より歸納せる物質的文明の進歩と戦争力要素たる精神力の消長とは無關係にして少くも歐洲人に就き謂へば物質的文明の進化は却て精神力に好影響を與へ得たるものなりとの所論は恰も智者と愚者と果して何れが最後に眞の勇者たるを得るかとの間に對し智者なりと答ふると同一なり蓋し一時の暴勇は愚者に求むべく智者に求むべからず眞の勇氣は智者にして始めて求め得べきものなる敢て贊する必要なるべし尙茲に戰場精神力に就き帝國民と歐米人との比較は試みざるも這次戦争に現はれたる幾多の事實は帝國をして獨り其の大和魂に心醉安心するを許さざるもののみならず帝國民の精神力が年と共に退歩しつつあるにあらすやと思考せらる點渺からざることを附言し本説を終らむとす

四 結 言

之を要するに國防は帝國目下の現狀に鑑み工業力特に軍需品或は其の類似品製造技術及製造力の長足なる進歩發達を要求し之と同時に這次戦争に現はれたる歐米人の夫の如く帝國民の精神力が益々強固となるに至らんことを切望し且此の事の可能的にして要は今後の努力施設如何に存するは信じて疑はざる所なり

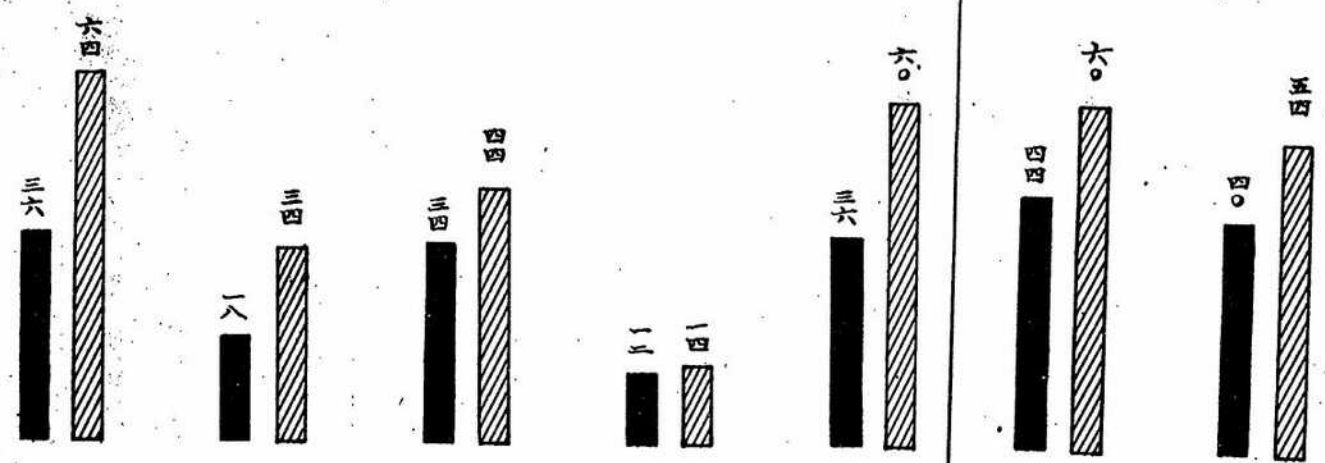
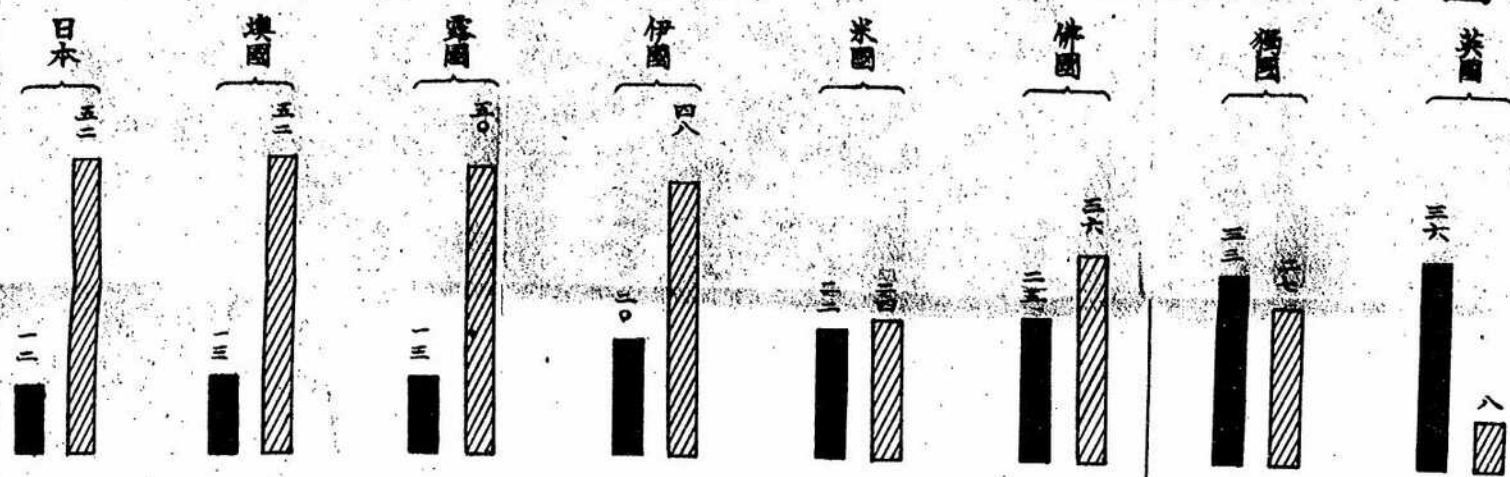


不	不
又(大)	又
其	其
其	其

軍需品 自給率

表較比力爭戰と(年三一九一) 織組業産内國

附表第一

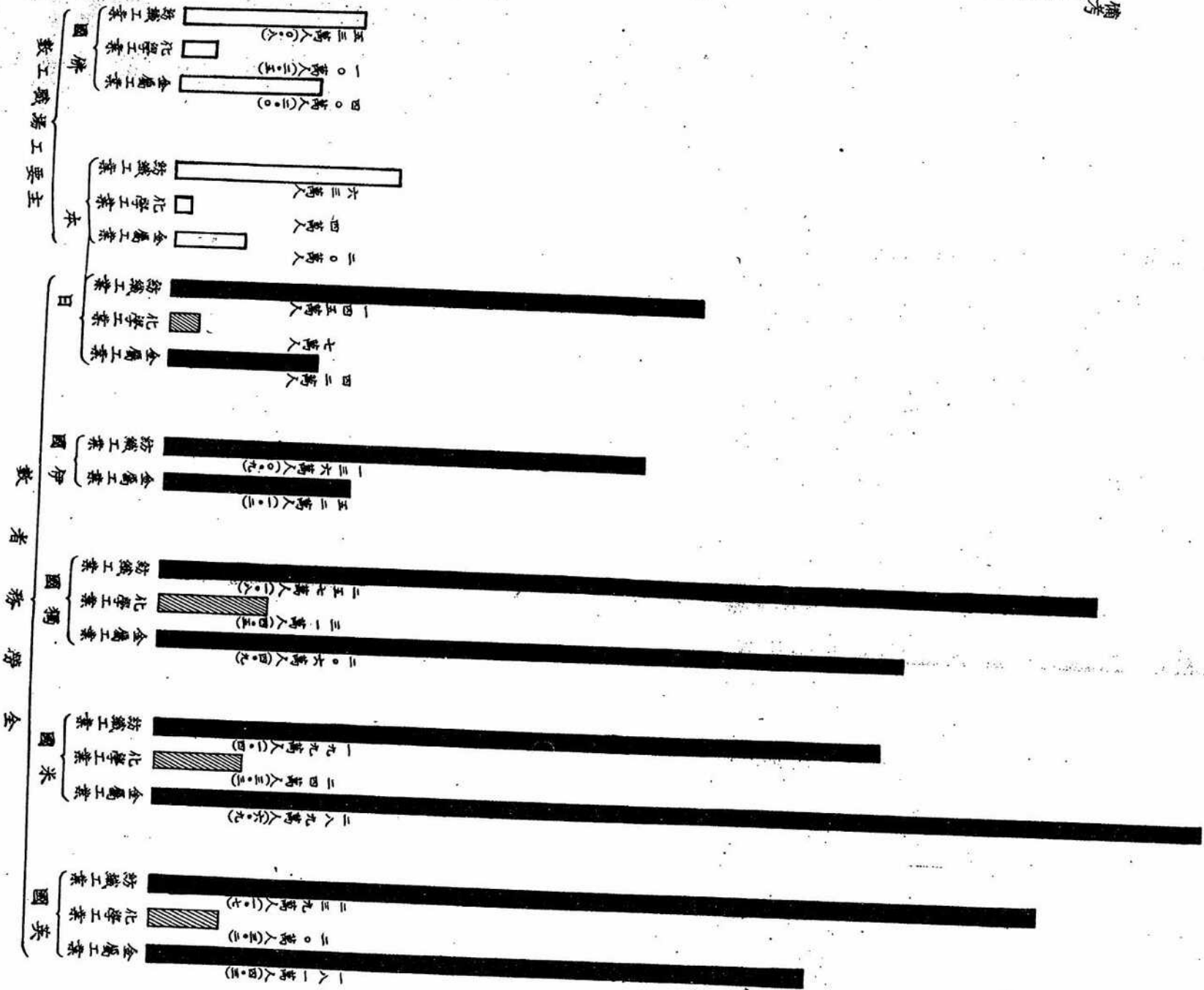


國	食糧	其他
日本	自給	不足
德國	自給	不足(大)
露國	概自給	不足(大)
伊國	過剩	過剩
米國	概自給	不足(少)
佛國	不足	過剩(原料一部不足)
英	不足(大)	過剩
美	食糧	其他

勞務者に依る主要工業力比較表

(第二次世界大戰前)

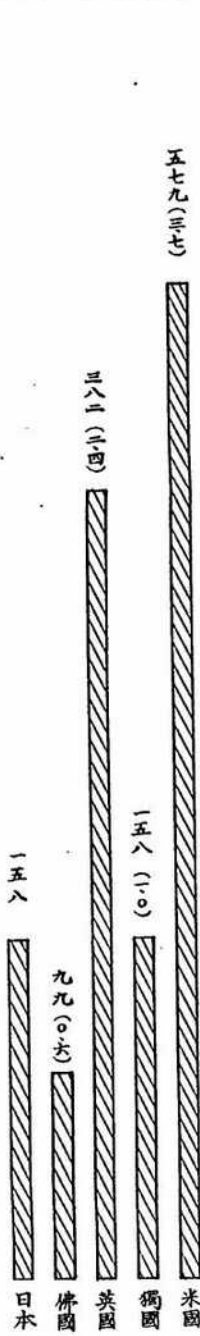
附表二



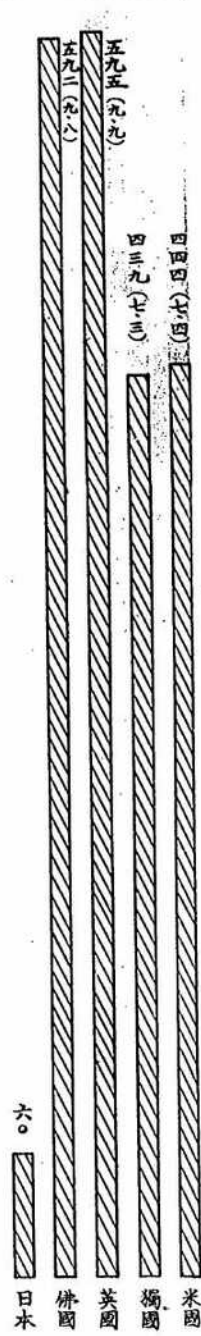
備考
 一、主要工業とは前圖に在りて職工二十五人以上工場又機關に在りては該工業問題に關係する主要工業を指す。
 二、()内數値は日本の對する倍數を示す。
 三、()内數値は日本の對する倍數を示す。

表較比力業五種各(前始開爭戰次運)國戰交要主

額要需花棉業工
(山レバ万位單)



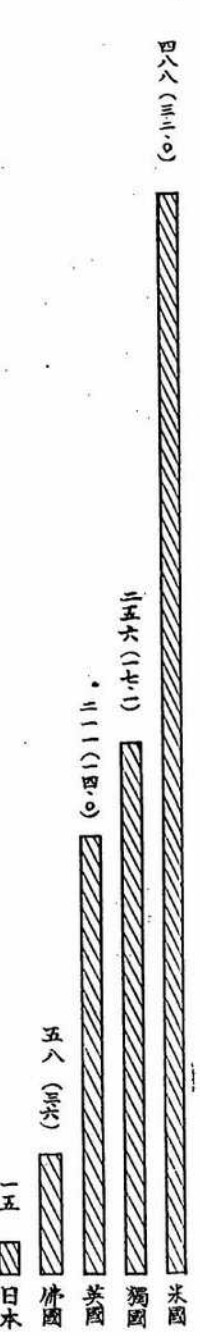
額要需毛羊業工
(度封万百位單)



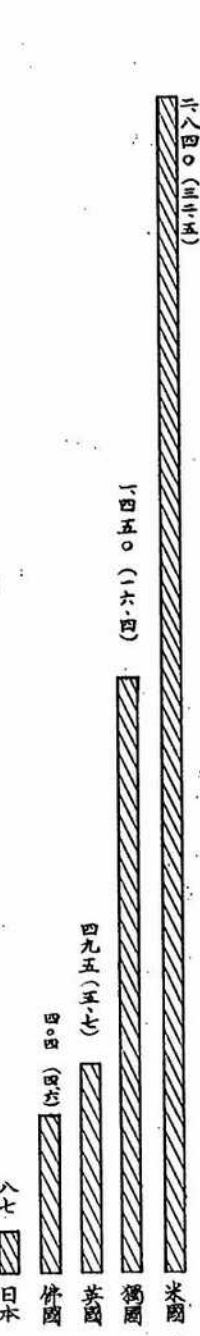
額要需石硝利智業工
(噸万位單)



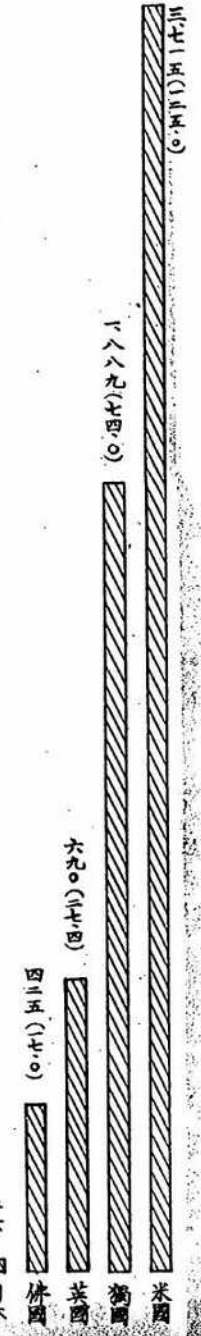
額要需炭石内國
(噸万百位單)



額要需材鋼内國
(噸万位單)



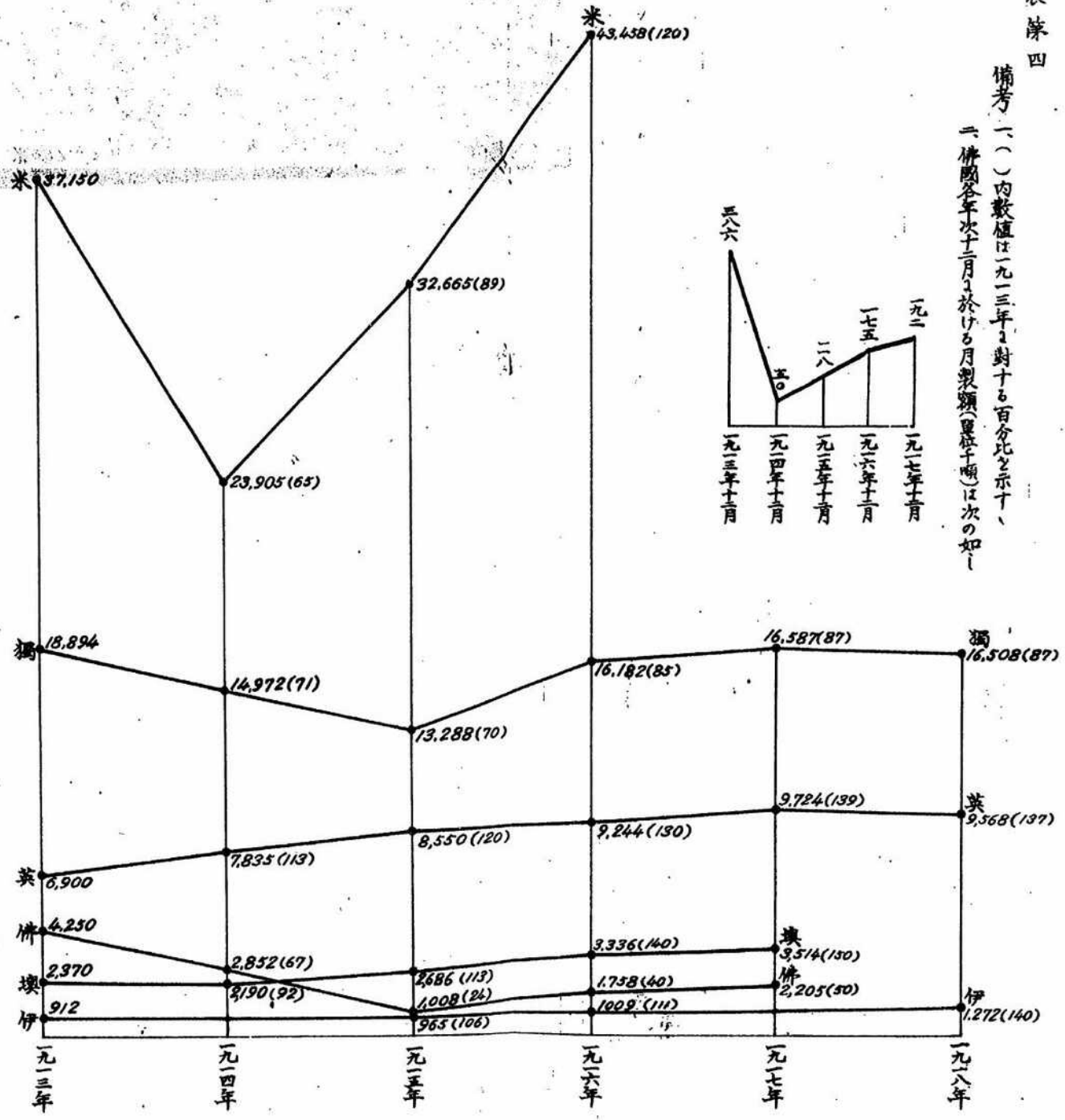
額鋼製
(噸万位單)



附表第三

備考(一)内数は帝國のものに對する倍數を示す

表一 (噸千位單) 額年鋼製時戰國戰交要主

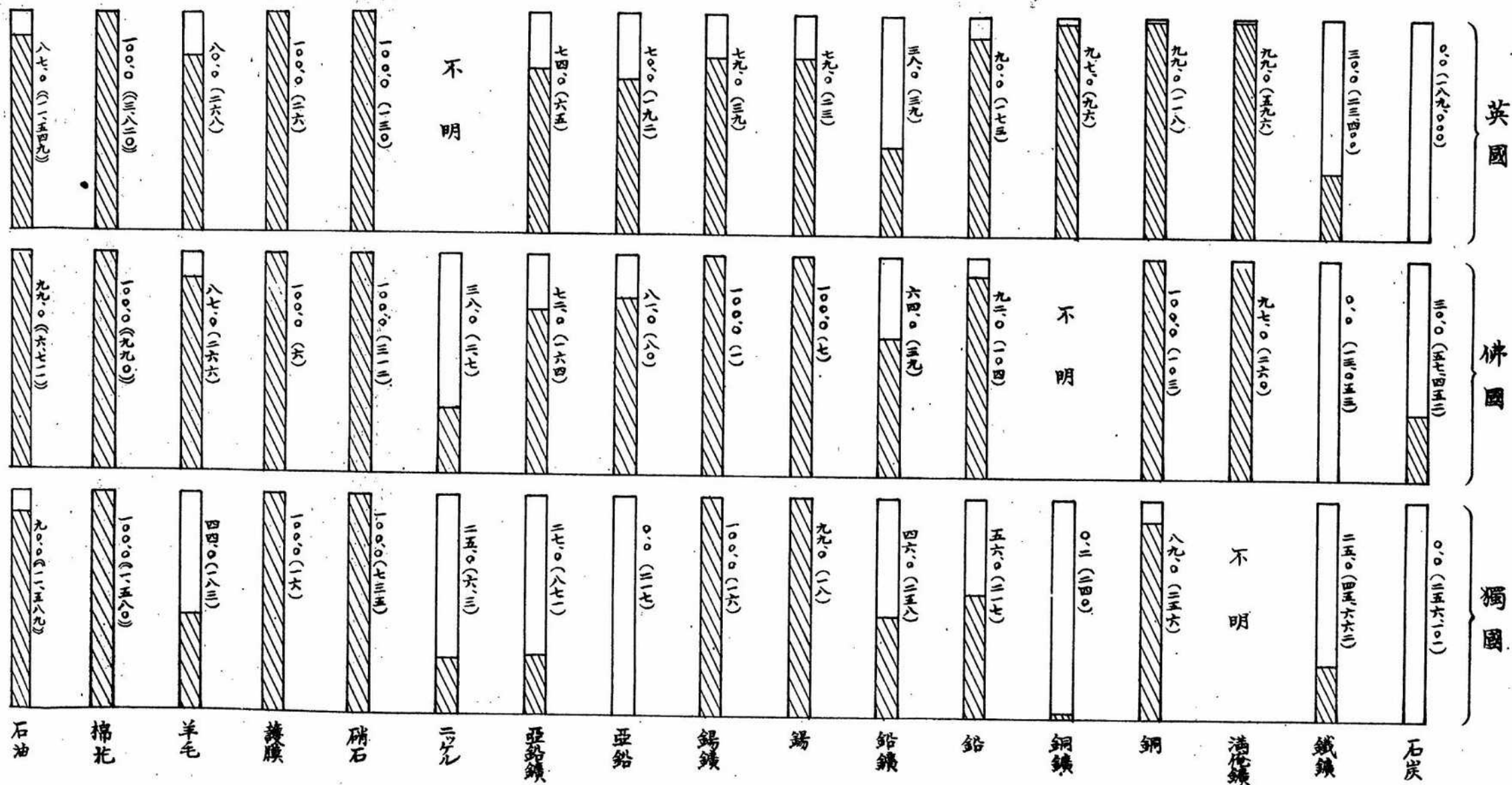


附表第四

備考 (一) 内數値は一九一三年に對する百分比を示す、
二 佛國各年十二月に於ける月製額(單位千噸)は次の如し

一九三一年三月に於ける英佛主要工業原料國內消費額對輸入割合一覽表

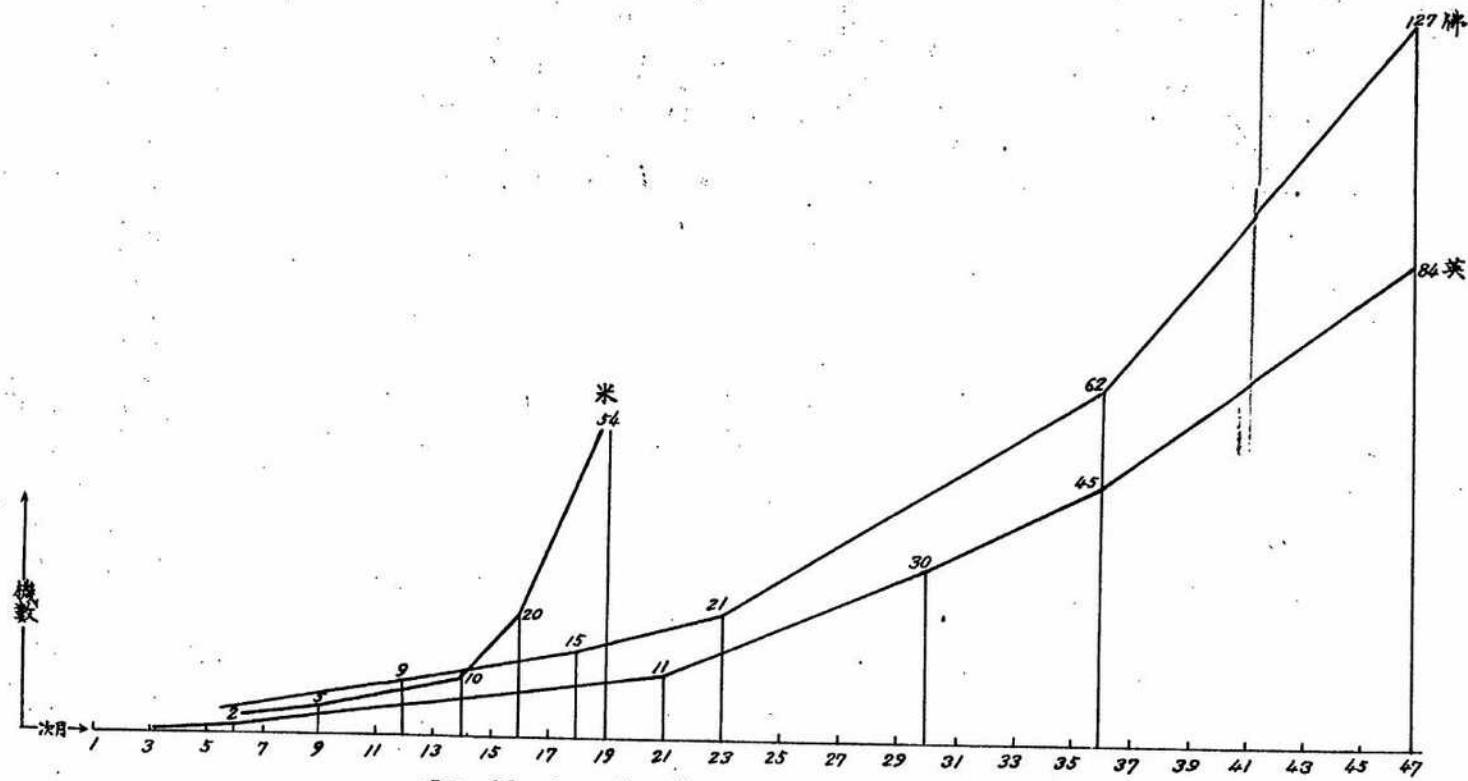
備考
 一 白色部は給色部は黒色と示す
 二 内数字は千位單レールに於ける消費額を示す
 三 内数字は千位單に於ける輸入額を示す



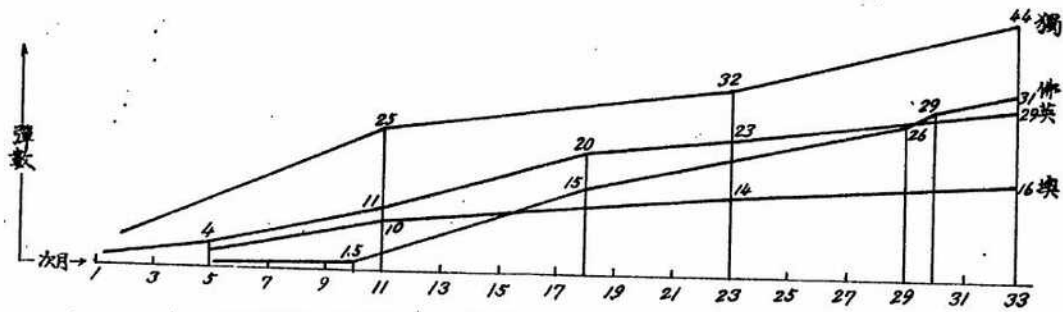
表覽一加増次逐後戦開力造製器兵要主

附表第六

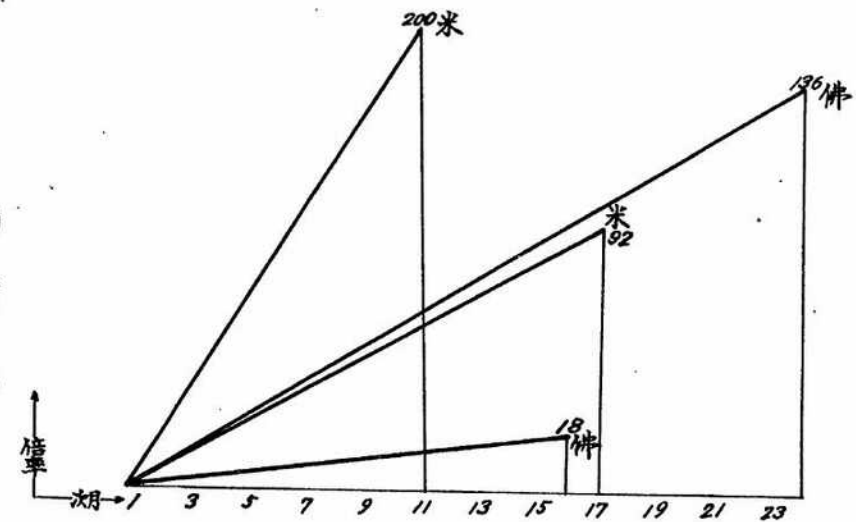
備考 月次は戦争加入當月と第一月として示す



飛行機日製増加状況



(各種砲弾) 各種砲弾日製増加状況

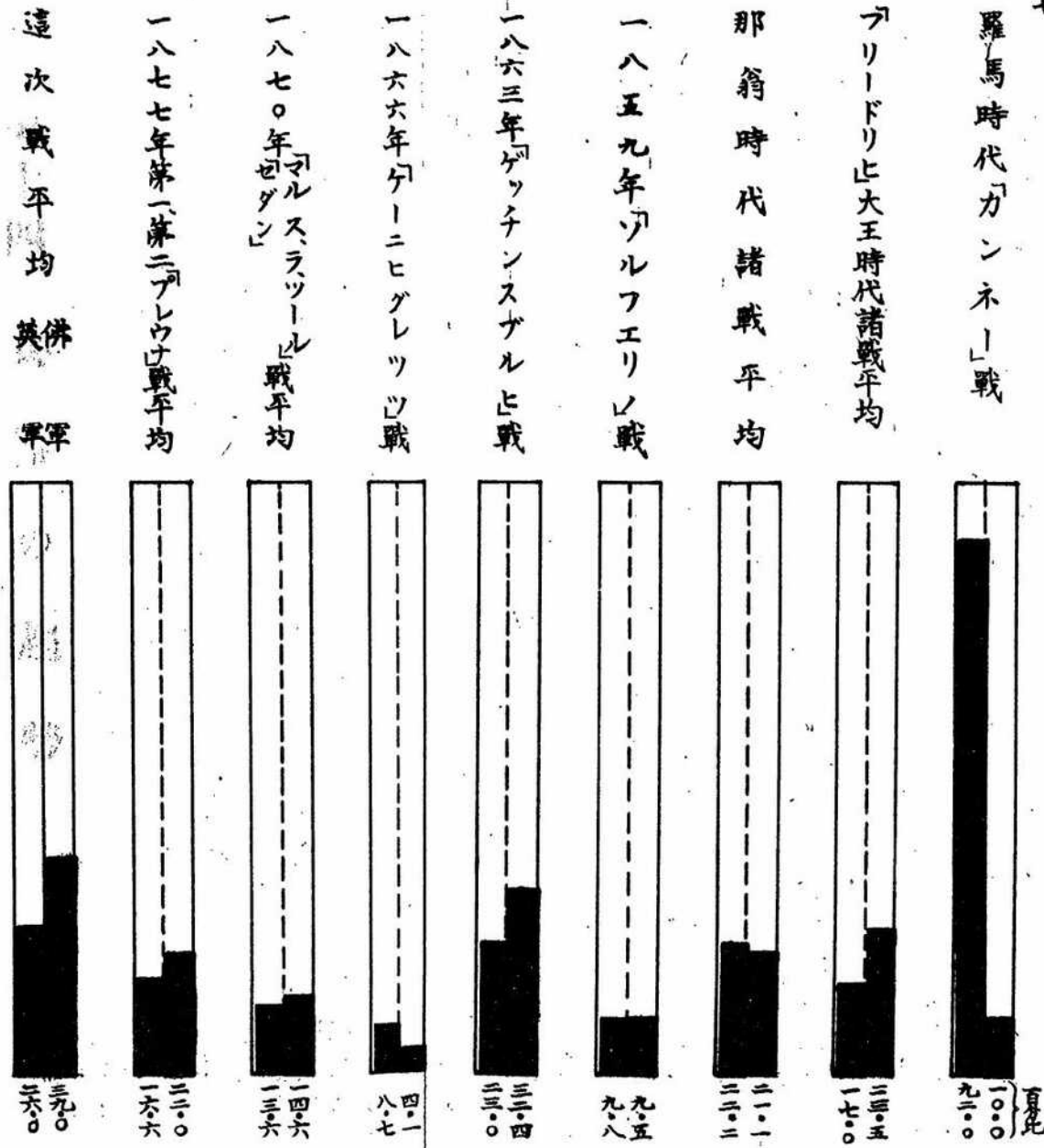


(率比) 小銃機銃製造力増加状況

會戰損害程度比較表

附表第七

備考
 ■は攻者
 ■は敗者
 損害程度を示す



第十四 兵器の趨勢

第十四 兵器の趨勢

第十四 兵器の趨勢

一 總説

大戰開始に方つて兵器の準備數に乏しく困惑を極めたる國軍尠しとせず例へば佛軍の如き野砲數に於て稍十分とせるも其の他の各種火砲の數に乏しく剩へ白佛國境より「ヴェルダン」―「巴里」に向てする退却戰に於ける多數火砲の喪失は困難の度を増加せるものとす爾後戰線の延長と共に戰闘の形態陣地戰となるや一層痛切に火砲數の必要を感じ之か爲卒念の間諸種の方法を盡くし多種多様の迫撃砲を作り又舊式火砲及海軍砲に改造を加へ之を戰場に使用したる等其の應急措置のために苦慮したるの跡察するに足るもの多しとす然れども佛國兵器製造力の豊富なる彈藥製作に忙殺する間尙能く順序を追ひ各種兵器を案出製作し其の製作の火砲は右の應急火砲と漸次之を交換し暫時にして全軍優良兵器を以て裝備せらるるに至れり而して戰爭間戰術上の要求は各國軍共に新兵器の創製に怠ることなく又既成兵器の逐次改造、國軍の増設に伴ふ兵器の新調及損廢せる兵器の補充を爲し又兵器使用の方法に至つては練習常に已むことなく能く不備の點を探究し之を補ふに注意し以て敵に對して優越ならむことに努力せり是を以て戰爭開始以來其の使用兵器を逐次數ふるに於ては徒に繁雜に苦しむのみなるを以て以下兵器の使用上より種類

毎に別ち列強兵器變遷の著明なるものを列記せむとす

五〇

一一 兵器の種類

小銃 戦役の終末に至り一部自動銃に改正するの傾向を來たせり又戦争間狙撃及鋼板侵徹の要求は眼鏡照準具の附著及核心鋼彈の採用を必要とし又「タンク」現出以來口径大なる小銃の現出を見るに至れり
機關銃 一戦を経る毎に機關銃の効果は愈顯著となり漸次其の數増加せられ殊に在來の機關銃より重量を輕減せる輕機關銃は一層其の必要を大ならしめたり而して使用彈丸は右の核心鋼彈の外曳煙彈を必要とし以て飛行機射撃に際し彈著を觀測するに便せり亦照準具に於ても此の射撃の爲に特種の構造をなせるもの少からず而して飛行機上裝備の兵器は主として機關銃にして中には特種裝置を施せるものあり
手榴彈 肉薄して戦闘する場合に手榴彈の使用を愈必要ならしむるに至り之が改造に幾多の變遷を認めたるも要するに使用の輕便と作用の確實なると取扱上の安全とは製作上大なる注意を拂へるものとす
銃榴彈 小銃より發射する小形の榴彈にして手榴彈に比すれば彈著距離を増大し得るの利あり然れども彈著距離の不十分と效力の小なるとは漸次使用數を減じ唯佛軍創始のV.B榴彈のみ稍多く使用せられたり然れども口径小銃より稍大にして略同様の火器あり效力の大なると重量輕少なるは漸次使用範圍を擴大するに至れり

迫撃砲 戦闘の陣地戦と變するに至るや迫撃砲の需用は著しく増加するに至れり即ち迫撃砲は一彈多量の爆藥を以て能く敵の工事を破壊し又人員を殺傷し得るものにして破壊威力の偉大なる火砲數を補ひ得たること著しきものとす而して迫撃砲は使用の輕便上より又效力上より其の口径に大小各種のものを生じ其の使用輕便のものは彈丸輕量にして發射速度一分時二十發附近に及び又效力上より要求するものは一彈の重量百吉瓦附近に達するものなり

對飛行機小口径砲 歩兵の接戦格闘に方り飛行機は低空飛行を敢てし上空より機關銃射撃を行ひ或は爆彈を投下し以て歩兵の攻撃を援助するに至り之を防禦するに口径二吋附近の連發砲の採用を見るに及び

歩兵砲 歩砲兩兵協同の密接は最も緊要にして之が爲砲兵を歩兵に配屬し歩兵の行動と砲兵射撃との連繫を能くし時としては機關銃の破壊を行ひ又「タンク」射撃に任ずるものにして各種口径の火砲存在し或は口径三十七密附近の砲を用ひ又山砲、野砲、輕迫撃砲等之に使用せらる

「タンク」 歩砲兩兵協同の實は多く攻撃の進捗と共に破れ歩兵の攻撃前進中往々不慮の抵抗に遭遇し之が爲に攻撃頓挫し意外の損害を招きたること尠からず然るに英軍が「タンク」の使用を始めてより各國軍競て之を用ひ大に戦闘實行を容易ならしむるに至れり但し「タンク」とは一種の裝甲自動車にして中に小口径砲又は機關銃を裝備するものにして小口径砲裝備のものを雄、機關銃裝備のものを雌と稱し之を區

別せり而して「タンク」に大小各種を有し兩者各、得失を有す然れども後に至り兩者併せて使用せらる
 火砲。野砲、山砲、野戦重砲の外各種口徑火砲の戦場に使用せらるるもの多く威力の大小、運動の難易、射撃裝備の遲速、平射、曲射の別等各砲の間に差等を有し之を區別するに於ては種類少からざるものあり而して自動車殊に履帯附屬自動車の利用は道路外の重砲移動容易となり又鐵道貨車に裝備の火砲は軌道布設の範圍内に於て進入、退却容易となり著しく重砲使用數を増加せり其の彈丸威力の最大なるは四十二瓏榴彈砲とす一彈の重量約一噸にして破壊效力の偉大なる驚くに堪へたり又射程の長大なるは三十八瓏加農の五萬五千米(約十四里)長射程砲(口徑二十二瓏)の百二十千米(約三十里)とす此の種火砲は何れも飛行機の利用に依り能く遠大の射距離に效力を發揚し得るものとす又航空機射撃を目的とする對航空機射撃砲あり射界の大、發射速度の大及使用するの輕便は此の火砲の特性なり而して此の火砲中には自動車上に裝載せるものを有す

特種砲彈。榴彈、榴霰彈を除きたる特種の砲彈を總稱するものにして中に毒瓦斯彈、燒夷彈、發煙彈、光彈、對「タンク」彈等あり彈丸の作用は其の名稱の如く爆發に際し

毒瓦斯彈。は毒瓦斯、毒液を散飛し

燒夷彈。は燒夷劑の燃焼に依り燒夷作用を起し

發煙彈。は發煙劑の燃焼に依り煙幕を成形し以て敵の通視を妨害し

光彈。は夜間多く使用するものにして發光劑の燃焼に依り附近を照明し

對「タンク」彈。は彈頭に特種鋼製の頭螺と遲發裝置信管を附するものにして「タンク」を穿徹するに用ふるものとす

又通信彈なる特種彈丸あり輕迫撃砲に依り發射せらるるものにして電話線切斷し音信不通の場合に通信紙を彈腔内に收め通信せむとする隣接部隊に向て發射し以て通信をなすに用ふ

毒瓦斯、毒液。毒瓦斯の戰場出現の最初に在りては微風に乘じ之を敵軍に送りたり然れども氣象の關係、作用範圍の狭小は此の方法を以て満足するを得ず遂に毒液(毒瓦斯にありては毒液として用ふ)を彈丸の腔内に收めて發射し其の爆發に於て毒毒を四邊に及ぼすものとす爾來各國軍は新毒液の製造に意を用ひ漸次其の種類を増加するに至れり但し毒作用は之を種別すれば直に作用して死に至らしむるもの、作用稍遲さも直接效果あるもの及作用遅くして強烈なるものに分つ

毒瓦斯、毒液の使用と共に覆面附著の保收劑に幾多の講究を要せしめたり

音響に依る測遠器。射撃の爲測遠器の必要常に多く在來使用のものは光學的の器械にして緻密製作のものに屬す而して戦場の砲兵は従前と異なり其の位置を秘匿するを常とするを以て反て音響利用測遠器の必要を生じ精緻なる音響測遠器の發明を見るに及べり

投下爆彈。航空機より投下する爆彈にして此の種類に爆裂用と燒夷用とあり甲は炸藥の爆發に依り術工

物の破壊、人員の殺傷をなすものにして其の重量の大なるは一噸に達するものあり又乙は燒夷作用をなす爆彈なりとす

火焰放射器 揮發油又は石油類を壓搾瓦斯の作用により敵の塹壕中に放射し之に點火し以て人員の燒死を企てる器械とす然れども之が使用は後に至つて大に其の敷を減じたるが如し

發煙器 敵の視目に對し煙幕を成形し其の位置を秘匿するものにして飛行機の偵察に對し功を奏したること少からず

空中照明用探照燈 本戰役間夜間に於ける航空機の活動就中戰線並内地に對する夜間爆撃の類々實施せらるるに及び各參戰國は何れも空中警戒の二重要手段として威力偉大にして特種の機構を有する探照燈を創製し其の多數を使用するに至れり此の種探照燈は時日の経過に伴ひ増大せる航空機の高度に適應せむが爲漸次改善せられ現時にありては照明距離一萬米以上、中徑一米五〇に達する「ビック」(Big)「スプレッド」(Spread)の如き特種の探照燈の採用を見るに至る又其の戰線に近く使用せらるるものありては特に其の移動性を大ならしめむが爲自動車等に搭載せらるるもの多し

地上照明用小型探照燈 本戰役前夜間に於ける地上照明用として多大の費用を見たる大型探照燈は兵器の敷並精度に於て著しき増大と改善を來したる本戰役にありては其の移動性の迅速ならざる爲徒に敵火に對し巨大の目標を呈し其の受くべき損害甚大なるの實踐に鑑み茲に比較的小型なる電燈、「アセチレン」燈若は野砲、迫撃砲、小銃、拳銃を用ゐて發射すべき照明彈を以て之に代用するに至れり

移動發電機 本戰役間坑道、掩蔽部の如き地下構築物は砲彈威力の増大に伴ひ漸次其の深さを増し甚しきに至りては地下二十五米に達するものあり従て此の種構築物の内部に於ける換氣の方法は従前に比し著しく困難を來し戰前列國が共に常用し來りし蠟燭、安全「ランプ」の如き有毒瓦斯の發生夥しき照明具は今や已むを得ざる場合の外之が使用を廢止し電燈を以て之に代へ又之が電力供給の手段として移動性大なる發電車を採用するに至れり

上記の如き電燈照明は管に之を地中照明に應用するのみならず高等司令部等の屋内照明にも之を利用する場合尠しとせず

重架橋材料 歐洲列強に於ては既に戰前より近時の戰爭に於ける重砲増加及各種自動車の採用等の趨勢あるに鑑み或は新たに強力なる架橋材料の制定を試み或は在來材料の改變を企てたるもの尠からず又未だ之が改善を決行せざりし諸國と雖戰役間如上豫想の實現に伴ひ何れも自國軍隊の要求に適する如き應急の策を盡したるが如し尙列國に於ては架橋材料の運搬を迅速ならしむる爲自動車編制を採用したるもの多し

「タンク」用分解式鐵橋 「タンク」は其の重量大なる爲柔軟なる土質、溝渠、小河等些少の障礙も其の通過頗る容易ならざるものあるを以て各國に於ては特に輕易にして迅速に組立得べき特種の栓式分解式鐵

橋を考案使用しあり又壘壕通過の爲「タンク」の自ら携行設置し得べき簡單なる鐵桁を使用するものあり
 動力掘土及穿孔機 本戦役に在りては地下掩蔽部並坑道の如き地下構造物の利用既往に比し著しく其の
 數を加へたる結果之が構築に際し掘土穿孔等の作業は従前の如く速度の遅緩なる手力に依る方法は已む
 を得ざるもの外漸次其の跡を絶ち今や殆んど電氣又は壓縮空氣の如き動力使用を以て常則となすに至
 れり又地上に於ける壘壕等の掘開に於ても其の戦線を隔つる稍遠きものにありては成し得る限り壘壕掘
 開機の如き動力機を使用しあるを見る

測量器械 陣地戦に於ては作戦上は素より又砲兵射撃の爲精密なる地圖の必要著しく増加し之が爲測量
 器械の改善せられ或は之に潜望鏡を附著する等實戦の經驗に鑑み改變を加へられたるもの頗る多し又地
 圖製版、印刷の器械に於ても大に面目を改め殊に佛軍等に於ては此等諸器材を列車、自動車等に裝置し
 戦線の近傍に在て製版、印刷に服務せしむるものあり

近時獨逸等に於ては空中より撮影する寫眞に依り未知の地域を測量せむが爲特種の器械を考案し之が研
 究稍其の緒に就きあるもの如し

自動車 戦役間多數自動車の軍用に供せられたるは著明の事實にして人員輸送、重砲牽引より對航空機
 射撃砲、探照燈、印刷機の搭載又は飛行機、患者、衛生材料、糧食の運搬等其の使用範圍は極めて廣大
 なりとす即ち自動車の需要此の如く多きを以て自動車各部品に發達を促すこと急速にして運搬力は愈

増加し操縦は益、便利となるに至れり而して戦後民間の需要益、多きを以て自動車の發達は駭々たる進歩
 を呈しつつあり

輕便鐵道 輕便鐵道が戦地に於ける輸送機關として緊要缺くべからざるものたるは既往諸戦役の實驗に
 徴して茲に喋々を要せざる處なり然れども本戦役に於ては特に戰闘性質の陣地戦たりし關係上其の利用
 の範圍も著しく擴大せられ殆んど最前線に至る迄之が使用を見たり而して其の使用器材に至つては軌間
 に於て一米(約三呎三吋)、〇米八〇(約二呎七吋半)、〇米六〇(約二呎)及〇米四〇(約一呎四吋)を用ひ又
 動力に於て蒸氣機關車、發動機電氣機關車、發動機機關車、馬、牛、犬及駱駝を用うる等其の種類極め
 て多しと雖發動機機關車の如き特種のもを除去しては其の大部分を平時民間に於ける使用材料に待ちた
 る點に於ては各國共に其の軌を一にせる所なり

偽裝材料 本戦役に於ける諸般の偵察業務就空中偵察の異常なる發達は戰場に於ける軍隊工事は勿論
 遠く内地に於ける築設物に至る迄苟くも敵に偵察の端緒を與へ若は敵の砲撃又は爆撃目標たらしむとする
 の虞あるものは如何なる細微のものに至る迄悉く其の位置を敵に秘匿するの必要を生じ茲に既往に比し
 所謂「カモフラージュ」作業の實施を一層緊要とするに至れり

本作業は一般世人の了解せるが如く單に色彩の問題のみに止まることなく寧ろ陰影の關係即ち彫刻の間
 題に屬すること多きものにして其の影響する範圍は極めて廣汎且微細に互り之が研究は特に深甚を要す

るものなりと認めらる

五八

三 結 言

戦役間各國軍が智腦を絞り兵器の考案、改良に志し常に敵に先んじ一日の長を得むとしたること尋常に
あらず例へば火炮は勿論彈丸、信管類に改良を加へ敵に優るの射距離を得ると共に一彈の效力の大なら
むことに注意し又毒瓦斯、毒液に於ては敵の防毒覆面をも研究し其の缺點に乗じ毒作用を及ぼす如く新
毒瓦斯、毒液を發明し又測量器械に在ては敵前能く敵の視目を避けて精密測量し得る如く改造し尙空中
寫眞を遺漏なく圖示するに力を用ゐたる等實地の使用と學術の利用とは良好に發展調和を遂げて變遷し
たるが如し然れども遂に戰場に現出するに至らざるものあり又成功途中にありたるものあり近時米國に
於ては最強烈なりと唱ふる新毒瓦斯の發見ありと傳へ又獨軍に於ては地上より飛行機を操縦することに
より火炮に代へ彈丸を敵に送らむと工風中にあるものあり其の大戦の前後に互り兵器を考案するに於て
は人智發展の無限と努力に酬ゆる新産物に對し一驚すると共に吾人の研學を要求するや大なりとす竊て
我が國軍兵器の状態を窺ふに戦役開始以來特に力を盡くして新兵器の設計及既成兵器の改造に従ふと雖
經費の少額は之が進歩を阻碍する最多し例へば小銃口徑の如き夙に擴大するの必要を認めと雖經費の少
額其の他の關係に由り迅速に其の改造に著手するに至らざるを遺憾とす此の外以上列記の兵器の如き僅

に其の一端を研究し且一部の新兵器を製作したるも完成の時期に遠く列強と比肩し目下兵器は劣勢の狀
態にありとす殊に主要兵器數に就て列強と比較するに機關銃及火炮數の甚だ少きを感せしむるものあり
而して一方國內官營又は民營の工業力程度を顧みれば總説に述べたる佛軍の如く急速多數兵器を製作す
ることは夢想だも及ばず帝國軍兵器整備の前途亦遼遠なりと謂ふべし

第十五 航空界の趨勢

第十五 航空界の趨勢

第十五 航空界の趨勢 (卷頭列強の航空に関する統計参照)

一 緒言

參戰諸國に於ける航空界の趨勢に關しては曩に配布したる「世界に於ける飛行界の昨今」並「最近に於ける軍事航空界の一斑」に於て詳述したる所なりと雖航空界に於ける進歩は今や駭々乎として一刻の安定を見ざるものあり従て些少の重複は敢て之を顧慮することなく現下に於ける若干の主要問題に關し以下其の情勢の一斑を紹介せむとす

一 戦後列強の航空界に於ける努力の轉移

航空機が戰場に於ける作戰と内地に於ける防禦等とを間はす國防上重要な兵器たるは本戦役の實蹟に徴し茲に贅言を要せざる所なり従て各參戰國は這般の戦役間全幅の智力と工業力とを傾注し巨額の經費を投擲し幾多の艱難を排除し漸くにして開拓培養し得たる航空事業を一朝復員と共に廢棄せしむるは情に於て忍びざる所なるべく否寧ろ益之を進歩發達せしめ以て將來に於ける戦争の用に供せむとするは自然の情勢なり而して之が爲平時多大の航空隊を存置せむことは國家の經濟上到底不可能たるべきを以

て途を民間航空の發展に待たむとするは當然の趨向と謂はざるべからず又一面に於て戦後に於ける産業就中商業の復活に伴ひ既往に比して一段に敏速なる交通機關の要求を生せむとするは是れ等しく自然の趨勢なり是に於てか列強は今や如上國防と經濟との兩見地より其の戦時に於ける航空界の努力を平時の民間航空に轉移せむとする所謂航空界の改造に對し官民相擧つて絶大の熱誠を傾倒するに至れるも亦宜なりと謂ひつべし

今列強に於ける民間飛行の實施並獎勵に關し其の概況の一端を左に述べむ

英國 既に倫敦―巴里間並「フオクストン」―「コロソ」―「ブラッセル」經由に於ける日々の定期飛行を實施しあるの外英本國と南亞非利加並英本國―埃及―印度―濠洲間の連絡飛行を企畫中なり

尙同國は近く竣工すべき大航空船八隻を以て英國及米國並歐洲、亞非利加間の郵便並旅客旅行を實施せむとするもの如し

英内地の民間飛行に至つては恰も雨後の筍の如く殆んど茲に之を枚擧するに遑あらず
米國 紐育―華盛頓間及紐育―市俄古間に於て日々の定期飛行を實施し尙近く米大陸及太平洋橫斷飛行實施の企圖を有す

佛國 休戦後引續き其の陸軍に於て近東諸國に於ける首府間の連絡飛行を實施せるの外内地にありては既に巴里及「サンナーゼ」間、巴里―「ボルドー」間、「ニース」―「コルシカ」島間の定期飛行を開始し又近く佛國及亞非利加間の飛行を計畫しあり右の外政府は民間飛行に對し一般に左の要旨の經

濟的補助を與へつあり其の方法は特に斬新にして未だ他國に其の例を見ず依つて稍細件に屬する嫌あるも掲げて以て參考に資せむとす

民間航空補助法の要旨

一 飛行は其の定期と不定期たるを問はず適法にして一般公衆の爲に開放せられたるものたるを要す

二 補助は左の四項に分ち之を行ふ

機體の損失に對するもの

裝備品に對するもの

運輸に對するもの

軍事的價值に對するもの

三 機體損失に對する補助

(イ) 飛行距離二百吉米を越ゆる定期飛行にありては毎時間左式に依る金額の半部を給す

$$\frac{P+1.5P}{400}$$

備考

Pは飛行機體の價格

P は發動機の價格

PP は政府に於て其の價格を定む

(ロ) 五十吉米以上を隔つる二點間の往復又は周圍百吉米以上の無著陸飛行に依る不定期飛行若
は飛行距離二百吉米以下の定期飛行に對しては毎時間上記の式に依る金額の四分の一を給す
四 裝備品に對する補助

本項に關しては未だ明瞭に之を知るを得ずと雖要するに飛行距離の全長及最大飛行距離の兩者に
對し其の裝備品(揮發油及滑油等)費の一〇%を補助し尙裝備發動機に應じ飛行距離の全長に對し
其の裝備品費の五%又最大距離の飛行に對し二・五%の補助を與ふるが如し

五 輸送に對する補助

輸送量に對する補助は左式に依る

$$0.00K \times V \times v \times T$$

備考

K は函數(國際航空に在りては 14、内地航空に在りては 12、亞非利加及内地間の航空に在
りては 16 等航空地域並距離に應じ各種の差異を設く)

V は航空機の速力(吉米)

v は V-50 (吉米)

T は有效搭載量(噸)

六 軍事的價值に對する補助

軍事的價值を有するものに在りて $0.000625(P+1.5P)$ の追加補助を與ふ

獨國 伯林を中心とし漢堡、「ハンノバー」、「ブレスロツ」等十數市を連ぬる巡回飛行を實施しあるが
如し

右に述べたる外各國に於ては良好なる航空機の製作及各種の飛行に對し多大の懸賞金を附與しあり

三 急速なる飛行機の進歩

本戰役間參戰諸國の航空機が直接戰爭の要求に基き偉大の發達を來したるは既に「世界に於ける飛行界
の昨今」に於て詳述したる處なり而して戰後に於ても此等の諸國は前述の如く依然として其の努力を弛
緩することなく或は調査研究の機關を擴大し或は幾多の競技を行ひ以て器材の改善、航空員の督勵等斯
界進歩の手段を盡しつつあり之が爲航空機就中飛行機の能力は短日月の間に於て既に多大の進歩發達を
促し之を休戰時のものに比するに此の間多大の逕庭あるを見る今左に開戰時、休戰時並現時に於ける飛
行機主要諸元の若干を抽出し以て進歩の跡を窺はむ

飛行機の大きさ、重量及能力に關する記録概要

諸 元	時 期		
	開 戦	時 休 戦	時 現
全 幅	十三米	五十米	
全 長	八米五〇	三十二米	
全 重 量	一噸半	十四噸六	十六噸五
速 力 (一時間)	三十里 (百二十吉米)	六十里 (二百四十吉米)	六十七里 (二百六十八吉米)
航 續 時 間	四時間	七時間	八時間(十四時間の飛行に堪へ得べき設計を有する飛行機あり)
航 續 距 離	二百三十三里半 (九百三十三吉米六)	二十四町(三千里) の高さに八分	七百二十里 (二千八百八十吉米)
上 昇 速 度	十八町(二千米)の 高さに二十五分	二里十三町 (九千四百五十米)	二里二十二町 (一萬四十三米)
最 大 上 昇 高 度	一里 (四千米)		
裝 備 發 動 全 馬 力 數	百五十馬力	千二百馬力	二千四百馬力
有 效 搭 載 量	〇三噸	約二噸	約三噸

備 考
 一 右記のものは一飛行機の主要諸元にはあらずして各種飛行機の最大特徴を抽出したるものなり
 二 開戦及休戦時に於けるものは主として軍用のものを示しあり

四 國際航空條約の締結

上記の如く世界各國に於ける民間航空の發展に伴ひ自然の結果として之を國外に及ぼすの趨勢を呈し茲に國際間の關係を律するの要を認め本年十月十三日巴里に於て歐洲諸國間に國際航空條約の締結を見るに至れり其の原則とする所を略述すれば概ね次の如し

一 空中主權

各國は其の領土及領水上にある空域に對し完全且排他的の主權を有し之に對し自國の法憲を適用するの權利を有す

二 外國航空機の自國空域通過

締盟國は他の締約國の航空機に對し平時に於て條約の規定を遵守する限り其の領空内の無碍通過を許し且自國航空機との間に差別的待遇を設けることなし

三 航空機の國籍

外國の領空を飛行せむとする航空機は締約國の一の國籍を有することを要す

四 保安に關する法規

通商の目的を以て國際航空のなす一切の航空機は總て所屬國の發行する堪航證明書を有し又十名以上を搭載する航空機は無線電信機を有するを要す

航空機の操縦者其の他の乗員は各所屬國の發行する免狀又は技倆證明書の所有を要す

航空機及乗員は海上に於ける船舶の諸規定に準じ制定せられたる空中衝突豫防規則、信號規定等を遵守するの義務を有す

五 本條約は戰時に於て締約國の交戰者又は中立國としての行動の自由を拘束することなし

五 列強に於ける民間航空行政機關の新設

列強は上記の如く民間航空の發達に伴ひ之に關する諸般の行政を司らしめ且直接軍事に關係せざる技術の研究等を統一し併せて航空に關する國際事項の實務を處理せしむるため近時各一機關を新設し之を各其の國情に應じ空中大臣、陸軍大臣又は運輸大臣に隸屬せしむるに至れり

歐米諸國に於ける此の種機關の隸屬關係並任務の概要附表第一の如し

六 軍事航空勤務者の待遇

航空勤務者が他の一般軍事勤務者に比し危険の公算、勤務の疲勞共に多大なるが爲之に對し相當の應酬を與ふると共に尙本新業務の發展を期せむが爲有爲の材を吸收せむとするの願慮を以て勳章の授與、俸給並恩給の増加、進級の特典等特種の優遇を與ふるは歐米各國共に其の軌を一にせる所なり而して其の待遇法の細部に至つては附表第二に示すが如く各其の國情に應じ多少の差異を有すと雖之を通覽するに概して左の如き方法を採用しあり

勳章 平時に於ても特種の飛行者は其の他の方法に依り航空界に貢獻する所大なる者に對しては叙勳の途を開きあり

徽章 航空者を表彰する爲特別の徽章を與ふ

航空加俸又は航空勤務手當

常に飛行を實施すべき職務にある者に對しては概ね中、少尉の俸給に等しき加俸又は手當を給す

進級 進級上に於ける停年加算又は拔擢の特典を與へ其の進級状態を他兵科の者に比し迅速ならしむ恩給 戰時に等しき恩給年數の加算を行ふか又は恩給額を増加し尙負傷者に對して戰傷者と同様の取扱をなす

遺族扶助料及一時賜金

飛行に依る遭難者の遺族に對しては戰死者と同様の取扱をなす

又官營保險制度を有するものあり

歐米諸國に於ける航空者の待遇法概ね上述の如しと雖凡そ此の種の待遇法は一國に於ける航空業務就中其の制度、航空機の發達程度等諸般の状態に關係する所頗る多く我が國の如く航空機の發達幼稚にして而も良好なる飛行場少く氣流の状態不良なる國に在りては其の獎勵法に於ても更に一段の向上を要すべく又歐米諸國の如く新飛行機の試験等危険飛行の實施を民間會社に於て行はしむるものに在りては政府に於て何等の特典を設くるの要を認めずと雖帝國の如く政府自ら之を製造し且將校等をして之が試乗をなさしむる場合にありては之に對し又特種の應報手段を講せざるべからざる等歐米の範例を採つて以て直に帝國に移すべからざるは明かなりと雖苟くも將來航空業務の發展を計らむことを熱望するに於ては軍事航空勤務者の待遇も亦大に顧慮せざるべからざるは明瞭なる事實たり

帝國に於ても右の見地を以て夙に飛行手當、一時賜金、保護賜金等給與の制度を設けありと雖未だ以て十分なりと謂ひ難く更に向上改善を要する點尠しとせず

七 結 言

以上の情勢を通覽し熟之を案するに歐米に於ける民間航空事業の活躍は實に驚くべきものにして今後數年ならずして歐洲列強上の空域は網狀の空中航空路を以て覆はるべきは殆んど之を豫測するに難から

ず就中英國は其の絶大なる海上勢力と等しく他國に先んじて世界に於ける空中權を獲得せむと試み曩に大西洋の横斷を敢てし國王は此の飛行者に對し爵を授け今又英濠間の飛行を了し多大の懸賞を與ふる等國民の後援、政府の指導共に熱烈を極む彼の活躍は獨り自國領域並歐洲に止まらず其の一會社の如きは近く支那に對して航空機供給の契約を締結せりと噂せらる東洋に於ける民間航空活躍の萌芽既に顯はるの今日豈帝國國民たるもの之を坐視して可ならむや今にして覺醒大に努力を加ふるにあらざれば少くも東洋に於ける空中霸權は之を外國の手に委するの已むを得ざるに至るべく是れ獨り平時に於ける商業上の偉大なる損失たるのみならず又國防上に於ても由々しき大事と謂はざるべからず夫れ民間用航空機は戰時之を軍用に改變するの易々たるは萬人等しく之を認むる所にして平時に於ける民間航空就中其の工業の隆盛は即ち是れ戰時に於ける航空界の動員を容易にするものにして軍事當局が民間航空の發達を切に希ふの所以又實に茲に存するなり

歐米各國に於ける軍事航空勤務者の待遇概要

備考	扶助料、一時賜金	恩給	進級	飛行手當	加俸又は勤務手當	徽章	勳章	區分	國別
						有	有	有	有
<p>英國の新規定は其の制定後陸軍給與令の改正ありたるため空中軍將校等の待遇は陸軍將校のものに比し著しく良好ならざるの感あり然れども本規定は早晚改正せらるべきものと認めらる</p>	<p>飛行に依る死者の遺族には戦死と同様の扶助料を給す</p>	<p>(舊規定) 負傷に際しては戦傷と同様の増加恩給並退職賜金を給す (新規定) 空中軍將校の恩給は左記のものを除く外陸軍將校のものと同じ 尉官 一年額約千圓増加 大佐 一年額約千圓増加</p>	<p>臨時進級の制あり</p>	<p>空中軍將校の新俸給は陸軍將校のものに比し左記の如く若干増加あり 少尉 約一圓 中尉 約三圓 大尉 約一圓五十錢 少佐 陸軍のものと同様 中佐 約一圓二十五錢</p>	<p>(舊規定) 一 飛行將校は其の階級に應じ歩兵將校に比し 80% 乃至 100% 高き俸給を給す 二 技術部將校にも概ね飛行將校に等しき俸給を給す 三 行政部將校も亦歩兵將校に比し若干高き俸給を給す 四 飛行將校たる大尉以下に對しては飛行實施の如何に關せず少尉俸給の 80% に應ずる手當を給す (新規定) 空中軍將校の新俸給は陸軍將校のものに比し左記の如く若干増加あり</p>	有	附與することあり	英國	英國
						有	「レジンドルール」(旭日章に相當す)を附與することあり	佛國	佛國
						有	附與することなし (最近に至るまで一般のものに對しても給與の制度なし)	米國	米國
						有	優秀者に附與することあり	獨國 (戰前)	獨國 (戰前)

第十六 航空機に對する空中防禦

第十六 航空機に對する空中防禦

第十六 航空機に對する空中防禦

航空機により爆彈を投下することは既に開戦以前より研究實施せられたる所なりしも開戦當時は頗る幼稚にして其の效果頗る微弱なりき然るに千九百十五年初め獨軍の突如として「ツェッペリン」航空船により英京を襲ひ次で佛國爆撃飛行團の獨軍を威嚇するや交戦各國は航空防禦の必要を痛切に感じ競て都市及軍事上の要地に航空機射撃砲を配置すると共に飛行隊を常備して爆撃飛行隊を追撃するに至れり之が爲當初敵の實施せし晝間爆撃攻撃は頗る困難となり遂に千九百十六年中頃以降にありては主として夜間に於て之を實施するの已むを得ざるに至れり此の結果爆撃目標は主として夜間に於ても尙能く識別し得べき市街、工場、停車場、大倉庫、航空機根據地、宿營地等に變換せられ軍事行動よりも寧ろ敵國民の威嚇に重きを置くの傾向を示すに至れり今獨軍の英國及佛都巴里に對して行へる爆撃攻撃に依る損害を摘記すれば左の如し

千九百十四年末より千九百十八年末に至る英蘭及蘇格蘭の受けたる損害

航空船五十一回、飛行機五十七回の襲撃を受け死傷五千六百十一人
略右と同期間に於ける巴里の損害

七百四十六回爆撃を投下せられ死傷八百六十九人

以上示す所に於ては直に英、佛何れの損害が果して大なりしやを判知することを得ざるも獨、佛國境を接するに拘らず佛國の損害が英國に比し遙に小なることは事實の上に於て明かなり是れ佛國は比較的早くより航空防禦に著意し克く空中防禦隊を活動せしめたるのみならず獨軍の佛國內に侵入するに方り濃密なる戦線の防禦幕を通過せざるべからざりしもの其の主因をなせるが如し

佛軍の空中防禦法は開戦當時より終局に至るの間驚くべき進歩をなし巴里の空中防禦法の如きは千九百十六年初期以前に在りては單に獨「ツェッペリン」航空船に對し單簡なる防禦設備を行ふに過ぎざりしが爾後長足の進歩をなし千九百十八年三月乃至十一月の間に於て敵が約五百機の飛行機を使用して約三十回の爆彈攻撃を實施したるに對し巴里市上に飛來し得たるものは僅に三、四十機に過ぎずして此の中十數機は航空機射撃砲の爲に墜落せられあり以て佛國の航空防禦に關する努力が如何に偉大なる効果を呈せしやを知ることを得べし

要するに戦争末期に於ける空中防禦法は大體次の如きものと看做すことを得べし

一 積極的防禦に屬するもの

敵航空機に對する飛行隊の攻撃

二 消極的防禦に屬するもの

航空機射撃砲による敵航空機の射撃

遮蔽及迷彩による重要物の秘匿

特に建設せる對爆彈掩蔽部

以上の外向敵の接近を監視すべき監視哨、敵の行動を偵知すべき觀測團、敵を搜索照明すべき探照燈及警報其の他の通信設備を要するのみならず巴里に於ては敵航空機の交通を閉塞すべき空中障礙緊留氣球に依り懸吊せらるる網を以て設備せりと謂ふ

今前記各防禦機關の概要に就き説明すれば左の如し

飛行機 敵航空機の攻撃に任ずる飛行機は前述觀測團の通報により直に上昇し其の機關銃及爆彈並燒夷彈等を以て敵機の墜落に努むるものなり

航空機射撃砲 航空機射撃砲としては各種口径の加農を用ゐる或は之を固定配置し或は之を移動して空中の防禦に任せしむ固定的に配置すべき火砲は通常七珊乃至十珊にして移動的に使用すべき火砲は緊留及自動車積載のものに在ては通常七珊又鐵道列車積載のものに在ては十珊内外なり而して此等火砲を配備するには戦線なると都市なるとに論なく通常之を數線に配置し數線に於て敵の行動を遮斷すると共に敵をして高度大なる部分の外飛行するを得ざらしむる如くす

重要物の秘匿 敵の航空機に對し廣大なる地域を全く秘匿することは到底不可能なるを以て之が秘匿は特別重要なる部分のみに止むべきは已むを得ざることとす而して之が秘匿の方法たる千差萬別な

るも都市に在りては夜間點燈を制限し或は公園其の他の空地に點燈して他の部分との區別を曖昧ならしめ或は發煙劑の點火により生ずる濃煙を以て某部を秘匿する等の處置を施し其の他要塞及戰線等に在りては前述發煙裝置を用うるの外構築物に各種の色彩を塗抹し或は假裝を施せる鐵網を張り或は擬工事、擬兵器を用うる等の處置を採用しあり

對爆彈掩蔽部 對爆彈掩蔽部としては要塞及戰線等に在りては各種の掩蔽部を利用するも都市に在りては地下室及地下鐵道の隧道等を應用す

監視哨 監視哨は敵航空機の進路と豫定せらるる稍遠隔の地に派遣せられ天空を監視すべき任務を有するものなり

觀測團 觀測團は航空機の發動機より發する音響を聴取し敵航空機の方向及高角を測知すべき聴音機を携行し敵航空機の現在位置、行進方向及高度等を觀測すべき任務を有するものにして掩護地點の四周に配置せらる

探照燈 探照燈は夜間に於ける主要偵察機關にして聴音機と併用せられ通常中徑〇米九〇乃至二米〇〇の反射鏡を用う時として中徑稍小なるものを用うるも中徑〇米六〇以下のものは光力小なるを以て效力少なし而して此等探照燈は或は固定的に配置せられ或は緊駕裝置或は自動車裝置或は列車裝置により使用せらる

探照燈は一地を有効に防禦するには成し得れば二線に配置せられ第一線のものは敵機の侵入を察しに供し第二線のものは對航空機防禦砲兵の配備を骨幹として配置せらる

以上の諸機關は一の空中防禦司令官に依り統一せられ如何なる情況に於ても一糸亂れず頗る迅速機敏に動作して敵の來襲に應ずる如く使用せらるるものとす

之を要するに空中防禦就中都市、要塞等要地の空中防禦は將來航空機の發達に伴ひ益々其の必要大なるに至るべし殊に我が國の都市は其の建築物の大部木造なるの關係上數箇の爆彈は容易に之を灰燼に附せしめ國民の志氣を喪失せしむるのみならず資源を烏有に歸せしめらるること明かなり

人或は言はむ我が國の如き四周環海の邦國に在りては容易に敵航空機の來襲を受くることなしと是れ誤謬の甚しきものにして全然同意する能はざるものなり蓋し航空機の能力は日進月歩し其の航續力及爆彈搭載力益々増加し將に上海、浦潮等の對岸陸地より邦土の脅威を受くるに至らむとしつつあるのみならず軍艦は自ら飛行機を搭載飛揚すると共に艦隊は飛行機母艦を隨伴するに至りつつあるを以て根據地を領有する敵海軍は容易に海正面より國土に襲來し得べきこと明かなればなり

日清戦争後、日本は、朝鮮半島に勢力を伸ばし、東洋の覇権を握るに至った。この結果、日本は、東洋の諸国と密接な関係を持つに至り、通信の発展を遂げた。特に、日本と朝鮮半島との間には、通信の需要が増大し、多くの通信線が敷設された。また、日本と中国との間にも、通信の需要が増大し、多くの通信線が敷設された。

日本は、東洋の諸国と密接な関係を持つに至り、通信の発展を遂げた。特に、日本と朝鮮半島との間には、通信の需要が増大し、多くの通信線が敷設された。また、日本と中国との間にも、通信の需要が増大し、多くの通信線が敷設された。

日本は、東洋の諸国と密接な関係を持つに至り、通信の発展を遂げた。特に、日本と朝鮮半島との間には、通信の需要が増大し、多くの通信線が敷設された。また、日本と中国との間にも、通信の需要が増大し、多くの通信線が敷設された。

第十七 通信の概況

第十七 通信の概況

今や國際間の關係日に月に錯雜を極め列國皆其の重要事項を處理するに當りては必ず國際間の制限を受け殆んど單獨行動に出づるを許さざるに至れり是に於て列國は互に百般の情報を交換し以て平時に在りては國民民福を増進し戦時に在りては軍の命脈たらしめむが爲通信機關の整備改善に萬幅の努力を拂ひつつあり

這次の歐洲戦役に於ける通信機關活動の景況は益々之が必要なる所以を立證し戦後各參戰諸國は貴重な幾多の經驗に基き更に一層の進歩發達を期すべく吾人の採て以て範とすべきもの尠少ならず以下之が概況を述べむ

一 歐洲戦役に於ける通信機關進歩の原因

(一) 參戰諸國民の科學的智識の豊富なりしこと

參戰諸國就中英、米、佛、獨國に於ける技術教育の進歩は延いて一般國民に科學的智識の涵養に偉大なる効果を呈し國家總動員の秋に會するや應召員は短日月を以て通信技術を修得し或は戦線に在て砲烟彈雨の下に活動し或は後方勤務として運輸通信の業務に執掌し爾後作戦地域の擴張と戦争期間の延

長に伴ひ之が補充亦比較的容易に實施せられ數年に互れる戦役間緊要欲くべからざる通信連絡をして終始遺憾なからしむるを得たり

(二) 参戦諸國に於ける工業力の充實せること

参戦諸國に於ける平時工業力の發達せるは周知の事實にして一旦開戦となるや忽ち工業動員は實施せられ各種の通信器材は盛に軍用に供せらるると共に充實せる國內の工業力は幾多の新器材を製出せり而して此等器材は戦前既に其の研究に著意せられしもの開戦と共に其の完成を促進したるもの又は戦争の要求により新に實現せられたるものあり共に戦場に送られて實用に供し其の不完全なる點は直に改善を施さるる等充實せる國內工業力が本戦役の通信機關に多大の効果を與へたる事實は枚舉に遑あらず

(三) 作戦區域廣大にして其の使用兵力亦龐大なりしこと

通信連絡は之が使用範圍の擴大せらるるに従ひ益其の價値を發揮するものにして本戦役に於ける参戦諸國は殆んど全世界に互り列強は開戦と共に各本國と殖民地又は戦地との間に確實なる通信連絡を保有するに苦心し或は無線電信の設置に依り或は海底電信の布設に依り戦路上通信連絡の完備を圖れり爾後作戦の進歩に伴ひ使用兵力の愈増加するや戦線は數百里に互り之を指揮統一するに當り上は高等統帥部より下戦線の一斥候に至る迄整然として連絡を通じ眞に軍の命脈をして能く其の價値を發

揚せしめたり

(四) 戦闘の性質特異なりしこと

戦役期間の大部を占めたる陣地戦に在りては整然たる通信連絡の必要愈多く之に伴ひ各種の要求を促せり就中戦線附近に於ける通信網は火器の威力増加と共に其の被害甚大となり之を防止する爲或は地中電信を案出し或は軍用鳩の使用を復活する等幾多の補助手段に依り通信連絡の確實を期せり加之彼我の對陣久しくして戦闘常に固定的なりし結果通信器材の選擇及通信網の構成をして容易ならしめたり

(五) 空中戦の盛なりしこと

本戦役に於ける航空機長足の進歩は延いて地上と空中との通信連絡を要求し列強諸國は空中無線電信の應用に依り敵の行動、陣地の編成、射彈の觀測等空中より察知し得たる事項を適時適處に於て地上に通信し以て航空機の價値をして一層重大ならしむるに至れり

以上記述せる如く歐洲戦役に於ける通信機關進歩の原因を概味する時は將來國軍の通信機關改善に資するところ頗る多きを認む尙各種通信に就き其の一般を述べれば次の如し

一一 有線電信電話

歐洲戰役の大部を占めたる陣地戦に於ては有線通信網は敵火の爲被害を受くること多く之が爲幾多の補助通信實現せられたりと雖此等副通信は諸種の場合に依り制限を受くること多く常に確實安全を期する能はず是に於てか列強諸國は被鉛線の如き特種材料を地下深く埋填し加ふるに各種通信機を並用し以て通信連絡の維持に努力せり而して此の如く回線の構成をして複雑ならしめたるに各種通信器材の軍用に供せられたるとは一に戰團の特性に基くものにして此等特種の器材を以てする複雑なる回線は陣地戦に於て初めて之が構成を許容したるものなり翻て運動戦に於ける通信連絡の一層至難なるに想到せば吾人は百尺竿頭更に一步を進めて之が研究に努めざるべからず

又本戦役に於て各参戦諸國が平時施設の通信網を遺憾なく利用し軍事に供用したる事實は彼の佛國に於ける戦地と巴里間の通信網が開戦と共に總司令官の隷下に移され且戦地より巴里中央局に引込まれたる軍用電信電話線が其の總數九百條の多きに上りたる等に徴しても明に首肯し得らるるところなり而して此等平時施設の通信網は開戦當初に於ける軍の集中又は諜報勤務に多大の効果を與へ爾後作戦の進捗と共に後方連絡の爲唯一の通信機關として利用せられたり是れ全く列國が平時通信網を構成するに當り能く平戦兩時の要求を顧慮し其の調和を圖りたる結果たらずむばあらず

此の如く参戦諸國は平時通信網の利用に努むると共に一面に於ては戦線の擴張と彼我の接近に伴ひ之が不備を増設し且其の破壊部を補修する爲各國共に軍内の各團隊には野戦通信部隊を附屬し或は架空線に

依り後方線路を架設補修し或は特種材料を以て地中線路を構成する等其の活動の状態大に見るべきものあり之を東亞大陸に於ける貧弱なる平時通信網の現状に比較する時は戦時に於ける我が國軍野戦通信部隊の重大なる任務と莫大なる作業とは蓋し想像に餘りあるべく器材の改善は勿論野戦通信部隊の増設は眞に刻下の急務にして吾人は之が爲一段の覺醒を期せざるべからず

次に本戦役に於ては彼我の距離接近して對峙久しきに亙りし結果敵の通信を窃取するの手段盛に行はれ有線電話に在りても暗號を使用せざるべからざる状態に至りしは是れ陣地戦の然らしむるところなりと雖將來吾人は暗號の作爲使用に益、熟練するの必要多かるべきを信ず

三 無線電信

本戦役に於ける通信連絡中最も科學的進歩の著しきものは無線電信の利用なりとす列強諸國は開戦前既に競ふて世界一週の獨立せる通信網の施設を企て(附圖参照)大規模の固定無線電信所を國內の諸點及海外殖民地に設置し海底電信の布設と相俟て平時は之に依り通商貿易を容易ならしめ戦時に在りては戰略上本國と殖民地間又は同盟諸國互に情報を交換し以て其の行動を規正する等之が運用の妙眞に讚歎に値するものあり加之從來無線電信の最も不利とせられし混信は眞空球の實用と共に著しく其の度を減じ將來之が研究の益、深厚ならむとするの趨勢に在り

前記の強電力を有する固定無線電信所の外本戦役に於ては各國共に高等司令部、騎兵集團、砲兵集團等には輕快なる運動性を有する移動無線電信所を有し此等移動無線電信所は自動車又は車輛に積載せられ到る處軍の行動に跟随し能く有線通信網の缺を補ふを得たり

無線電信の利用は尙之に止まらず陣地戦に於ける有線電信網の被害多くして動もすれば通信の中絶を來たさむとするや小型の無線電信機又は地中電信機等案出せられ塹壕地帯に在りて僅少なる通信手をして自由に操作せしむるに至れる等其の腐心の跡大に注目し値するものあり

更に航空機の進歩に伴ひ輕量なる無線電信機を之に装置し或は砲兵射撃の観測に或は近距離偵察に於て能く地上と空中との連絡を保持するを得たり然れども此等器材及其の通信法は航空機の戰術的用法と共に將來大に研究の餘地尠からず吾人は空中戰闘の研究と共に空中と地上との連絡に關しては一層深厚なる研究を遂げざるべからず

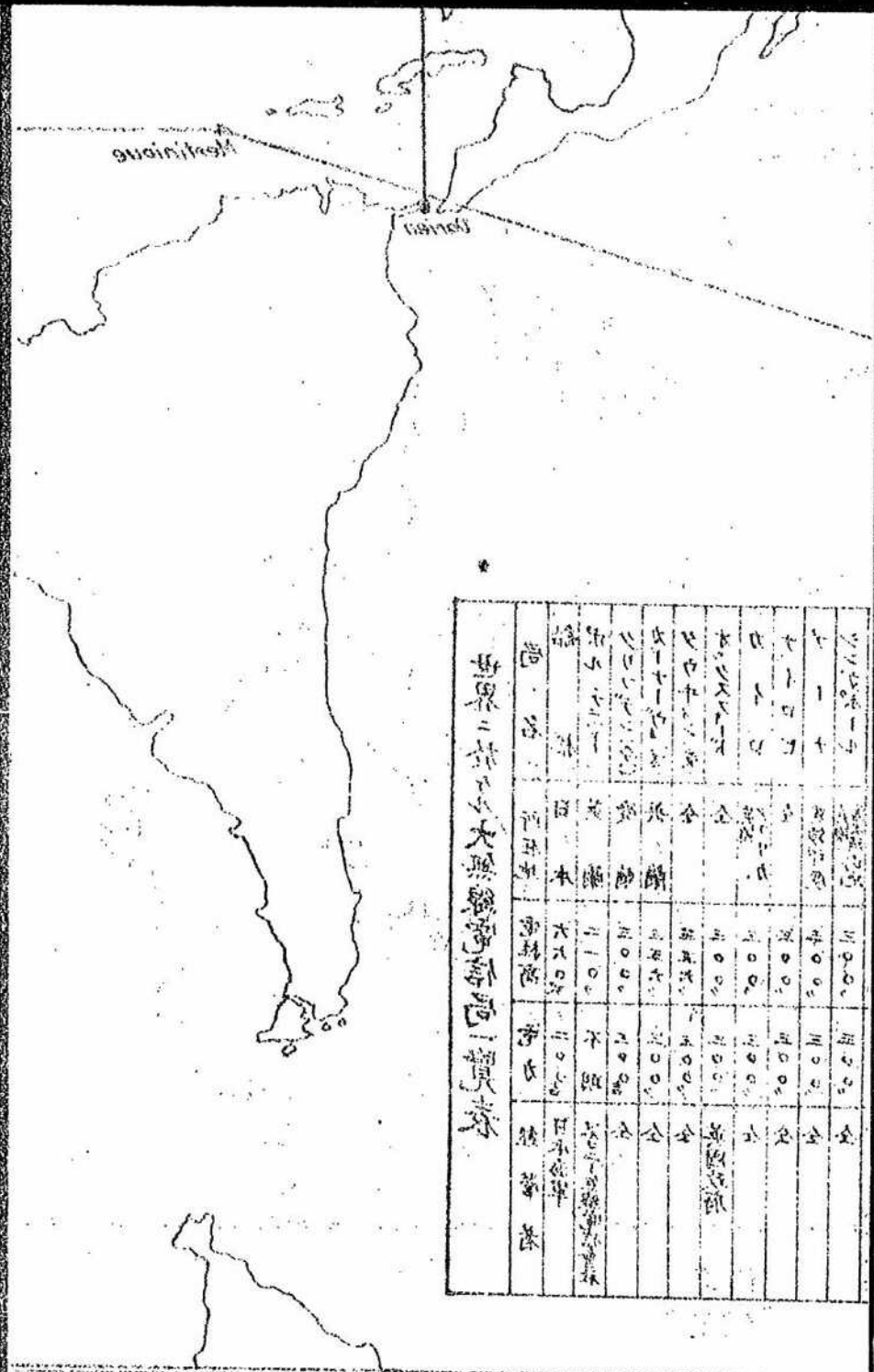
以上記述せる如く本戦役に於ける無線電信の發達は正に世界に於ける無線界に一新機軸を現出し戦後列強諸國は更に實戰の經驗に依り幾多の改善を期すべく無線電信の進歩は殆んど底止する所を知らざる趨勢に在り翻て我が國軍無線電信發達の狀態に考及するときは器材の改善、整備は勿論無線電信網の設置、調査機關の擴張、無線電信隊の編制改正等企畫すべき事項眞に多端なるものあり

四 其の他の通信機關

本戦役に於ては陣地戦の特性に基き補助通信として各種の視號通信(日光、「アセチリン」、蓄電池等を光源とする回光通信機、旗號信號、幕布信號、火箭信號、火花信號等)、音響通信、軍用鳩、軍用犬、自動車、飛行機等の使用亦他の通信機關と相俟て盛に使用せられたり

抑も戰場に於ける各種の通信機關は各、一得一失ありて情況に依り制限を受くること多く常に確實なる通信連絡を保持し軍の命脈をして終始中絶することなからしめむには必ず各特性を有する數多の通信機關を並用せざるべからず是れ平時に於ける通信機關と大に其の趣を異にするものにして軍用通信の爲各種の補助通信機を必要とする所以なり

之を要するに這次の歐洲戦役が吾人に與へたる教訓は枚擧に遑わらずと雖參戰諸國が數年の久しきに互り雌雄を決し其の技術的施設の完備が勝敗の決に如何に大なる影響を與へたるやは吾人の永遠に忘るべからざることとす就中作戦の命脈たる通信機關に在りては歐洲列國に於ける平時通信網の施設方針良好なりしと野戰通信部隊の活動とにより戰爭最終の目的に偉大なる効果を發揚したる事實は眞に羨望に堪へざるものあり然りと雖吾人は他國の模倣を以て足れりとするものにあらず宜しく國軍の作戦方針と我が國勢に鑑み參戰諸國が技術上の妙を盡し流血を以て購ひ得たる貴重なる經驗を調査研究し一面彼の長



を採ると共に他面に於ては之が根本的研究を遂げ遂に彼の壘を摩するに至らざるべからず
 今や國際間の關係愈々複雑を極むる時に當り通信機關の施設は益々其の要求を増加すべく宜しく平戰兩時
 の運用を顧慮し之を企畫すると共に野戰通信機關の改善、増備を圖り以て一旦有事の日克く軍の命脈を
 して遺憾なからしめむことを期せざるべからず

第十八 歐洲戰と要塞

第十八 歐洲戰と要塞

第十八 歐洲戰と要塞

今次歐洲大戰の當初専ら攻勢を採れる獨軍が白國の中立を犯して同國及佛國東北國境並露國西方面の諸要塞を一撃の下に陥落せしめたる以來要塞眞に恃むに足らずとの議論各方面に唱道せられ其の效用を疑ふこと大なるに至れり

要塞の價値に關する議論は何れの戰爭に際しても常に伴ひ起るべき問題にして千八百七十年戰に於て獨軍が或は砲撃に依り或は強襲に依り短時日に於て「メッツ」、「ストラスブルヒ」の外大小幾多の要塞を陥落せしめたる際既に此の問題を生起しあり當時の研究に於ては要塞の陥落は要塞其のものに罪にあらざして之を守備且利用するもの其の當を得ざりしとの結論に歸著し戰後佛國は勿論獨塊其の他歐洲各國共に要塞を整備するに至れり

之を今回の大戰に徴するに亦前述と同様の感あるを覺へしむ即ち白國の諸要塞が潮の如く殺到し來りし獨軍に對し其の守を失ひたるは千九百十三年に於て成立せる白國の軍備擴張未だ實現に至らず而かも動員は勿論要塞の戰備未だ整はず要塞既定守兵の未だ僅に半數に満たざるに對し獨軍の疾風迅雷的攻撃を受け衆寡之に敵せざるのみならず要塞の築城は多くは十五瓏口徑の砲彈に抵抗し得る如く構築せられありしに拘らず俄然獨軍優越巨砲の砲撃を受けたるに因るものなり又佛國東北國境の諸要塞の忽ち敵手

に落ちるに至りしは此等要塞は既に改築の計畫ありしに關せず遂に之が改築を見るに至らずして今回の大戦に遭遇したるものにして換言すれば千八百七十年戦當時の殆ど廢壘に近き要塞を以て敵に當れるに因るものにして真に已むを得ざるものなり其の他露國西方國境要塞の崩雪の如く陥落せしは要塞の素質不良にして剩さへ戦備完からず主として戦路上の必要に基き隨意に要塞の守備を撤退せしもの及之を守備するの意思堅固ならざりしもの其の原因をなせるが如し以上述ぶるが如く陥落せし幾多の要塞は何れも真に要塞としての防備を飲けるか又は真面目の抵抗に之を利用せざりしものなり之に反し獨り「ヴェルダン」要塞は千九百十六年二月以來數回に互り獨軍の強烈なる攻撃を受けたるに拘らず最後に至る迄遂に之を保持し得たるは彼の千八百七十年戦に於ける「ベルホール」要塞と相俟て世界の戦史に特筆すべき事項に屬す蓋し「ヴェルダン」要塞の價値は前記佛國諸要塞と異り英佛防禦線の最重要なる支撐點たると同時に佛軍攻勢の最良根據地たりしを以て全力を盡して之が防守に努めたりしのみならず既に平時より戦路上の必要に基き「ツール」、「エピナル」、「ベルホール」等と共に改築を加へ就中「ヴェルダン」は數回の改築に依りて要塞の編成及素質を改良したるものなりしなればなり又奥國「ブジエミスル」要塞が露軍に對し克く彈藥、糧食の欠乏するに至る迄比較的永く支持し得たるは露軍が獨軍の如き巨砲を有せざりしもの其の主因をなせるが如し唯憾むらくは「ツール」、「エピナル」、「ベルホール」、「メッツ」、「ストラスブルヒ」の如き改造乃至新式の要塞が戦争に利用せられざりしを。

以上述ぶる所は専ら陸地要塞に關する觀察なりしも今之を海岸要塞に就て考究するに何れも克く其の任務を盡し十分に海岸要塞の價値を發揮せるを認む即ち獨軍が戦役間常に劣勢なる海軍を以て優勢なる英海軍に對し屢潜水艇及驅逐艇を以て英艦隊を襲撃せしのみならず又英東岸に大規模の機械水雷を敷設し遂に戦役の終期に至るまで英海軍をして北海に跳梁せしめざりしは「ヘリゴランド」及「ウイムヘルムス」、「ハーフェン」の兩要塞が克く其の海軍の行動を掩護したる賜なりと謂はざるべからず又千九百十四年九月獨軍が艦隊及航空機の前進根據地として「オステンド」、「ジープルジュ」を占領し該地に臨時要塞を設置せし以來益々英海軍の白國沿岸に對する行動を困難ならしめ戦役間克く其の戦線の背後を掩護したるは顯著なる事實に屬す次に「ダーダネルス」海岸諸要塞に就て之を見るに該要塞が千九百十四年十一月より翌年三月に互り聯合軍艦隊の數回の大砲撃を受けたるに拘らず常に之を撃退し遂に海面よりする攻撃を斷念せしめたるは該要塞が千八百七十三年以來獨國の助力に依り數次改築せられ比較的良好の防備状態を保持せしものと大に與て力ありしものと認む

以上の事實により考察すれば要塞の價値は將來と雖も變化なかるべく其の強度適當にして利用當を得ば重大なる任務を盡すべきものなることを知り得べし故に苟くも緊要なる任務を有すべき要塞は努めて技術の進歩に伴ひて其の素質編成を改良するを要するのみならず要塞の利用に就ても亦深き研究をなさざるべからず彼の佛國東北國境要塞の増築改造に關する佛國陸軍當局の意見が千九百十六年乃至八年に互

り連りに政府に提出せられたるに拘らず毎に議會の遮ざる所となり正に要塞改築の好機を逸し本戦役となり遂に國土の一部を獨軍に蹂躪せられたるは眞に平時に於ける國防の怠慢を暴露せるものとせざるを得ず

要塞の設置並之が保存改良は軍艦の改造交換と等しく大なる經費を要するも要塞の儼存は敵をして侵略の念を絶たしめ攻勢に在りては我が根據地及支撐點を保護し又守勢に在りては我が運動を便にして敵の動作を困難ならしめ我が軍をして能く寡を以て衆に當らしむるの利益あり唯茲に最も戒むべきは要塞の濫設及之が利用の如何に在り若し大なる價值なき要塞を多數に築設し之が利用法を誤らむか管に多大の國帑を消費するに止まらず之が守備に多大の兵力を吸収し却て大局を誤るに至るべし故に要塞を設置するには國防上極めて緊要なる地點のみに設け一旦之を設置するや其の編成素質共に兵器の進歩に追従否軍之を凌駕せしむる如く努力せざるべからず

今歐洲各國に於ける要塞の價值に關する所論を窺ふに毫も戦前と差異なく唯築城の進歩をして兵器の進歩に伴はしむべきを指摘しあるのみ而して其の編成素質を將來如何に改良すべきや之に關し幾多の所論あり即ち防禦工事の大々的散布を行ひて無數の堅固なる小支撐點を設くべきを唱へ或は從來支撐點の外形を稍小にして近戰設備のみを有する堅固なる小支撐點を設備すべきを喚び或は數線若は十數線を以て圍繞する堅固式陣地を臨時に構築する可とすべきを主張する等是なり其の何れを主義とすべきやは

極めて慎重なる研究を要するも塹壕戰式陣地を以て要塞に換へむとするが如きは容易に同意する能はず蓋し斯の如き廣大の工事は最後方に於て諸般の情況之を許す場合の外臨機の構築困難なるのみならず之が守備に多大の兵力を吸収し既に要塞としての價值を没却せるものなればなり要するに要塞は築城の威力を以て主體とし極小の守備兵克く極大の敵に當り得るを理想とし以て其の編成素質をして毫も兵器の威力に後れざらしむること最も必要なり

而して要塞を如何に設置利用すべきやは邦國の兵略的地位、地理的地位及其の他の特種的地位によりて大なる差あり本邦の如く比隣に列國の經濟的爭覇の地と内亂醸生の禍源地とを有するのみならず其の領土大陸と島嶼に跨り而かも將來大陸に對する戰時資源供給の確保を要する國に在りては克く陸海兩軍の整備を按配すると共に積極、消極の目的を達すべき要地に要塞を設け國防の大方針を誤らざること必要なり之が爲將來前記の目的を達すべき緊要なる地點に要塞を新設すると共に從來の要塞を改廢し且其の編成素質をして兵器就中海面及空中よりする兵器の進歩に後れざらむことを期せざるべからず

第十九 英、米、佛及獨國の馬政

第十九 英、米、佛及獨國の馬政

第十九 英、米、佛及獨國の馬政

其の一 英國

英國の畜産業は最も隆盛、馬匹の數も亦豊富にして英本國及各屬領を合せ約九百餘萬頭を有す然れども國家としては馬産を促進すべき統一せる機關なく唯僅に英本國に於て馬政委員會の審査研究あるのみ而して本國政府は馬匹に關する租税の全廢、競馬會獎勵金、種牡馬獎勵金、共進會受賞馬に特別賞金及蕃殖牝馬に補助金下付等微温的獎勵を行ふのみにして馬匹の改良は個人の嗜好に委し軍用としての意義を加へず彼の有名なる純血種を造出せるの功は極めて大なるも其の他の馬種は軍用として能力十分ならざるものあり従て乘馬は概して優秀なるも輕輓馬は軍用として價値少し而して最近に至り戰時の必要を顧慮し軍馬預托制度を設け又地方馬の検査及之が登録をなすを得たるは今次の大戦に於ける動員を迅速ならしむるが爲與て大に力ありたり

英軍軍馬の總數は開戦直前僅に二萬五千頭なりしも新軍の編成に伴ひ漸次増加し千九百十七年野戰軍の總馬數は約四十萬頭にして千九百十八年十二月には英軍總馬數約七十五萬頭(約三分の一は騾)に達せり而して英軍は開戦劈頭十二日間に十三萬四千頭を、其の後の三箇月間に補充として約六萬頭を又爾後休戦に至る迄約十五萬六千頭計約三十四萬頭即ち本國總馬數約二百萬頭に對し其の約百分の十七に相當す

る數を徵發せり然れども内地馬産に著しき悪影響を與へざると國內物資の輸送力を著しく減せざるとの願慮及馬匹補充上最多を占むる輕挽馬の徵用は英本國馬産の關係上極めて困難なるの理由に依り前記の數以上に本國より徵發を行はず補充馬は千九百十四年十二月既に加奈陀より、千九百十五年以後濠洲、新西蘭及印度等は勿論北米合衆國、「アルゼンチン」、西班牙及葡萄牙等より之を輸入し其の總數約百萬頭に達し内北米合衆國より購入せる數は約八十萬頭とす

英出征軍馬の廢斃率左の如し

千九百十四年(四箇月)

百分の十二

千九百十五年

百分の十四・五

千九百十六年

百分の十四

千九百十七年

百分の二十八 内百分の十は最後の三箇月の減耗とす

千九百十八年(十箇月)

百分の二・五

但し千九百十六年末より千九百十七年初に互りては馬匹の減耗甚しく一箇月約百分の五に及べり是れ降雨、酷寒、烈風等あり天候及氣候特に不良にして且糧秣の補給意の如くならざりしが爲なり而して英軍の購買せる馬匹中千九百十七年五月迄に約二十萬頭を失へりと謂ふ
馬匹復員の爲には年齢十二歳(我が十三歳)以下の健馬にして大戦中英本國より徵發せると略同數を本國

に還送して之を拂下げ以て勞力の缺乏を補填すると同時に速に馬産の基礎を確立し他は佛白兩國に譲與し埃及に於ける約十萬頭の處分は該地に在る軍司令官に一任せり

能力に就て謂へば純血種は優秀なるも天候、氣候に對する抵抗力稍弱く「ハクニー」は輕挽馬として能力あるも生産數尠く其の他の半血種輕挽馬は血種雜駁にして不適當のもの多し「ベルシユロン」は種牡馬として生産せるものは輕挽馬として最も適當なり英國の重挽馬「シャイヤ」は適當ならず重挽馬も亦「ベルシユロン」に依る半血種を可とするの論あり

其の二 米 國

亞米利加大陸には第三世紀地層の末期には多數の馬屬を有せるも氷河期に至り全然死滅し千四百九十二年「コロシブス」の亞米利加發見の際は此の地に馬匹を見ざりしと謂ふ馬匹の始めて米國に輸入せられしは「コロシブス」第二回渡米のときに在り爾來歐洲の移民積々之を輸入し西班牙馬を基礎とせる雜種の蕃殖は殊に隆盛なるに至れり而して北米合衆國にも馬産を統一すべき政府の機關なく唯一部地方に種牡馬検査及蕃殖用馬輸入税免除等を行へるのみ馬匹の改良發達は主として個人の嗜好に委せり然れども米國人は生活上「時是金」の主義に従ひ馬匹は速度の迅速を主とすると各種の役務に通じて必要なる共通の性質を備へしむるとを努め遂に一種の特徴を生せしめたり即ち彼の「トロッター」の如きは米國産馬の代表

的種類なりとす而して米國は土地廣漠馬産に適せるが爲馬數の増加著しく千九百十五年に在りては馬約二千百萬頭、騾約四百五十萬頭に達せり

平時に於ける軍馬補充は陸軍省經理局の掌る所にして主として入札購買に依る爲に陸軍には軍馬育成所又は軍馬補充部に類する機關なし

戰時に於ける軍馬補充機關は馬匹購買委員、師團補充馬廠及乗船地補充馬廠等とす

本戰役に際し米國軍馬の數は馬匹及騾を合し休戰時出征軍に屬するもの約二十七萬頭にして主として内地に於て購買せるも戰地に在りても佛國、西班牙及英國等より購入し損害數は戰役間を通じ四萬二千餘頭なり

休戰後軍隊還送に際しては馬匹は兵員と全く分離して輸送せり

復員に際しては馬匹は在佛國のものは歐洲に於て賣却を欲せるも之が實施に至らず總て内地に於て賣却せるが如し

其の三 佛 國

佛國は統一せる馬政機關を有し馬匹の改良蕃殖は一定の方針に基き整然之を實施し馬政局の創設は遠く一八一四年の時に在り千七百九十一年一度之を廢止せるも千八百六年之を再興し千八百七十、七十一

一年普佛戰役の結果更に其の擴張及馬匹改良の促進をなせり今や佛國は全國を六箇の馬政管區に分ち一箇の國立種馬牧場、二十二箇の國立種馬所、七百四十六箇の地方種馬所を設け國有種馬の數は千九百六年には三千三百餘頭に達せり而して産馬調査會、純血種血統登錄法、種馬検査法、共進會獎勵法、陸軍省獎勵金及競馬獎勵法等の機關並獎勵法あり馬券を許可し「ブックメーカー」賭法を嚴禁せり産馬としては純血種の外「アングロノルマン」、「アングロブレトン」、「ベルシユロン」等諸種優秀なる馬匹を産し千九百十三年末に於ける馬匹總數は約三百二十三萬頭なり

佛軍は開戰直前平時保管馬總數約十九萬四千頭にして動員所要馬匹の總數七十九萬九千六百六十頭なりしが故に開戰當初六十萬餘頭の充足を必要とし平時より準備せる所に従ひ動員と同時に佛國內地及殖民地に於ける一般徵發に依り之を充足せり而して戰爭の經過に伴ひ生ずる減耗の補充、新設部隊に對する充當、國內馬匹資源の保護及物資配給の顧慮上過度に多數を徵用する能はざる事情ありしが爲千九百十五年三月五日重戦馬以外の徵發を中止し千九百十六年一月に至り全然馬匹の徵發を停止せり故に爾後の補充は之を外國購買に依り主として西班牙、加奈陀、北米合衆國及「アルゼンチン」等より輸入し其の頭數千九百十七年十一月十五日迄に馬約七十萬頭、騾約九萬頭にして所要の經費は約二十二億法に達せり千九百十七年五月頃に至り佛國は馬糧に著しき缺乏を告げたと動力缺乏に基く地方産業不振救済の爲五月末陸軍省は外國よりする牡馬の購買を停止し且軍馬約十二萬頭を民間に拂下げ其の他尙一時の窮策

として騎兵第七乃至第十師團の馬匹を去り之に依りて得たる約三萬頭を以て他兵種部隊馬匹の補充及新設部隊に對する充當に使用し千九百十七年十一月新收穫に依り馬糧を得るに至り再び外國購買を開始せり當時參謀本部の要求せる補充馬數は一箇月約乘馬五百頭、輕挽馬三千五百頭、重挽馬約五千頭、騾馬一千頭計約一萬頭なりしも戰役の經過に従ひ馬匹の減耗漸く著しく遂に一箇月平均約三萬頭即ち總馬數の約二十七分の一を要するに至り多數の馬匹を外國より輸入するを要するの情況なりしも馬匹選擇の自由、輸送力の不足及經費の歴大等に苦み遂に購買數一箇月平均約二萬頭即ち總動員馬數の約四十分の一に過ぎざるの情況に陥り馬匹の動員及補充は兵員と等しく極めて重要なを感せしめたり

復員に依る過剩馬數は約九十萬頭にして之が整理の爲用役に堪へざるものは現地にて處分し蕃殖用牝馬は馬種に従ひ原産地に還送して公賣に附し用役に堪ゆるものは開戰當初に於ける各地方の馬數を顧慮し戰後の需要に應じ得る如く分配拂下をなせり拂下は公賣を原則とするも隨意契約に依ることを得又「エクター」以内を耕作する農家にして出征軍人を出だせる者には六箇月を限り二頭以内を貸渡すことあり然れども馬匹整理の實施は疥癬の流行に依り防疫上の處置を必要とせるが爲輸送進捗せざりしと公賣手續の煩雜なるとに依り進捗極めて遅々たりき

其の四 獨 國

獨逸聯邦に於ては馬匹は第十九世紀の初に至る迄主として小農及小地主の自家用に供する目的を以て蕃殖するに止まれるも普魯西亞は「フリードリヒ、ウイヘルム」一世の時軍事上の必要より馬匹改良の急務なるを唱へ千七百八十七年以後宮内省主馬寮の下に一般馬政機關を置き國有種馬を備へ又「トラケーネン」及「フリードリヒ、ウイヘルム」牧場の産馬に依り貴種馬を以て地方馬に配し爲に改良に資したること多く馬産は漸く振興の域に向ひ馬匹改良上一期を劃するに至れり然るに千八百六年「ナポレオン」の侵襲を蒙り國土大に疲弊し馬産も亦大打撃を受け一時殆んど廢滅の悲運に遭遇せり是に於て政府は銳意復舊に努力し競馬を奨励し又英純血種を輸入し結果見るべきものありたるも純血種交配の方針を誤り成績不良となり次で貴種蕃殖の反動的結果として重大種の交配に依る馬體の強大を望み亂雜なる方法に依り實施したる結果産馬は益、不良に陥れり次で來れる時代は即ち今代にして主馬頭「リンデナウ」伯の立案せる方針に基き貴種及冷血種の蕃殖區域は地方に依り之を異にし銳意改善に努めたり千八百四十九年農務省の創立と共に馬政機關及馬匹獎勵事業も其の所管に移り今や獨國は馬政局主管の下に八箇の國立種馬牧場及三十二箇の種馬所を有し馬政委員會、産馬獎勵法、共進會、競馬會獎勵法、種牡馬検査法及各種馬匹血統登錄の方法等を設けて促進を計りつつあり東「ブロイセン」馬、「ハンノーバー」馬及「オルデンブルグ」馬等は獨國産馬中有名なるものにして千九百十二年末には國內總馬數約四百五十二萬頭なり

今次大戦勃發するや初期の徴發に當りては専ら騾馬、牡馬及勞役牝馬中より選擇し蕃殖牝馬の愛惜には相當の注意を拂へるが如し然るに爾後多數の豫備軍團等を編成し馬匹の需要増加するや遂に蕃殖牝馬をも併せて徴發し加之開戦當初一時に多數を徴發せるが爲千九百十五年の春耕に方り甚しき困難を來たせり當初の國內徴發頭數は精確に之を知るを得ざるも地方馬現在數千九百十四年末約三百四十四萬頭、千九百十五年末約三百三十四萬頭なるより見れば戦争第二年末迄に約百二十萬頭を徴發せるが如し而して爾後の補充は素より圓滿を期し難く且地方馬の不足は之を醫せざるべからざるを以て當局者は千九百十四年九月以降和蘭、丁抹、瑞典、諾威、巴爾幹地方及匈牙利等より輸入を試みたるも資源の豊ならざるに四面包圍の状態に在るとを以て十分に目的を達すること能はず殊に騎兵用馬は開戦當初より補充の途殆んど絶え砲兵用馬は白耳義及露領波蘭占領後専ら該地方より徴發し辛ふじて需要を充たしたるが如し其の輸入頭數明ならざるも開戦當初和蘭よりせるもの約三萬五千頭内外なり

初め獨逸は東普に於て露軍の侵入を受け地方馬總數約五十萬頭の内約十三萬五千頭を失ひ「トラケーネン」牧場の如きは全く蹂躪せられ同地方の馬産に大なる打撃を受けたるも露軍退却し州内平靜に歸するや政府は農村の恢復特に馬産の復興に努め千九百十五年八月迄に該地方に對し陸軍の廢馬中使役に堪ふるもの及輸入馬約三萬八千頭を移し戦時賠償資金一億二千萬馬克を交付し又全國一般に對しては牝馬の徴發を減じ且徴發せる蕃殖牝馬を貸與する等の規定を設け其の他齒獲馬の拂下、軍馬の貸下及外國馬輸

入の爲力を注ぎ馬産の一般的保護獎勵法としては戦時に係らず共進會及競馬會の開催を促し官有原野の無料貸與等の方法を講じ其の結果稍見るべきものあり尙千九百十五年末に於ては國內馬匹頭數の補填は之を外國殊に米國に待つの計畫なりしも米國參戰に依り遂に其の希望を充たす能はざりしの場合に在り

獨逸軍馬殊に騎兵馬の能力に關しては少將「フォン、ポセツト」の手記に依り其の一端を窺ふを得べし同少將は曰く獨逸軍馬は戦役間能く其の任務に堪へたり即ち騎兵第三師團は千九百十四年九月二日より四日に亙り西方戦場に於て約二百七十七吉米を行進し此の間二回の激戦を交へ又騎兵第一軍團は同九月十一日より二十一日に亙り約五百七十吉米を行進し殆んど連日戦闘を繼續し其の他各師團の開戦當初に於ける一日平均行軍行程三十三乃至五十四吉米なりと各馬種の能力に就ては純血種は概して能力の卓越を示し東「プロイセン」馬亦優秀なるを稱す唯胸甲騎兵及槍騎兵に採用せる大馬は抵抗力弱く且飼料の缺乏より來る疲勞小馬より速なりとし又東「プロイセン」馬は既に貴種に過ぐるを以て稍冷血種の混血を賞するに至れり而して獨逸將來の馬政方針としては温血を幾分冷血に導き且軍馬は成るべく早く即ち約二歳にて民間より購入し軍部に於て育成するの急務なるを唱道せり

其の五 結 言

物質的文明進歩し機械力の應用盛なる現代に在りても馬匹の軍事上極めて重要なる地位を占むるは勿論
長期作戦に於ては國內産業上の動力として亦缺くべからざるは前記にて依りて明なり而して本邦の馬産
は當局者及民間の努力に係らず未だ所期の域に達せざるを以て速に之を促進し殊に馬數の増加及資格の
向上を計らざるべからず

第二十 軍用動物の概況

第二十 軍用動物の概況

一 馬匹及騾馬

馬匹及騾馬の這次大戰に使用されたる數は適確に報道し難しと雖諸種の情報を綜合すれば別表の如し而して近代機械力の非常なる發達は戰場に於て動物の跡影を留めざるに至るべしと豫想されたるに拘らず動物動力の需要は益々増大し既往戰役の兵員百名に對する馬匹の數を比較するに普埃戰役に於ては一五・五二、獨佛戰爭に於ては一七・三九、日露戰役に於ては一九・七二にして這次大戰に於ては約三七・〇の比に増率しあり而して其の使用馬種の能力を觀するに騾馬は挽曳及駄載用として持久力強く疾病に對して抵抗力大にして且粗食に甘んじ飼養管理單簡にして各國共に其の軍用能力の偉大なるを認めたり又使役したる馬匹中其の主なる用途は挽曳にして駄馬之に亞ぐの狀況を呈し各國共に開戰前馬政の方策上比較的這次大戰に用途少かりし乗馬の供給には大なる困難なかりしが如きも大多數を要したる挽馬の補給に就ては各國均しく非常の苦心を要したる形跡歴然たるものあり既に戰役中より獨逸及英國の馬産家は一樣に軍用上並産業上冷血種挽馬型の繁殖に向つて全力を傾注すべしと論及するに至りしは大に注目し値す補給に關しては前年出版の「交戰諸國の陸軍」第四版に於て紹介したるが如く各國共に非常の費用と努力とを要したり其の後佛國に就て稍統一したる情報を得馬政の項に詳説し茲に省略す

(註 附表第二の第二項は馬政の條項を参照すべし)

戰役間佛軍の使用せる延總馬數は約百八十萬頭にして其の内約七十餘萬頭を損失せり
英軍は全戰役間約百五十萬頭を使用し病傷の爲病馬廠に收容したる總頭數は六十八萬九千三百八十七頭
にして快復後再び戰場に活動せる頭數五十萬六千六百〇四頭にして病傷馬數の七十二「プロセント」に達す
而して參戰列強の國內總馬數及戰場使用馬數は次表の如し

國名	國內總馬數 (驛、驢を含む)	戰役末期の戰場 使用馬數	同上使用馬數の國 内總馬數に對する 百分數	同上使用馬數の戰 場兵員に對する百 分數
英 國	輸入馬約百 萬を含む 三二七	七十七	二四	四五
佛 國 「アルゼリ」 を含む	輸入馬約六 十萬を含む 四二五	九〇	二二	四七
伊 國	二三四	三七	一七	二九
米 國	二、五六七	二七	一	
露 國	三、五八五	崩解前 一一〇	三	
獨 國	四五九	一一六	二五	二九
埃 國	三八〇	六九	一八	四〇
米、露を除く合計及百分數	一、八〇五	三八九	二二	三七

以上の如く帝國より素質優秀なる馬匹多數を國內に有せし各國に於てすら馬匹の補給に關しては非常の
辛酸を嘗めたるに聽つて素質貧弱にして僅に百五十萬頭をのみ有し且其の發達誠に微々たる帝國の馬産
を顧みて一朝有事の際を想像せば實に慄然たるの感なき能はず殊に國軍の編制が一つに帝國馬匹資源の
窮乏に拘束さるるの實情に至りては國家の安危上帝國馬産の興振は他に若干の犠牲を拂ふも決然全幅の
努力を奮つて劃策せざるべからざるの急務として敢て茲に國民一般の諒解を求めむとす

二 軍用鳩に就て

這次大戰に於て軍用動物として偉功を奏したるものの一として軍用鳩も亦特筆すべき價值あるものと信
ず鳩の歸來性を利用して之を通信に利用したるは洋の東西を問はず昔より史上に其の記録を存するも其
の用法に關しては這次大戰に於て異常の發達を遂げたるものと謂ふべし而して近代科學の非常なる進歩
に伴ひ通信機關の發達は鳩の如き生物利用を全然廢物たらしむべしと結論せむとするものあらむも是れ
甚だしく早計にして或種科學の發達には又之に反對する科學の發達を伴ひ破壊的科學が創設的科學に打
勝つことは吾人の日常目撃する所にして實に創設的科學が有線無線の電信、電話、地中電信の如き巧妙
なる通信機關を設くるや之に反對する科學的手段を考案し重要なる作戰の時機及地帯に於て敵の巧妙な
る通信法を破壊擾亂して用を爲さしめざるに至れり

理化學上の相反する努力が互に衝突するとき而も其の衝突の巷に立ち軍用鳩は超然自己の本能を發揮し造化の妙に依りて附與せられたる性能と宏大なる空間の利用に依り科學の呈する障礙を意とせず其の能力を發揚し得るを以て鳩の利用は現代に於ても決して廢棄せられず依然其の價値を認められたるのみならず寧ろ這次大戰に於て新しき法式に従ひ時勢の要求に應じ益、進歩發達し各國共に前方司令部、騎兵隊、砲兵隊、「タンク」隊、測量班及飛行機等に之を使用し軍事上偉大の効果を擧げ得たり而して最近佛國の情報に依れば千五百吉米の長距離飛翔に成功し又往復通信にも成功し調教の進歩に依り通信傳達も益、其の正確の度を増し佛軍に於ては百中九十五は正確に傳達し得るに至り益、軍用上の價値を増加せり殊に西伯利地方の如き通信網不備にして且器械通信機關の障礙頻發する作戰地に於ては益、軍用鳩の利用を必要と認む將來國軍に於ても一の有力なる通信機關として研究發達せしめ置くを要す

三 軍用犬に就て

這次大戰に於て交戦各國共に犬の獨特なる能力を各種の用途に利用したるも其の先覺者は獨逸にして獨軍は開戦後間もなく戰場に於ける負傷兵を搜索する爲衛生隊に於て兵卒一部の代りに犬を利用し負傷兵救助上偉大の効果を擧げ假死の負傷兵を判別するには人より其の感能卓越しありと云ふ其の後他の交戦國の衛生隊に於ても漸次此の目的に犬を使用し獨逸に劣らざる成績を擧げ得たり尙其の後各國共に其の

利用範圍を擴大し傳令、戰線と小行李間に於ける小銃彈の運搬、負傷兵運搬車の轆曳、機關銃其の他輕易なる物件の轆曳、哨兵援助又は斥候勤務、塹壕捕鼠用等に使用し貴重なる人命に代り且卓越したる成績を擧げ得たり殊に傳令犬は敵味方の砲撃猛烈となり彈丸雨飛の際假令塹壕内に於ても危険にして埋没したる電線等切斷せられ自然部隊の連絡斷たれし時に於て傳令犬は其の使命を完全に遂行せり最近英軍の報告に依れば西部戰場に於て勇敢なる傳令犬は下顎を彈片にて打ち飛ばされたるに拘らず重要な地圖を遠隔せる友軍司令部に傳達せりと云ふ又訓練せられたる哨犬は夜間並雲霧の際前方に異常あるときは其の尾を振り又は其の他の動作に依り哨兵の注意を喚起し斥候犬は部隊の前方に行進し自己の不安定の動作に依り前方の異常を後續部隊に察知せしむる等實に驚くべき効果を擧げ得たりと云ふ而して戰役中英、佛、獨は此等各種の目的に使用すべく調教を施す爲其の訓練學校を設立せり我が陸軍に於ても此等經驗に鑑み此の研究を開始すべく其の緒に就かむとしつつあり

四 駱駝に就て

駱駝は從來沙漠地方の交通機關として重用されありしが這次大戰に於て特種作戰地に於ては軍用上馬匹に代ふるに重要缺くべからざるものとなり乗用に馱載に異常の能力を發揚せり

英國は開戦前埃及及西部沙漠地方の守備として僅少の駱駝隊を有し居たりしが開戦後「シナイ」半島（亞

拉比亞地方)の沙漠作戦に之を應用せむとて駱駝隊を擴張し乘駝歩兵隊、駱駝山砲隊、駱駝工兵隊、駱駝機關銃隊、駱駝通信班、駱駝衛生隊等より成る混成旅團を編制せり而して駱駝は一見鈍重なる動物の如く見ゆるも其の速度の如きは馬匹と大差なく却て持久力強大にして且馬匹の如く飲水を大量に要せず(馬匹は一日數回の飲水を與へざれば直に諸種の疾患を發し用をなさざるに至ることあり)一回飲水せしめ置けば裕に五、六日間(亞拉比亞地方の土人の言に依れば十日間飲水を要せずと云ふ)飲水を要せず然るに飲水缺乏せる沙漠作戦地に於ては馬匹の使用甚だしく困難なるを以て西南亞非利加、土耳其、バルカン方面に於ても英軍は旺に此の駱駝を利用し軍需品輸送縦列の如きは龐大なる編制をなしたるが如し又獨軍並土耳其軍も土耳其及「シリア」地方の作戦には該動物の能力を大に利用せり而して帝國滿潮派遣軍の研究の結果軍用上駱駝の價値を次の如く判決せり

- イ 駱駝力、馱載力は普通支那馬の二倍あり
- ロ 行軍速度は支那馬と大差なきも途中休止を要せざるを以て結局速度甚だ早し
- ハ 柔順なるを以て行軍中監視容易にして普通五車輛に付一人の監視兵を附すれば監視十分なり
- ニ 飼養、管理容易にして粗食に耐へ抵抗力強く數日間水與せずして使役し得
- ホ 持久力頗る強く晝夜兼行して行動するも疲勞困憊すること牛馬に比して甚だ少なく途中休止を要せず使役し得且柔順なる爲車輛の裝著、馱載等簡單にして馬を混用するも何等支障なし

之を要するに前諸項を綜合すれば特種作戦地に於ては必要飲ぐべからざる軍用動物にして且何れの季節何れの風土にも使用し得其の飼養、管理甚だ簡易にして動力甚だ大なるの利あり殊に飲水缺乏する地方に於ては馬匹に代用する唯一の動力たるが如し

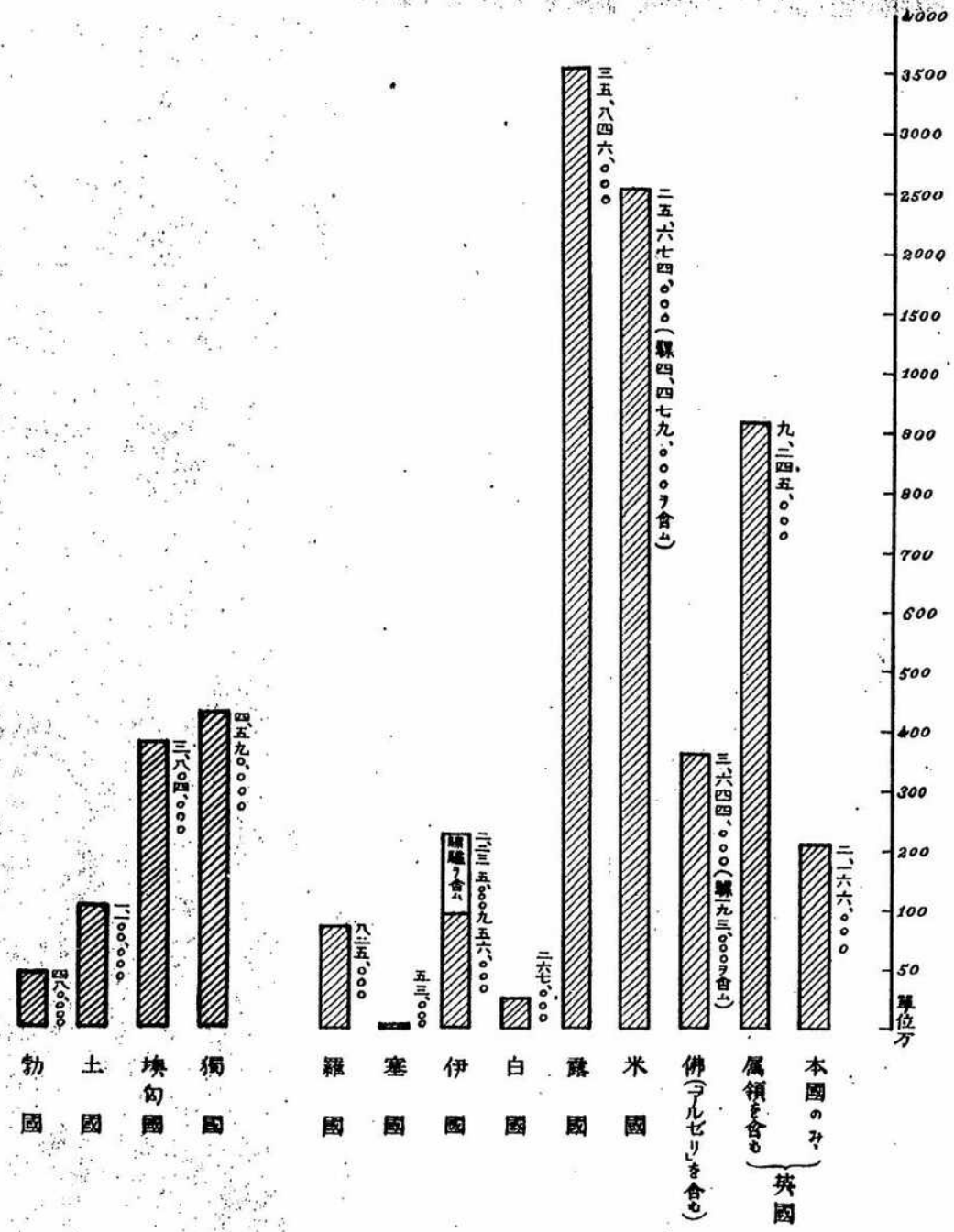
五 牛 に 就 て

牛も亦這次大戰に於ては食用の外動力動物として大に利用せられたり英軍は「メソポタミア」地方作戦地に於て縦列に之を利用し又東亞弗利加印度遠征軍は之を大口徑砲車輓曳、輻重及給水車縦列等に使用せり其の他伊太利軍、塞軍、勃軍も輻重の輓曳に利用し獨軍は「エッセン」地方に於て牛車軌道に應用し「ルーマニア」軍は重砲輓曳及輻重車輓曳に利用せり

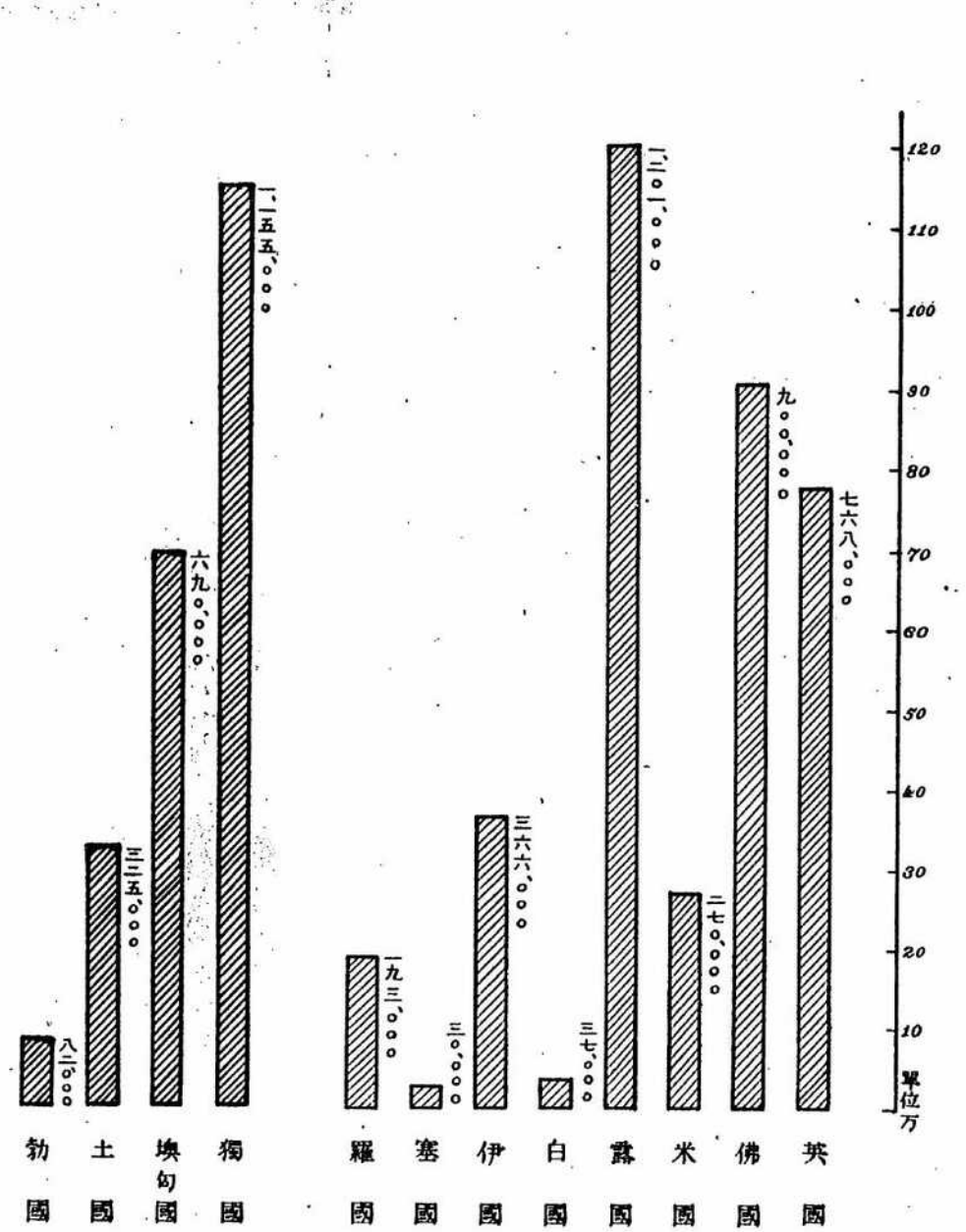
帝國滿潮派遣軍の研究に依れば北滿の牛は一般に柔軟にして日本内地の牛に比し其の行進速度早く而も持久力強くして一日平均七、八里の行軍中一回の休止もなく克く連続十八日間の行軍に耐へたり故に迅速を要せざる物件の運搬に就ては軍事上價値あるものと認めあり
要するに戦時食用を兼ね其の動力を利用せむとするは若干の不便あるも動力不足の場合に於ては又一の便法たるものと信ず

附表第一

國內總馬數

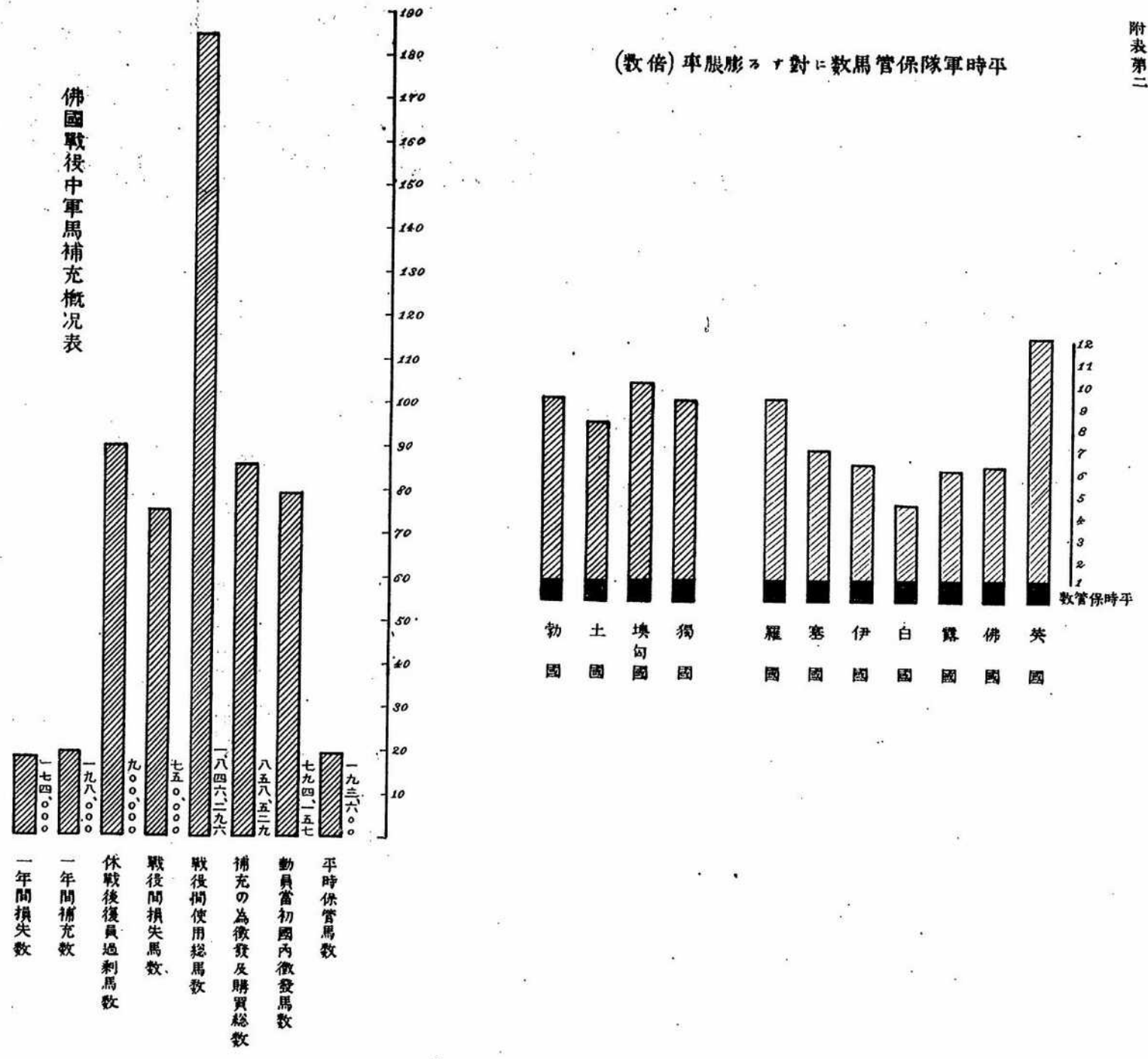


戰場馬匹數



附表第二

(数倍) 率脹膨る対に数馬管保隊軍時平



第二十一 歐洲戰役が陸軍衛生に及ぼしたる影響

第二十一 歐洲戰役が陸軍衛生に及ぼしたる影響

歐洲戰役が陸軍衛生に及ぼしたる影響

第二十一 歐洲戰役が陸軍衛生に及ぼしたる影響

一 害敵手段の進歩

歐洲戰役は毒瓦斯、航空機、「タンク」、火焰放射器の如き幾多の有力なる新兵器を出現せしめたり既存の火砲と雖亦射程の延長、射撃精度の改良、發射速度の増進、彈丸構造の進歩等に依り驚くべく其の效力を増大し殆んど一新面目を呈せしむ加之戰闘方法の變化は其の期間を延長すると同時に土質、塵埃等を以て戰傷を汚染するの機會を倍蓰し之が爲戰傷は量に於て著しく増加し質に於て著しく増悪せり個々の戰傷治療成績が歐洲戰役に於て良好なりしことは疑なきに拘らず其の統計上の成績に於ては過去の戰役に比し殆んど進歩の蹟を見る能はざりしは要するに上述の如く害敵手段の進歩の爲衛生機關の發達及醫術の進歩の効果を全然相殺したるが爲なり

害敵手段が科學の進歩と共に將來益、發展すべきは歐洲戰役の經驗に徴し明なる所にして今後の戰傷が量に於て益、増加すべく質に於て益、不良となるべきは疑を容れざる所なり從て陸軍衛生の諸般の設備は之に對應し大に改善を加ふるを要す例へば戰傷の量と質との變化は共に安全確實且快速なる文明的後送機關を要求し又戰傷の質の變化は一面に於ては精巧なる衛生材料を野戰に普及することを要求すると共に軍醫の技術の卓絶せる進歩を要求す各國が傷病者、衛生材料等の輸送具として廣く自動車を採用し且

民間に於ける患者自動車の普及を保護奨励し又「エックス」放線装置の如き高價なる材料を野戰衛生材料として無數に準備し又衛生に關する中央檢閲機關を特設するに至れるが如きは實に此等の要求を充足せむが爲に外ならず

一 病室職業教育

戰爭に起因する不具廢疾者に職を與へ活社會の一員たるを自覺せしめ希望に充ちたる生活を營ましむることは其の餘生を幸福ならしめむが爲又其の天壽を全ふせしめむが爲是非實施すべきことに屬するのみならず國民經濟上の見地よりするも亦大に必要なることとす歐洲戰役に於ける不具廢疾者の統計は未だ明確に之を知る能はずと雖死傷者の數より打算するに數百萬に達すべく從て之を職に就かしむる爲に相當の教育を施す事業は社會上、經濟上將た又倫理上各交戰國の一重要問題となり官民協力之が實施に盡瘁せるを見る此の結果職業教育が治療上にも偉大なる效果あること且入院中早く之を開始せざれば後に至りて如何に教育に努力するも容易に救済する能はざる懶惰の愼性を患者に與ふることを認識し茲に病室職業教育の制を發するに至れるは注意すべきことなりとす

科學の進歩は害敵手段の進歩を促し害敵手段の進歩は不具廢疾者の増加を招來す更に又醫術の異常なる進歩は從前に於ては必然死亡すべかりし者の多數の生命を救治し其の數を愈増加するに至るものたるや言を俟たず惟ふに文明の進歩、科學の發達は停止することなく今後益其の勢を増長すべきを以て將來の戰爭に於ける不具廢疾者の發生は時と共に層一層其の數を加ふべきは豫見し得る所なれば此の制度は益發展の見込あるものなるべく又此の制度は平時の不具廢疾者にも應用して利益を收め得べきを以て陸軍の内外を問はず廣く普及せらるるの傾向あるものたるを疑はず

三 未開國に對する戰爭の經驗

文化の程度低く從て諸般の組織不完全なる弱國との戰爭に従事する軍隊の衛生機關は大に縮小の餘地あるものと一般に信せられたり即ち未開國の劣惡なる軍隊と武器とは文明國の精銳なる軍隊と武器とに對し何等の威力を發揮せざるべきを以て損害の輕微なることを豫期し得るが故なり然るに歐洲戰役の經驗は全然期待に反し敵國の文化の程度低ければ低き程益完全有力なる衛生機關の準備の必要なることを認識せしめたり即ち歐洲戰役に於て未開國との戰爭に於ける戦傷に依る損害の輕微なりしことは固より豫期の如くなりしと雖其の疾病に依る損害は數に於て強國との戰爭に於ける戦傷者と病者を合算せるものに遙に優り而も其の多數は傳染性疾患にして收療、後送共に戦傷者に比し甚しく困難なりしを以てなり未開國に對する戰爭に従事する軍隊に對する衛生機關を著しく節約せる歐洲戰役の初期に在りては軍隊は其の衛生勤務を全ふする能はず將卒をして無益の苦痛を受けしめたるのみならず甚しきに至つては

疾病蔓延の爲戦闘力を維持する能はず大部隊を敵手に委するが如き悲惨なる経験を爲せり其の原因は(一)未開國に於ける軍隊の行動する地域は衛生施設を缺くを以て傳染性疾患の巢窟なること(二)未開國に於ては軍隊は適當なる宿營を得難く甚しく天然力の影響を受くること(四)未開國に於ては良好なる飲食品就中良水の供給を缺くこと(五)未開國に於ては道路としての價值あるものなく患者の後送甚しく困難なること等にして凡そ此等の原因より推測すれば歐洲戦役の経験を俟たざるも未開國に對する戦争に従事する軍隊に對する衛生機關を輕視する能はざるは明白なることなるべく事後に於て考ふれば此の如き場合に衛生機關を輕視したることが寧ろ怪訝に堪へざる所にして軍事當局の一大過失と言ふも不可なきが如しと雖兵馬倥傯の際には戦争の直接の結果たる戦傷の爲に眩惑せられ他の患者を顧みるの迫なきことも有り得べきこととも想像せらるるなり开は兎に角歐洲戦役に於ける如上の経験は將來の戦争に對する衛生機關の準備に良教訓を與へたるものと謂ふべし

四 陸軍衛生と地方衛生

世界の交通及經濟の發達は各國民間に於ける労働條件を均等に歸せしめむとす歐洲戦役は實に著しく此の趨向を助長したり果して然らば將來に於ける國家の労働力の増加は個々の國民の労働力の増進と労働期(壯年期)の延長に依てのみ達せらるるに至るべし國民の労働力の増進と労働期の延長は體格の改良と

健康の増強に依てのみ行はるるものなるが故に其の目的を達するが爲に最も必要なる手段たる衛生施設の完備、個人衛生思想の普及は將來に於ける政治の重大なる要素をなすや論なし

戦場の衛生施設は如何に努力を加へて之を全からしめむとするも市町村の衛生施設の程度に達せしむることを得ざるべきことは識者を俟たずして明なり又軍人は一般國民の忌避し得ることを而も往々被服、飲食、睡眠の欠乏を顧慮することなく晝夜を別たす強行せしめらるるものなることは敢て茲に喋々するの要なし加之軍人は極度に密接せる集團生活をなすを以て疾病傳染の機會に遭遇すること最も多し即ち何れの點より觀察するも戦場に在る軍隊の病者發生率は一般國民間の病者發生率より多かるべきは數の免るる能はざる所なり然るにも拘らず歐洲戦役に於て西方戦場の戦闘に従事せる文明國の軍隊に於ける病者發生率は一般國民間の病者發生率に比し同等若しくは同等以下に在りたる奇現象を呈せり而して其の原因は軍隊の加へたる秩序ある衛生教育詳言すれば其の衛生教育の結果たる軍人の個人衛生思想の向上に歸せらるべきものたると同時に他の原因を發見する能はざるなり

個人衛生思想を向上する爲の教育の原則は軍隊と地方とに於て差異あるにあらず從て軍隊に於て秩序ある個人衛生に關する教育を受けたる軍人が除隊後在郷軍人となり各地に分散し其の家庭に於て之を實施し農、工、商業に従事するに當りて之を應用し或は之を宣傳すれば其の結果國民の一般衛生思想は自ら向上せらるべしとなし軍隊の衛生教育は今後の世界競争場裡に於て各國政治の重大なる要素をなすべき

國民の衛生教育の一手段たることを認むるに至れり此の如く國民の衛生思想向上の一手段として陸軍の個人衛生教育に重きを置くに至れることは歐洲戰役の産したる一新現象にして復員に際し各種の傳染性疾患及寄生蟲を地方に傳播せしめざる爲に陸軍の實施せる方法が既往の戰役に比し著しく嚴密に行はるるに至れることと共に陸軍衛生と地方衛生との關係上大に注意の價値あることとす

第二十二 給與及救護

第二十二 給與及救護

其一 俸給

大戰中英、佛、獨、埃等主要交戰各國の多數は將校下士卒の俸給給與上數次の改正を加へ或は給額を増加し或は臨時手當を給し軍人をして後顧の慮なく専心任務に盡瘁せしむると同時に戦時中に於ける物價騰貴に對する各人生計上の安定を計れり、一例を示せば英國の如きも數次の増俸を行ひしに拘らず本年に入り過渡期に於ける陸軍編成に著手すると共に二月より更に將校以下一般に大規模の臨時手當を給することとなせり該臨時手當額は臨時應急の施設なるを以て兵卒に在りては戦役中増加したる本俸の十割強を給し上級に至るに従て其の率を減少せり而も此等は要するに臨時の施設にして蓋し當面の急を救ふの主旨に出でたるものに外ならず

然るに各國共戦時騰貴せる物價は休戦後に至るも低落の傾向なく戦前に比し生計費の昂騰は著しく到底若干の戦時中に於ける臨時増額の如きを以てしては生計の保證困難なるのみならず近時に於ける一般思潮の變革は人心の動搖を來たせし結果國家が軍人に對する待遇に於ても改善する所あるにあらざれば志願兵制度に依る英、米、獨の如きは下士卒の要員を得ること困難なるのみならず將校に在りても民間

の比較的収入豊富なる職業を遠び軍職を辭する者續出し且新に補充困難を訴ふるものありて軍人給與の菲薄は専ら先づ有力なる新聞雜誌等に盛に論議せられ其の改善を促すの形勢を生めり此の傾向は徴兵制度を維持する佛國に於ても亦以上諸國と異なる所なし

此の如き狀況に鑑み強國の多くは何れも少からざる國費の膨脹をも顧みず最近陸軍軍人の増俸を敢行し精銳有爲なる軍隊の維持に努めつつあり今左に英、佛二國に於ける増俸の概要及米國に於ける増俸案並獨國に於ける臨時護國軍俸給與の一斑を述べむ但し英佛兩國に於ては職務俸制を多く加味しあるを以て各階級の給額區分複雑なるも茲には主として官等に應ずる給額を掲げ其の概況を示さむとす

(一) 英國

本年九月十五日勅令を以て陸軍軍人俸給及恩給令を改定し俸給は本年七月一日より恩給は同じく四月一日より溯りて新増加額に依ることとなせり新令は近時の物價騰貴の趨勢に鑑み改定したるものにして今後五箇年存続の規定とし五箇年後に於て當時の物價高騰若は低落の狀況に依り新給額の二割を超えざる範圍に於て之を増額若は減額し且本年より五箇年を経過したる千九百二十四年七月一日以後は三年毎に之を改定し得ることとなせり

新令に依る俸給は將官に於て増率稍少きも其の他は概して舊俸給の倍額以上に相當するものにして其の月額は附表の如し

(二) 佛國

近年物價に伴ふ臨時手當を支給せしが本年七月一日以降該手當を廢し本俸給額を改定し將校下士兵卒一般を通じ大増俸を執行せり増給の上級者に比較的薄く下級者に對し漸次其の率を増加せり將官級に於ては其の率少なきも尙少將に於て五割を増加し佐尉官は約十割に近く准士官以下は概して十割を超過せり徴兵制度を維持する佛國に於ける此の種の傾向は特に留意すべきものとす新俸給月額は附表の如し

(三) 米國

近年の物價騰貴に依る生計困難の爲昨秋休戦後現役將校にして軍職を去り収入の豊富なる他の職業に轉ずる者續出し現に昨千九百十八年十一月以降本年八月十二日まで正規軍將校の退職せる者總員の二割二分二厘に達し兵卒に於ても新募兵を得ること難く國軍の維持困難を訴ふるに至れりと云ふ特に將校の減員は同國上下の輿論を喚起し本年八月中陸軍卿は議會に其の増俸案を提出せり其の結果未詳なるも最近の所報に依れば議會に於ても一般に増俸の必要を認めあるを以て近く其の解決を見るべしと云ふ今右陸軍卿提出の原案に依れば將校は各階級を通じて平均年額千圓を増加するを目的とし且官舎を給せざる場合に於ける宅料(階級に依り計算上室數に差違あり)一室の單價従來月額二十四圓を四十圓に改めたるものにして新提案に依る俸給、宅料を合したるものの月額を示せば附表の如し尙附表の外燃料、燈火料を給するも省略す

尙大佐以下の者に在りては服役年五年を加ふる毎に各階級本俸の一割宛を増加し二十年に至りたる額を以て停むるの制なるを以て實際に於て新任者以外は右増加額を受くる者多きを以て収入は附表全額以上の場合多し

又下士以下に在りても其の給與は極めて厚く月額曹長九十圓乃至百三十八圓、伍長四十二圓乃至八十四圓にして兵卒に在りても三十圓乃至七十二圓を給せり

(四) 獨 國

休戦後秩序大に亂れ中央部の威令地方に汎からず舊獨逸帝國の殘存軍隊は俸給の如きも勞兵會の決定に依り地方に依り一時給額を異にしたるが如し共和政府は秩序回復に腐心し過渡期に於ける獨逸國軍として本年春期臨時護國軍建設を企圖し三月三十一日之が施行に關する規定を公布したるが該規定に依れば(イ)將校には平時俸給、宅料、從卒手當の外護國軍増給として日額一圓四十三錢乃至二圓三十九錢を加給す尙物價騰貴に對する臨時手當を給し下士は其の居住の營内外に依り給與を異にし(ロ)營外居住下士は階級に應ずる平時俸給、護國軍増給日額一圓四十三錢(國境守備は二圓三十九錢)及臨時手當の外國境外に在る者には月額十四圓三十四錢を増給し尙一箇月毎に二圓三十九錢を増加し最高二十三圓九十錢に至る精勤賞金を支給せり又(ハ)營内居住下士及兵卒には階級に應ずる勳員給料(註、平時給料に比し三割乃至十割多し)護國軍日額二圓四十三錢及國境外に在る者は前記營外下士同様精勤賞金を給せし外既婚者に

は別に手當を給し尙兒子を有する者には其の數に應じて手當を加給し又東部國境守備に在る下士卒には以上の外一般に日額九十五錢の増給を支給せり

日、英、米、佛、獨陸軍人俸給月額(單位圓)比較表

官 名	日 本		英 國		米 國		佛 國		獨 國
	大	中	大	中	大	中	大	中	
將	六五〇	四三五	三、五三二	二、六九一	二、一九〇	一、一六一	一、一六一	一、一六一	將校左記各項併給
將									イ 平時俸給
少	三三七	三三七	一、八九四	一、九八三	一、七七六	八七六	六九六	六九六	ロ 宅料
中									ハ 從卒手當
大	二五五	二五五	一、〇一〇	一、〇六三	一、〇六三	五六八	五六八	五六八	ニ 護國軍増給(日額一圓四十三錢乃至二圓三十九錢)
佐									ホ 物價騰貴手當
中	一九一	一九一	九六三	九〇六	九〇六	四七六	四七六	四七六	イ 營外居住下士左記各項併給
少									ロ 平時俸給
大	一三六	一三六	八四七	六四三	七〇〇	四三六	四三六	四三六	ニ 護國軍増給(日額一圓四十三錢但し國境守備に在る者ハ二圓三十九錢)
中									ハ 臨時手當
大	一〇九	一〇九	四四二	三〇一	三〇一	三〇一	三〇一	三〇一	ニ 國境外在勤者ニハ同在
中									ハ 臨時手當
大	五〇一	五〇一	三六四	五三六	五三六	二六一	二六一	二六一	ニ 國境外在勤者ニハ同在
中									ハ 臨時手當
大	四三	四三	二六四	四四六	四四六	一八五	一八五	一八五	ニ 國境外在勤者ニハ同在
中									ハ 臨時手當
大	四三	四三	二六四	四四六	四四六	一八五	一八五	一八五	ニ 國境外在勤者ニハ同在

第二十二 給與及救護

八 官より受くる収入の激變又は中絶より生ずる受給者の不幸を軽減する爲適當の緩和手段を設定す以下稍具體的に各國の事例を擧げて叙上一般の趨向に關し解説する所あらむとす

1 列國の恩給扶助料額は附表第一、第二、第四、第五に示せる如く概して帝國のものに比し高額にして又其の施設の種類、條件の如きも附表第三、第五に示す如く我が國のものに比し優良なり

2 服役卒の増加に伴ふ將校退職恩給年々の増加率は概して帝國のそれに比し優良にして又帝國のそれは各階級を通じ同率なるも獨逸を除く他の文明國に在りては何れも下級に至るに従ひ此の率を増大し給與の公正を期しつつあり特に英國に於て其の然るを見る

3 恩給額を特定することなく俸給との比率を以て規定すること恰も我が文官恩給制の如くなるもの少からず米、獨、澳の如き是れなり

4 被扶養者たる妻子の有無及多寡に應じ恩給扶助料額を高低し又は兒子手當等を支給する國多し

(附表參照)

5 將校退職する場合若干期間従前の俸給を繼續支給し又は退職賜金を交付する國少からず例へば英國に於ては進級試験に合格せずして退職する場合恩給以外に俸給一年分の一時金を交付し米國に在りても兵役を退く者には同様一年分の俸給を與へ獨逸に於ては退職若干月前其の旨を傳へて職務執行を免じ且退職の翌日より二箇月間恩給を増加して退職前の収入に等しからしむ

又死亡軍人の遺族に對し若干期間扶助料に代へ生前の俸給を支給する國あり獨逸の如き其の例なり

6 名譽進級者に對し進級後の階級に應ずる恩給を支給するものあり米國の如き其の一例なり

7 列國は何れも特に増加恩給を厚くし就中附添看護を要する者に對しては特別の手當を支給するもの多し即ち英國の如きは常時附添人を要する者に對し増加恩給以外年々七百六十餘圓、兩眼失明者に對し同じく二千九百餘圓の手當を給し米國も亦附添人を要する者に月額四十圓迄の加給を行ひ獨逸に在りても此の種の者には特に多額の増加恩給を支給す

又増加恩給は各國共階級若は戰傷、公傷の原因に依る金額の差頗る小なるか若は全く同一にして帝國に於けるが如く此の間に大なる差等を附せるもの一も之なし(附表第一、第二參照)又扶助料に於ても之と同様の傾向あるを見る

8 下士以下の増加恩給額を高下すべき傷病等差の規定概して綿密適切にして給額を力めて勤務能力喪失の程度に比例せしむるを一般とす特に獨逸の如きは勤務能力喪失程度の判定に當り入隊前の生業を顧慮するの規定を有す

9 増加恩給を受くる下士卒の恩給其の他の收護金が退營後の勤務所得と合し入隊前の勤務所得より少き場合某程度迄之を補償するの制度を立てたる國少からず英、米、獨の諸國即ち是れなり此等諸國に於ては扶助料に關しても亦之と同精神の規定を有す

- 10 列國中法律上の妻女以外の配偶者、私生兒等に對しても扶助料等を給するもの少からず又孤兒に在りては丁年に達し又は結婚せる以後に於ても修學中なるか、自活能力なきか又は貧困なる場合扶助料を繼續する所少からず英、獨兩國の如き其の適例なり
- 11 恩給扶助料資格なき者に對しても相當救護の途を講せる國多し即ち英國に於ては扶助料を受くる資格なき將校遺族に對し職務俸の一乃至三年分を支給し獨國に在りても亦此の種の者には三箇月間將校生前の俸給を支給するが如き其の一例にして又公務以外の傷病に依り除隊せらるる下士卒にして賑恤金等を受くる資格なき者に對しても上記兩國に於ては特別の賜金と與ふ
- 12 恩給扶助料有資格者に對し一定條件の下に其の若干年分を一時に下附するの制度を立てたる國あり獨國の如き即ち是れなり
- 13 戦闘及公務に依り傷病を加増増悪したる者に對しても傷病を得たる場合と同じく恩給資格を與ふる國多し
- 14 應召下士卒に對しては平時を問はず多くの國に於て家族手當支給の制を有す
- 15 以上の外戦時應召者に對しては國に依り傷害保險、社會保險、所得稅免除、民法上の訴訟手續中止、仕拂猶豫等の特典と與へ又其の家族には家賃減免、出產補助金交付等種々の特典と與ふ
- 16 醫治的救護、就職上の助力等に關しては各國共種々の手段を講じ十全を期しつゝあり

由來諸制度は國情民俗に適合せしむるを要するものなるが故に上記列國の施設固より悉く移して以て帝國に於ける制度改善上の資に供する能はずと雖中に探るべきもの甚だ少からずと信ず特に各國が財政の許す範圍に於て給與額を増加すると共に之が分配を合理的に規正し不具廢疾者就中作業能力全缺者に對する給與を厚くし收入の激變又は中絶より生ずる受給者の苦痛を緩和し公正の精神に則りて因襲的差別、盲目的平等は之を改めつつあるが如き我も亦之を採擇するの適當なるを思はずむばあらざるなり

日英米佛獨國陸軍將校恩給額年單位比較表

區分	退職恩給						増加恩給(不具廢疾恩給)						備考
	大將	少將	大佐	少佐	大尉	少尉	大尉	少尉	大尉	少尉	大尉	少尉	
日本	1,800	1,200	900	600	400	300	1,500	1,000	700	500	300	200	<p>一 英國の部に在りては本戦役に於ける増加恩給を加算せるものにして本戦役以前に係るものは表掲の額中最高額より九七六圓と、最低額より一九五圓を控除せるものとす</p> <p>二 本戦役増加恩給は各階級平等にして傷病程度に應じ一九五九七六圓とす</p> <p>三 初年度に限り恩給の代りに一時賜金を給す其の額は大將二九、二九〇、少尉九七六圓とす</p> <p>四 又兩眼を失ひたる者には別に年額二、九二八圓を給せらる</p> <p>五 米國に在りては斷えず看護附添人を要する者には月額四〇圓迄の加給をなす</p> <p>六 獨國の部に在りては戦役増加恩給大尉以下五七六圓、少佐以上三四六圓を加算しわり之を控除するときは將校の増加恩給は階級に由り異らず最低四三二圓、最高八六四圓なりとす</p>
英國	1,366.8	976.3	728.0	512.0	341.3	256.0	1,152.0	768.0	576.0	384.0	256.0	171.2	
米國	2,200.0	1,500.0	1,100.0	750.0	500.0	350.0	1,750.0	1,250.0	900.0	600.0	400.0	250.0	
佛國	2,800.0	2,000.0	1,400.0	1,000.0	700.0	500.0	2,100.0	1,500.0	1,100.0	800.0	600.0	400.0	
獨國	9,373.3	7,000.0	5,250.0	3,937.5	2,725.0	1,937.5	7,000.0	5,250.0	3,937.5	2,725.0	1,937.5	1,375.0	

注 一 表掲恩給の外英國に在りては増加恩給受領者に對し育児手當、戦前勤務所得を願慮せる増加恩給、治療手當、統戰手當等を加給し米國に在りては不具廢疾となれる將校は軍人傷害保險に依る大なる特典を有し獨國に在りては戦役増加恩給受領者に對し養老増加恩給ヲ給する等各般の施設に依り給付額は少からず増加せらるるものとす

二 金銭的救護の外諸外國に於ては退職將校に對する授職的救護施設著しく發達しあり

三 諸外國に於ては官の施設の外民間に於ける救護施設本戦役の結果著しく發達しあり

日英米佛獨國陸軍軍人遺族(孤兒)扶助料(單位)比較表

考 備	(乙)料助扶るす對に兒孤の者格資給恩(除免)職退						料助扶るす對に兒孤の者死戰						區 分 別						
	下以官士准		校		將		下以官士准		校		將								
	兵	下	准	少	大	少	大	兵	下	准	少	大		少	大				
<p>本表に掲げたる扶助料は母なく又は母が扶助料を受けざる場合のものにして母と共に孤兒が扶助料を受ける場合のものは便宜上附表第六に掲記せるを以て茲には重複を避け之を掲記せず</p>	卒	士	官	尉	尉	佐	佐	將	將	尉	尉	佐	佐	將	將	日本			
	類 同 と 料 助 扶 婦 寡 六 第 表 附														英 國				
	三	八	五	一	九	八	一	九	五	一	七	九	一	五	三	三	米 國		
	<p>每兒 三九〇 但し二人以上 に扶養せらる る場合は第二 級以下 最低 三四二</p>						<p>每兒 一七九 但し二人以上 に扶養せらる る場合は第二 級以下 最低 一五三</p>						<p>扶助料 一時賜金 九、七六三 教育手當 (食料費) 三、五七九 每兒(九歳以上) 一、九五二 九七七 八八〇 三三六</p>						佛 國
	(詳)						未)						<p>一兒のみの場合 四八〇 二兒の場合 七二〇 三兒の場合 九六〇 以下一兒を等し に左の額を増加す 一、二〇〇 以上の外軍人生命 保障に依り多額の 保障金を受ける</p>						獨 國
	(詳)						未)						<p>附表第六甲額 に同じ</p>						摘 要
每兒 四八						<p>每兒 八〇〇 最高 一〇八 最低 四八 (乙)扶助料 (養育扶助料)</p>						<p>每兒 一二五 最高 九六 最低 八 (養育扶助料)</p>						<p>日本以外に於ては孤兒扶 助料は各兒に對し之を給與 す 扶助料受給資格に關する 年齢制限左の如し 日 二十歳 英(男十八歳)(女十八歳) 米 十八歳 佛 十八歳</p> <p>英國に在りては將校の孤 女子にして兩親並兄弟を有 せざる者に對しては上掲扶 助料に代へ各兒に對し附表 第六(乙)の扶助料(養育扶 助料)を給す 佛國に在りては孤兒中の 最若年者の滿二十一歳に達 する迄扶助料を給す</p>	

陸軍軍人遺族扶助ニ關スル英、米、獨國特異施設に本邦制度 概見表

英 國	米 國	獨 國
<p>一 左の各號に該當する場合は戦死者に對すると同様の扶助料を給す</p> <p>イ 戦地勤務に起因し死亡又は傷死</p> <p>ロ 飛行中又は航空機中にて勤務中死亡又は傷死(將校)</p> <p>ハ 戦傷又は之に準する負傷後七年以内に死亡</p> <p>ニ 戦闘に起因する疲労困苦又は暴露の爲發病し勤務より退きたる後七年以内に死亡</p> <p>ホ 右以外の陸軍勤務に依り受けたる傷病に因り其の發生後七年以内に死亡(將校)</p> <p>二 公務に因り發病し又は傷病を受け勤務より退きたる後七年以内に死亡せる場合は一般に扶助料を給す</p> <p>三 將校遺族たる寡婦は再婚に依り扶助料の支給を停止せらるるも再び寡婦となるときは情狀に依り之を復活す</p> <p>四 私生兒も亦扶助料を受ける資格を有す</p> <p>五 公務以外の傷病に依り死亡せる者の遺族等にして扶助料資格なき者にも特殊の給與を行ふ(次圖三、八参照)</p> <p>六 孤兒扶助料及女子手當等は規定年限超過後に於ても情狀に依り尙之を繼續支給す</p> <p>七 戦死者の孤女兒にして父母兄弟なき者には各兒に對し寡婦普通扶助料を給す</p> <p>八 以上の外妻子以外の遺族に對しても種々の特典あるも茲には省略す</p>	<p>一 軍人にして苟くも現役勤務に従事中公務の爲傷病疾病を受け死亡せる者の遺族には一律に扶助料を給し階級及死因に依り區別を立つることなし</p> <p>二 子女に對する扶助料は十八歳以後又は婚嫁後之を停止するを原則とするも自活能力なき者には其の間繼續支給す</p>	<p>一 寡婦が扶助料を受くる場合に在りても孤兒に對し寡婦扶助料の五分の一を給す</p> <p>二 戦役に起因する傷病疾病の爲死亡せる者並講和締結後十年以内に死亡せる者は戦死者同様戦役扶助料を給せらる</p> <p>三 私生兒、養子、繼子及育てて子は現行法に依れば扶助料資格なきも戦時中特に補助金を支給することとし將來之を法律とするの企圖を有せり</p>
<p>一 扶助料の外軍人生命保險に依る保險金を給せらる其の要領は附表第四に示せる軍人傷害保險に同じく唯「不具癩疾」に代ふるに「死亡」を以てするを異りとす</p>	<p>一 軍人死亡後扶助料資格なき遺族は三箇月間俸給給料(將校に在りては戦時俸の十分の七)の支給を受け扶助料資格ある者も最初の一箇月は同上扶助給を受け且爾後引續き二箇月扶助料を俸給給料の全額又は十分の七迄増加せらる(扶助給)</p> <p>二 資本金下附(附表第四参照)は遺族たる寡婦にも之を適用す但し資金化し得べき扶助料は全額の半迄とす</p> <p>三 戦役に關し比較せる下士以下の寡婦孤兒に對しては死亡者の戦前前於ける勤務所得を顧慮し特別の賜與金(臨時賜與金)を連續支給す(未だ法律とならず陸軍省布告に依る)</p> <p>四 戦役に關し扶助料を受くる寡婦再婚の場合は再婚賜金を給す</p>	
<p>本然の扶助料以外給與の件</p> <p>一 公務死亡に因り扶助料を受くる寡婦は其の兒數に應じ増加扶助料を受け又貧困なる者は其の教育中の各兒に對し教育手當を受く</p> <p>二 亡夫生存の場合を顧慮し扶助料を増額す</p> <p>三 扶助料資格なき將校遺族には將校の職務俸一—三年分を一時に支給す(扶助給)</p> <p>四 孤兒は各人扶助料を受け且第一、第二項の給與を受く</p> <p>五 公務死亡下士卒の遺族には死亡に基き生ずる經費に充つる爲死亡手當を給す</p> <p>六 同右寡婦に對して其の年齢四十五歳以上に達するときは扶助料の外に養老手當を給す</p> <p>七 同右寡婦所要の學習をなす場合には若干期間修學手當を給す</p> <p>八 公務以外の傷病に因り死亡せる准士官以下の寡婦には若干期間一時扶助料を給す</p> <p>九 准士官以下の遺族たる寡婦再婚の場合は再婚賜金を給す</p>		

(一) 英國 英國に於ては將卒の復員除隊に方り四週間は休暇の名義にあらしめ此の間俸給、給料並食料手當、別居手當等の諸手當は當然之を支給し又除隊の際は准士官以下に對し勤務の性質及其の

第二十二 給與及救護

二二九

第二十三 給與

二四三

其三 復員歸郷者に對する給與並特典

交戦四閱年此の間干戈を執て死生の巷に出入し殉國奉公の丹誠を致したる交戦各國の將士は戦局の終了と共に著々散じて郷閭に歸れり此の時に方り其の功に酬ひ勞を謝し多大の貢獻に應ずるは當該國家社會の當然爲さざるべからざる所なり交戦列國が何れも此の點に關し其の及ばざらむことを恐れ巨費を吝まらず諸種の手段を悉して殆んど至らざる所なき宜なりと謂ふべし且つ夫れ這次の如き大戰の後に於ては久しく苦艱に堪へ缺乏を忍びたる民心は俄に其の緊張を解き一方軍需産業の減廢、大國軍の復員に因り勞力過剩、失業危機の情勢を誘致し易く一步を誤れば忌むべく怖るべき社會問題を惹起する虞甚だ大なるが故に之を未然に防ぐの見地よりするも亦復員歸郷者に對する特惠の如き特に之を厚からしむるの用意を必要とせること固よりなりとす

以下知り得たる範圍に於て各國の復員歸郷者に對する給與並特典を叙するに方り特に一言注意すべきは列國の多くは戦時中の勳績に對しては其の都度賞典を與へあるが故に戦後に至り特に論功行賞を行はざることにして以下の記述中此の種の記事なきは此の理由に基くものとす

(一) 英國 英國に於ては將卒の復員除隊に方り四週間は休暇の名義にあらしめ此の間俸給、給料並食料手當、別居手當等の諸手當は當然之を支給し又除隊の際は准士官以下に對し勤務の性質及其の

時日の長短に依り額を異にする特別慰勞金を交付し別に本人の着用せる軍服、靴其の他の被服は外
套を除く外悉く之を支給せり

復員に方り除隊者をして失業に苦まじめざる爲種々の方法を講じ殊に困難なる個人復員法を採用せ
ることは既に國民復員の部に述べたるが如し而して斯くするも尙且避くべからざる除隊軍人の就職
不能者に對しては復員後一箇年以内に於て最大限二十六週間毎週二十四志の失業手當を支給し且就
職不能者にして引續き軍隊に止まらむことを希望する者に對しては相當の賜金と兩三月の休暇とを
與へて在隊を許可したり

農商務省より議會に提出せる土地分配法案も亦社會制度一部の改變を行ふ目的を有すると共に歸郷
兵士に對する特典の一たるを失はず由來英國國土の大部は戰前少數貴族富豪の占有に歸し小作農は
漸次都市に集まりて工業労働者と變じ農業衰微の傾向を呈せるが這次大戰に於て都市生活に慣れた
る兵卒は其の嘗て農事階級に屬せし者と雖田園生活を厭ふに至るの風なきにあらず自然に委する
べきは益々農業の不振を來たすの虞あり而して一面に於て今次大戰は英國有識者をして食料自給の重
要にして農村振興の切要なるを痛感せしめ且戰役間に於ける工業労働者と定住地を有する農民との
行動の相異に由り自己所有の土地及住家を有する觀念が祖先崇拜の觀念と相俟て愛國心の重要な
素因となすものなることを感得せしめ茲に英國の支配階級は特に如上兵卒の歸農助成策を採るに至

れるものなるべく其の歸農兵士に對する特典なりと云ふ所以は土地法案の内容が兵卒たりし者の歸
農に對し頗る有利の條件を附せるに依る

(二) 佛國 復員除隊者をして就職不能の苦境に陥らざらしめむが爲には復員前各兵卒の希望、經歷
等を調査し之を各地方の職業仲介機關に送り該機關をして當該地方の労働需要に照して其の就職口
を定め兵卒の歸郷を待たしむることとし就職不能者の爲には六箇月を期限とする再服役制を定め希
望に應じ軍隊に止まることを得せしめ失業防止の目的を達すると共に恩給權享受の機會を賦與する
ことに留意せり又復員歸郷者をして衣食に窮せざらしめ且事業資金を獲得せしめむが爲には各縣市
町村に設立せる失業救濟會をして活計に就く迄の間一定日額の手當を支給せしめ其の資金は地方
債、國庫補助金及寄附金等に仰がしむることとし又政府は除隊兵中の小商工業者保護法案を議會に
提出し夫正六年三月の法律に依り設立せられたる庶民銀行に對し國庫より無利子にて一億法を貸與
し同行をして復員除隊者中の小商工業者に對し極めて寛大なる條件を以て事業資金を貸與せしむる
方法を定めたり

佛國の施設中特に注意を要するは物質上の給與特典の外無形上の點に特に重きを置くことにして
惟ふに必任義務兵制の本義に鑑み兵役義務を尊重すると同國古來の國風との然らしめたる所ならむ
が即ち兵員中兄弟二人以上を失へる者約十二萬に達せるが是等に對しては優先除隊の特典を附與し

たるが如き又夫の軍服装具類の給與も單に物質上の意義に出ずして凱旋兵卒をして相當品位を保たしめ且名譽ある戦役を記念せしむる精神上の著意を以てせるが如きは是れなり即ち復員歸郷する下士以下一般に對し軍服類一式の外平服一揃若は之に代はるべき代金を支給し英國に於て街衢到る處に軍服を着用せる勞働者の徘徊するを見たるが如き弊を避くることに注意し尙將校以下一般に（遺族に對しても其の請求に應じ）記念すべき文字を刻せる兜を支給し永年の戦役に奉公せる記念とし且佛國軍人精神を表彰する家寶として子孫に傳へしむることせり

除隊に際しては三箇月以上の服務者たる將校以下一般に服役月數及子女の數に應ずる多額の一時金を交付せるが其の豫算總額實に十七億法の多きに達し此の外一般に歸郷後六箇月間は家族救護金を繼續支給することせり

(三) 伊國に於ては大正六年秋期「インツ」河谷に於ける大敗後將卒の志氣を繋がんが爲勅令を以て戦線勤務の將卒に對し懸金を要せざる生命保険の規定を公布せるが其の規定中には生存者と雖一年以上の戦線勤務者は保険日附より三十年目に於て保険金を得べく且三十年を経過せざるも復員後三箇月を経たる後に於ては職業資金、學資、職業用具の購入等を條件とし相當の擔保を提供して保険金の前渡を請求し得る旨の規定あり從て召集を解除せらるる在郷將校及一般除隊兵は復員後就職資金として多額の保険金を受領し得ることとなり居れるが爾後更に勅令に依り軍人救護會なる

ものを設立し其の資本金を三億「リラ」とし寄附金を以て之に充て不足額は國營海上保險の純益金を以て之を補填するの制を立て復員歸郷者に對し土地及資金の貸與並職業に關する技術的援助等を行ひ且必要の社會的施設を行はしむることせり此の他大藏大臣は應召者の除隊に際し其の活計に就く迄の間所要の救濟を行はむことを期し五千萬「リラ」の寄附を募集せるが大會社等よりの應募頗る多く良好の成績を收めたりと云ふ

將卒の復員歸郷に方りては一般に歸郷旅費を給し（將校に在りては其の家族に對する分をも）召集期間一年以上に及べる將校には相當階級の現役將校の俸給二箇月分を給し其の期間を増す毎に更に其の額を増加し別に多額の被服手當を交付し下士卒に對しては勤務年數に應ずる多額の賜金の外軍服一揃、平服及之が附屬品一式を支給せり此の他將校以下全般に除隊後三箇月間家族手當を繼續支給し同じく六箇月間家賃半額仕拂規定を有效ならしむる等厚遇せらざるなし

以上の外除隊兵に職業を得しめむが爲比較的貧弱なる同國の財政を以てして合計四十億「リラ」に垂んとする國費を投じて土木交通等の事業を興さむことを企畫せるが如き寔に壯舉と謂ふべきなり

(四) 獨國に於ては召集解除者に對し或は除隊被服一式を無償にて交付し或は糧食を給與し其の就職を容易ならしむる爲には諸種の困難を排して戦前の職業的地位復歸を保障するの法規を定め住宅難の形勢に應せむが爲には聯邦議會は地方自治體に住宅組合を組織せしむることを決議し且聯

邦住宅委員は市町村をして除隊兵に住宅を供給せしむる爲綿密周到なる規定を發布して之を勵行し別に政府は國民議會に住宅の新築、同應急増築並住宅難救濟費として三億麻克の國庫支出案を提出する等百方手段を悉し又除隊軍人の就職不能者に對しては町村又は町村組合をして之を救濟せしめ之に要する費用の十二分の六を聯邦政府より、十二分の四を所轄各邦政府より補償することとし更に除隊軍人の歸農を容易ならしむる爲には國費を以て未墾地に住宅を設け有利の條件にて土地と共に之を歸郷者に下附することとし尙法規を以て農業労働者の地位を高上せり國內紛糾騷擾せるの間尙且如上の施設を觀る以て他山の石となすべきなり

(五) 總括的觀察 各國の施設を通觀するに國に依り多少趣を異にするものありと雖之を綜合するに概

ね左の如く刻下湖北近寒の地に作戰しつつある我が將卒の他日復員歸郷するに際し其の奉公に酬むべき國家社會の施爲の如き少くも其の精神に於て彼れに學ぶ所尠少なからざるを信す

イ 舊職業復歸の保障及職業上の地位の設定並職業の仲介

ロ 職業準備教育及職業資金の下附又は融通

ハ 土地分與其他歸農上の援助

ニ 慰勞金の給與及被服並食糧の給與

ホ 在隊間に於ける給料、諸手当等の除隊後一定期間繼續支給其他在隊時に於ける特典の持續

ヘ 歸郷旅費日當等の支給若は無料乗車券の發給

ト 失業手当の支給其他の失業救濟

叙上各般の施設中各國が何れも戰時中の實驗に鑑み農業政策に重きを置けるの跡歴然たるは社會政策に深甚の注意を拂へるとは特に注意すべき點にして又佛國が物質以外精神的方面に特に意を用ひて給與を律したるは參考となすに足る終りに隔み一言注意を喚起すべきは各國共に軍服類一切を除隊軍人に交付せることにして此の事は固より他に目的を有すべきも之を國防上の見地より觀察するときは偶々戰用被服の一部を民間に貯藏するの意義をも有し總動員準備の一端たり得べきものと謂ふを得べし

第二十三 結 論

第二十三 結 論

第二十三 結 論

四

第二十三 結 論

Vertical text columns on the right page, likely bleed-through from the reverse side. The text is faint and difficult to read.

第二十三 結 論

有史以來未曾有の大戦が同盟國側の屈服を以て終焉を告げてより早くも茲に一年の星霜を閲せり此の間國際聯盟講和條約の成立を告げ世界は平和の歡樂を夢みむとせしも束の間にて參戰列國は戦後の財政、産業、労働、物價調節、思想上等重要なる諸問題の解決に苦惱を極む就中思想界の變動と労働問題の勃興とは全世界に互り格段なる新紀元を展開せむとし各國共に其の歸趣する所に迷へり

戦後の經營に就ては各國は夙に戦役中より講究し休戦と共に著々其の歩を進めつつあり今各國の戦後經營中直接軍事に關係ある事項を列擧すれば概ね左の如し

一 軍隊の復員及軍需品工業中止により生ずる勞力の過剰を適度に調節し以て忌むべき社會問題の發生を豫防す

- 二 除隊軍人の爲職業教育及就職紹介機關の整備
 - 三 軍人の俸給、恩給及遺族扶助料を増加し其の生活を安固ならしむ
 - 四 除隊軍人への經濟的補助又は國民的負擔の輕減
 - 五 廢兵の爲職業教育及就職紹介
 - 六 除隊者に軍服類を給與し除隊當時に於ける救護の目的を達すると共に民間に軍服類の蓄積を圖る
 - 七 軍事上及戰爭間國民の生存に必要な産業の保護獎勵並國防上緊要なる礦物資源の愛護發達
 - 八 將來の國家總動員を顧慮し兵器其他軍用品(就中飛行機)の平時經濟的發達及其の利用
- 即ち各國の戰後經營の方針を概言すれば苟くも戰役に貢獻したる者に對し將來生活の安固を得せしめ忌むべき社會問題の勃發を豫防するに萬遺漏なきを期すると共に戰爭の傷痕を速に回復し戰後の經濟戰に優勝の位置を獲得し併せて將

來に於ける國家總動員の實行を便ならしめむとするに外ならず
然り而して思想界の變動に基く勞働問題の解決は最も困難にして勞働界の横暴は各國の戰後經營に一大頓挫を來たさしめつつあり各國は先づ此の勞働問題を根本的に解決するにあらずむば戰後の經營は殆んど不可能なりと云ふも過言にあらざるなり要するに各國戰後の經營には尙幾多の熟慮と斷行とを要するもの甚だ多く列國が如何にして此の難局を處理し其の國運の進展を策すべきやは他山の石として吾人の留意研究を要すべきものとす

今や國際聯盟漸く其の成立を告げ其の效力を發揮せむとす之が爲世人往々將來の永久平和を過信し世界は將來國際主義となれりと稱し大勢順應、協調主義に心酔するの結果重大なる我が國防充實の必要を輕々に看過し世は滔々として軍事思想の衰退、軍事に冷淡なる風潮を馴致しつつあるは國家將來の爲誠に寒心に堪へざるなり

想ふに將來戰爭の發生は此の聯盟の爲多少の拘束を受け或は昔日の如く輕易な

らざるものあらむ然れども世界永遠の平和が此の聯盟に依りて確保せらるるや否や頗る疑問なり聯盟の主唱國たる米國の上院が講和條約に對する最近の態度は聯盟の權威を失墜すること甚しく又佛國の要望に由るとは云へ英米兩國が國際聯盟に信頼を置かず佛國と防守同盟を結ぶの已むべからざる情況に於て將來絶對の平和を此の聯盟に期待するの難き思半に過ぐるものあらむ

翻て戦後列強諸國の軍備の趨勢を觀察するに各國は戦役五年間に養成せし莫大なる既教育兵を野に有し之に伴ふ一切の兵器材料と有事に際しては往年に比し更に偉大なる能力を短時日の間に發揮し得べき軍需品工業の鞏固なる基礎を有し國民戦争に對する軍備の内容は既に業に充實しあるに拘はらず尙平時の軍備を整頓し之を其の國情に應じ合理且賢明的のものたらしめむとするに努めつつあることは何人も熟知する事實にして茲に之を叙説するの必要を認めず要するに戦捷列國は何れも軍備の充實整頓に努めつつあることは争ふべからざるの事實なり是即ち一種の軍國主義にあらずして何ぞ唯獨逸の軍國主義の如く

無法暴戻の併呑主義ならずして其の國情に應じ合理且賢明なるの差あるのみ凡そ大小の國民其の領土を劃し其の民族文化を異にし其の境遇に公正を缺ける世界の現狀に於て人類間に生存競争の消滅せざる限り國家自衛權の認められ又經濟戰の廢止せざる限り假令國際聯盟ありと雖世界は依然として武装平和を餘儀なくせらるるの趨勢にあることは之を否むべからず況んや我が國の如く比隣には動亂發生の禍源地と列國の經濟的爭覇地とを有する國情に於てをや斯の如き世界の大勢に對し若し我が國獨り合理的にして賢明なる國防の充實を等閑に附し軍國思想の衰退を看過せむか是列國軍備の大勢に順應せざるものにして畢竟世界の平和に貢獻する所以にあらず寧ろ一種の罪惡なりと云ふも過言にあらずるべし

我が國が國際聯盟國の一員として世界に重きを爲せる今日に於ては國際主義に順應し列國との協調素より必要なりと雖我が至當の軍備に對し歐米人等の自我的觀念より生ずる疑惑、曲解等に氣兼して列國並の國防充實は勿論合理且賢明

なる軍國思想の鼓吹すら躊躇逡巡するが如きは實に國家の前途を危ふするものと謂ふべし

凡そ國家は先づ建國の大義と其の民族の將來に於ける運命を自覺せる健全なる國民を得て上下階級の調和を求め之をして徹底的に團結せしめ而も其の歸向に順應して國策を定め始て能く戰時異常の要求に堪へ其の目的を遂行し得るは今回戰爭に於て明に證明せられたり蓋し現代の戰爭に應ぜむには國家の包有する全資源を戰爭目的に歸一せしめ寸毫も餘すことなきを要す勿論此の戰時必需を平時に於て準備するに方りては國防及經濟の見地よりする兩者の要求を調節し其の併立進歩を圖ること緊要なり我が國の如く工業原料の供給を平時のみならず戰時に於ても尙確實に保持せむとせば絶対に軍事の保障を必要とする關係あるに於て殊に然り彼の戰爭の準備を軍部の手に委して足れりとするが如きは既に疇昔の夢に屬し時代の進運に伴はざるものと謂ふべし

之を要するに吾人は漫然國際主義の大勢を恃みて將來永遠の平和を夢み一、二

強國の自我的政策に翻弄せられ他國の爲火中の栗を拾ふが如き愚に陥ることなく宜しく貴重なる大戰の教訓に基き戰後に於ける列強軍備の大勢に順應し我も亦一層合理且賢明なる軍備充實を遂げ以て國家の基礎を益々確立せざるべからず即ち一意社會改良政策の實行、國民の國防に對する自覺を促すと共に我が國體と融合する近代思想上の同化を求め以て全國民の精神的結合を第一の要義とし次に現代戰爭の要求に適する如く國家總動員の準備を整へ國軍の編制裝備を改善し軍事の思想及能力を普及徹底せしめ國軍の運用統帥術を世界に冠絶せしめ以て國軍の精銳無比を期すると共に他方に於ては一般文化の發達及國力の増進就中工業原料供給の途を確保して産業の發達を圖り經濟戰に於て優勝の地歩を獲得すると共に將來の國民戰爭資源の充實に努め以て國家の基礎を益々鞏固にするの準備と覺悟あるを要す此の準備と覺悟ありてこそ始て真正なる正義公道を基礎とする世界永遠の平和に意義ある貢獻を爲し得べし

吾人が連年此の小冊子を編み廣く有志に頒ち以て國民一般に紹介せむとするの

なる軍國思想の鼓吹すら躊躇遠巡するが如きは實に國家の前途を危ふするもの

一四三

微衷亦實に茲に存す

一四四